

注3

大学番号：012

[平成28年度設置]

計画の区分：研究科の設置

注1

事前伺い

秋田大学大学院 理工学研究科

注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 秋田大学

平成29年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 理工学研究科

職名・氏名 総括主査・佐藤^{サトウ}巧^{タクミ}

電話番号 018-889-2314

（夜間） 018-889-2314

F A X 018-889-2300

e-mail takumi@jimu.akita-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

理工学研究科 博士前期課程

<生命科学専攻>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	8
4. 既設大学等の状況	9
5. 教員組織の状況	12
6. 留意事項等に対する履行状況等	20
7. その他全般的事項	21
<物質科学専攻>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	24
2. 授業科目の概要	28
3. 施設・設備の整備状況、経費	32
4. 既設大学等の状況	33
5. 教員組織の状況	36
6. 留意事項等に対する履行状況等	44
7. その他全般的事項	45
<数理・電気電子情報学専攻>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	48
2. 授業科目の概要	52
3. 施設・設備の整備状況、経費	56
4. 既設大学等の状況	57
5. 教員組織の状況	60
6. 留意事項等に対する履行状況等	68
7. その他全般的事項	69
<システムデザイン工学専攻>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	72
2. 授業科目の概要	76
3. 施設・設備の整備状況、経費	79
4. 既設大学等の状況	80
5. 教員組織の状況	83
6. 留意事項等に対する履行状況等	91
7. その他全般的事項	92
<共同ライフサイクルデザイン工学専攻>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	95
2. 授業科目の概要	99
3. 施設・設備の整備状況、経費	103
4. 既設大学等の状況	104
5. 教員組織の状況	107
6. 留意事項等に対する履行状況等	114
7. その他全般的事項	115

理工学研究科 博士後期課程

	ページ
<総合理工学専攻>	
1. 調査対象大学等の概要等	118
2. 授業科目の概要	122
3. 施設・設備の整備状況、経費	131
4. 既設大学等の状況	133
5. 教員組織の状況	136
6. 留意事項等に対する履行状況等	153
7. その他全般的事項	154

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 秋田大学

(2) 大学名

秋田大学

(3) 大学の位置

〒010-8502

秋田県秋田市手形学園町1番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(ヤマモト フミオ) 山本 文雄 (平成28年4月)		
研究科長	(ムラオカ ミキオ) 村岡 幹夫 (平成28年4月)		
専攻長	(オダカ マサフミ) 尾高 雅文 (平成28年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください (入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の博士後期課程の場合 (平成29年度までの3年間) ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。 (修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称 (学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
理工学研究科 生命科学専攻 (博士前期課程) 修士 (理学)	理学関係	2 年	15 人	30 人	基礎となる学部等 理工学部 生命科学科

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を () 書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要 (別記様式第2号 (その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	平成28年度		平成29年度		平成 年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	15人 若干名 (若干名) [若干名]		15人 若干名 (若干名) [若干名]		人 () []	人	0.76 倍	
志願者数	10 (-) (-) [-] [-]	- (-) (-) [-] [-]	16 (-) (-) [-] [-]	- (-) (-) [-] [-]	() () [] []	() () [] []		
受験者数	10 (-) (-) [-] [-]	- (-) (-) [-] [-]	16 (-) (-) [-] [-]	- (-) (-) [-] [-]	() () [] []	() () [] []		
合格者数	10 (-) (-) [-] [-]	- (-) (-) [-] [-]	15 (-) (-) [-] [-]	- (-) (-) [-] [-]	() () [] []	() () [] []		
B 入学者数	8 (-) (-) [-] [-]	- (-) (-) [-] [-]	15 (-) (-) [-] [-]	- (-) (-) [-] [-]	() () [] []	() () [] []		
入学定員超過率 B/A	0.53		1					

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 社会人の状況について **内数** で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ [] 内には, 留学生の状況について **内数** で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格 (いわゆる「留学ビザ」) により, 我が国の大学 (大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校 (専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期 (春季入学以外の学期区分を設けている場合) に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出** してください。なお, 計算の際は **小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入** してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	平成28年度		平成29年度		平成 年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	8 [0] (-)	- [-] (-)	15 [0] (-)	- [-] (-)			平成28年度春季入学者のうち、在学期間短縮による修了者1名
2年次			7 [0] (-)	- [-] (-)			
計	8 [0] (-)		22 [0] (-)				

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況について、内数で**記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数 (b)	退学者数 (a)	退学者数 (内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	8 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人		0 %
			平成29年度	0 人	0 人		
平成29年度 入学者	15 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0 %
合 計	23 人	0 人					0 %

(注)・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<理工学研究科 生命科学専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次 ()表示のある科目は クォーター制で開講する。 ()の数は開講時期を表す。	単位数				専任教員等の配置					備考 「MSEコース」は医理工連携 コースを意味する。	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通科目	理工学デザイン	1後	1			1						兼9	担当者の変更(29)
	地域産業アントレプレナー論	1後	1									兼4	オムニバス 担当者の変更(29)
	プレゼンテーション技法	1前		1								兼1	担当者の変更(29)
	理工学英語Ⅰ	1前		1								兼1	
	理工学英語Ⅱ	1後		1								兼1	担当者の変更(29)
	理工学英語Ⅲ	2前		1								兼1	
	理工学英語Ⅳ	2後		1								兼1	
	インターンシップⅠ	随時		1		1						兼9	企業等で実地研修 担当者の変更(29)
	インターンシップⅡ	随時		2		1						兼9	企業等で実地研修 担当者の変更(29)
	技術者倫理特論	1前		2								兼1	
	科学技術倫理特論	1後		2								兼1	
	リサイクルプロセス設計特論	1後		2								兼1	
	宇宙科学特論	1前		2								兼1	集中 担当者の変更(29)
	地震防災特論	1後		2								兼1	
	地域防災学特論	1前		2								兼1	
	古地震学特論	1後		2								兼1	
	地球資源成因論	1(1)		1								兼4	集中、オムニバス 担当者の変更(29)
	資源分離精製論	1通		1								兼3	集中、オムニバス
	資源化学・資源利用工学	1通		1								兼4	集中、オムニバス
	リサイクルシステム設計論	1通		1								兼3	集中、オムニバス
	自主プロジェクトⅠ	1通		1								兼1	
	自主プロジェクトⅡ	1通		2								兼1	
	国際関係論	1(1)		1								兼1	集中
	マーケティング論	1前		1								兼1	MOTコース対象科目
	ベンチャー起業論	1(2)		1								兼1	集中 MOTコース必修
	資源・工業経済論	1通		1								兼2	集中、オムニバス MOTコース対象科目
	リスクマネジメント	1(2)		1								兼1	集中 MOTコース対象科目
	技術戦略学	1(1)		1								兼1	集中 MOTコース対象科目
	財務・金融工学	1通		1								兼5	オムニバス MOTコース必修
	知的財産論	1(3)		1								兼1	集中 MOTコース対象科目 MSEコース必修
	経営戦略論	1(2)		1								兼1	集中 MOTコース対象科目
	企業行動論	1(1)		1								兼1	集中 MOTコース対象科目
	特許情報活用論	1前		1								兼2	MOTコース対象科目 担当者の変更(29)
	理工学特論Ⅰ	1前		1		1						兼9	担当者の変更(29)
理工学特論Ⅱ	1後		1		1						兼9	担当者の変更(29)	
生命医理工学特論	1前		2		6 4						兼11	オムニバス 担当教員の追加(28) 担当者の変更(29)	
医理工連携実践論	1(2)		1		1						兼7	集中、オムニバス MSEコース必修	

専 門 科 目	生 命 科 学 コ ー ス	生命科学演習	2通	2		6 4	3	2	1		担当教員の追加(28)		
		生命科学課題研究	1~2通	10		6 4	3	2	1		担当教員の追加(28)		
		Introduction to Life Sciences (生命科学概論)	1・2前	1								兼 1	
		生命電気化学特論 I	1・2(3)		1			1					
		生命電気化学特論 II	1・2(4)		1			1					
		生命理論化学特論 I	1・2(1)		1			1					
		生命理論化学特論 II	1・2(2)		1			1					
		構造有機化学特論 I	1・2(3)		1				1				
		構造有機化学特論 II	1・2(4)		1				1				
		医薬品合成化学特論 I	1・2(1)		1		1					教育課程の充実を図るため科目を追加(28)	
		医薬品合成化学特論 II	1・2(2)		1		1					教育課程の充実を図るため科目を追加(28)	
		分光分析化学特論 I	1・2(1)		1		+		1			担当教員の変更(28)	
		分光分析化学特論 II	1・2(2)		1		+		1			担当教員の変更(28)	
		生命無機化学特論	1・2後		2		1					MSEコース対象科目	
		分子生物学特論	1・2前		2		1					MSEコース対象科目	
		細胞生物学特論	1・2後		2		1					MSEコース対象科目	
		分子細胞生物学特論	1・前		2		1					教育課程の充実を図るため科目を追加(29)	
		疾患生物学特論	1・2前		2		1					MSEコース対象科目	
		生物進化学特論	1・2前		2				1				
		生命科学特論	1・2後		2		6 4	3	2	1			ムニパス 担当教員の追加(28)
		生命科学ゼミナール I	1通		2		6 4	3	2	1			担当教員の追加(28)
		生命科学ゼミナール II	2通		2		6 4	3	2	1			担当教員の追加(28)
		生命科学論文講読 I	1通		2		6 4	3	2	1			担当教員の追加(28)
		生命科学論文講読 II	2通		2		6 4	3	2	1			担当教員の追加(28)
		分子機能材料特論	1・2前		2							兼 1	MSEコース対象科目
		ナノバイオテクノロジー特論	1・2前		2							兼 1	MSEコース対象科目
		高分子機能学	1・2前		2							兼 1	
		界面化学特論 I	1・2(3)		1							兼 1	
界面化学特論 II	1・2(4)		1							兼 1			
機能性高分子特論 I	1・2(3)		1							兼 1			
機能性高分子特論 II	1・2(4)		1							兼 1			

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備 考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
5	60	0	65	5	63	0	68	
				[±0]	[+3]	[±0]	[+3]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ 1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1		該当なし				
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1		該当なし				
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{65} = \boxed{} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位までを記入してください。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
	校舎敷地	258,144 m ²	0 m ²	0 m ²	258,144 m ²			
	運動場用地	76,253 m ²	0 m ²	0 m ²	76,253 m ²			
	小 計	334,397 m ²	0 m ²	0 m ²	334,397 m ²			
	そ の 他	104,058 m ²	0 m ²	0 m ²	104,058 m ²			
	合 計	438,455 m ²	0 m ²	0 m ²	438,455 m ²			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
		132,654 m ² (132,654 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	132,654 m ² (132,654 m ²)			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
	99 室	130 室	543 室	14 室 (補助職員 4 人)	6 室 (補助職員 1 人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数				
		理工学研究科 生命科学専攻		12 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体での共用分を含む
	理工学研究科	443,662 [115,105] (427,382 [113,216])	9,572 [2,715] (9,572 [2,715])	6,850 [5,400] (6,850 [5,400])	3,071 (2,893)	6,341 (6,341)	19,370 (19,170)	
	計	443,662 [115,105] (427,382 [113,216])	9,572 [2,715] (9,572 [2,715])	6,850 [5,400] (6,850 [5,400])	3,071 (2,893)	6,341 (6,341)	19,370 (19,170)	
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
	6,321 m ²		652		582,537			
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				大学全体	
	7,908 m ²		陸上競技場, 野球場, 多目的運動場, テニスコート, プール					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員 1 人当り研究費等	— 千円	— 千円	図書購入費	— 千円	— 千円	— 千円
	共 同 研 究 費 等	— 千円	— 千円	設備購入費	— 千円	— 千円	— 千円	
	学生 1 人当り納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	
		— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA/C対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	秋田大学							備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地
≪AC対象学部等≫	年	人	年次人	人		倍		
国際資源学部								秋田市手形学園町1番1号
国際資源学科	4	120	—	480	学士(資源学)	1.02	平成26	
教育文化学部								秋田市手形学園町1番1号
学校教育課程	4	110	—	440	学士(学校教育)	1.04	平成10	平成26年度入学定員増(10人) 平成26年度より学生募集停止
地域文化学科	4	100	—	400	学士(地域文化)	1.02	平成26	
地域科学課程	4	—	—	—	学士(地域科学)	—	平成10	
国際言語文化課程	4	—	—	—	学士(国際言語文化)	—	平成10	
人間環境課程	4	—	—	—	学士(人間環境)	—	平成10	
医学部								秋田市本道一丁目1の1
医学科	6	124	2年次5	759	学士(医学)	1.00	昭和45	平成27年度入学定員増(2人)
保健学科	4	106	3年次14	452	学士(保健学) 学士(看護学)	1.05	平成14	
理工学部								秋田市手形学園町1番1号
生命科学科	4	45	—	180	学士(理学)	0.99	平成26	平成26年度より学生募集停止
物質科学科	4	110	—	440	学士(理工学)	1.02	平成26	
数理・電気電子情報学科	4	120	—	480	学士(理学)	1.07	平成26	
システムデザイン工学科	4	120	—	480	学士(工学)	1.09	平成26	
各学科共通			3年次12	12				
工学資源学部								秋田市手形学園町1番1号
地球資源学科	4	—	—	—	学士(資源学)	—	平成10	平成26年度より学生募集停止
環境応用化学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成20	
生命化学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成20	
材料工学科	4	—	—	—	学士(理学)	—	平成10	
情報工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成10	
機械工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成10	
電気電子工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成10	
土木環境工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成10	
各学科共通			3年次12	—				
								平成28年度より学生募集停止

大学院国際資源学研究所 (博士前期課程)								秋田市手形学園町1番1号	
資源地球科学専攻	2	17	—	34	修士 (資源学)	0.82	平成28		
資源開発環境学専攻	2	23	—	46	修士 (資源学) 修士 (工学)	0.71	平成28		
(博士後期課程)									
資源学専攻	3	10	—	20	博士 (資源学) 博士 (工学) 博士 (理学)	0.65	平成28		
大学院教育学研究所 (修士課程)								秋田市手形学園町1番1号	
心理教育実践専攻	2	6	—	12	修士 (教育学)	1.08	平成28		平成28年度より 学生募集停止
学校教育専攻	2	—	—	—	修士 (教育学)	—	平成元		
教科教育専攻	2	—	—	—	修士 (教育学)	—	平成元		
(専門職学位課程)									
教職実践専攻	2	20	—	40	教職修士 (専門職)	1.12	平成28		
大学院医学系研究所 (修士課程)								秋田市本道一丁目1の1	
医科学専攻	2	5	—	10	修士 (医科学)	0.30	平成19		
(博士前期課程)									
保健学専攻	2	12	—	24	修士 (看護学) 修士 (リハビリテーション科学)	1.04	平成19		
(博士後期課程)									
保健学専攻	3	3	—	9	博士 (保健学)	1.11	平成21		
(博士課程)									
医学専攻	4	30	—	120	博士 (医学)	0.97	平成19		
大学院理工学研究所 (博士前期課程)								秋田市手形学園町1番1号	
生命科学専攻	2	15	—	30	修士 (理学)	0.76	平成28		
物質科学専攻	2	42	—	84	修士 (理工学)	0.79	平成28		
数理・電気電子 情報学専攻	2	45	—	90	修士 (理学) 修士 (工学)	1.07	平成28		
システムデザイン 工学専攻	2	36	—	72	修士 (工学)	0.97	平成28		
共同ライフサイクル デザイン工学専攻	2	12	—	24	修士 (工学)	1.00	平成28		

(博士後期課程)												
総合理工学専攻	3	10	—	20	博士 (理学) 博士 (理工学) 博士 (工学)	1.05	平成28					
大学院工学資源学研究所										秋田市手形学園町1番1号		
(博士前期課程)												
地球資源学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成14					
環境応用化学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成24					
生命科学専攻	2	—	—	—	修士 (理学)	—	平成24					
材料工学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成14					
情報工学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成14					
機械工学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成14					
電気電子工学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成14					
土木環境工学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成14					
共同ライフサイクル デザイン工学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成24					
(博士後期課程)												
資源学専攻	3	—	—	—	博士 (工学)	—	平成14					
生命科学専攻	3	—	—	—	博士 (理学)	—	平成26					
機能物質工学専攻	3	—	—	—	博士 (工学)	—	平成14					
生産・建設工学専攻	3	—	—	—	博士 (工学)	—	平成14					
電気電子情報 システム工学専攻	3	—	—	—	博士 (工学)	—	平成14					

平成28年度より
学生募集停止

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(A・C対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・A・C対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<理工学研究科 生命科学専攻（博士前期課程）>

(1) 担当教員表

設置時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
専	教授	尾高 雅文 ()	平成28年4月	分光分析化学特論Ⅰ 分光分析化学特論Ⅱ 理工学デザイン インターンシップⅠ インターンシップⅡ 理工学特論Ⅰ 理工学特論Ⅱ 生命医理工学特論 生命無機化学特論 生命科学演習 生命科学課題研究 生命科学特論 生命科学ゼミナールⅠ 生命科学ゼミナールⅡ 生命科学論文購読Ⅰ 生命科学論文購読Ⅱ	専	教授	尾高 雅文 ()	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップⅠ インターンシップⅡ 理工学特論Ⅰ 理工学特論Ⅱ 生命医理工学特論 生命無機化学特論 生命科学演習 生命科学課題研究 生命科学特論 生命科学ゼミナールⅠ 生命科学ゼミナールⅡ 生命科学論文購読Ⅰ 生命科学論文購読Ⅱ	(教員審査省略) 平成28年4月 担当の変更(28)
専	教授	藤原 憲秀 ()	平成28年4月	医薬品合成化学特論Ⅰ 医薬品合成化学特論Ⅱ 生命科学演習 生命科学課題研究 生命科学特論 生命科学ゼミナールⅠ 生命科学ゼミナールⅡ 生命科学論文購読Ⅰ 生命科学論文購読Ⅱ 生命医理工学特論						
専	教授	伊藤 英晃 ()	平成28年4月	分子生物学特論 生命科学演習 生命科学課題研究 生命科学特論 生命科学ゼミナールⅠ 生命科学ゼミナールⅡ 生命科学論文購読Ⅰ 生命科学論文購読Ⅱ 生命医理工学特論						
専	教授	涌井 秀樹 ()	平成28年4月	疾患生物学特論 生命科学演習 生命科学課題研究 生命科学特論 生命科学ゼミナールⅠ 生命科学ゼミナールⅡ 生命科学論文購読Ⅰ 生命科学論文購読Ⅱ 生命医理工学特論 医理工連携実践論						
専	教授	久保田 広志 ()	平成28年4月	細胞生物学特論 生命科学演習 生命科学課題研究 生命科学特論 生命科学ゼミナールⅠ 生命科学ゼミナールⅡ 生命科学論文購読Ⅰ 生命科学論文購読Ⅱ 生命医理工学特論						
専	教授	疋田 正喜 ()	平成28年4月	生命科学演習 生命科学課題研究 生命科学特論 生命科学ゼミナールⅠ 生命科学ゼミナールⅡ 生命科学論文購読Ⅰ 生命科学論文購読Ⅱ 生命医理工学特論	専	教授	疋田 正喜 ()	平成29年4月	分子細胞生物学特論 生命科学演習 生命科学課題研究 生命科学特論 生命科学ゼミナールⅠ 生命科学ゼミナールⅡ 生命科学論文購読Ⅰ 生命科学論文購読Ⅱ 生命医理工学特論	(教員審査省略) 平成29年4月から 教育課程の充実を図るため科目 を追加(29)
専	准教授	秋葉 宇一 ()	平成28年4月	生命電気化学特論Ⅰ 生命電気化学特論Ⅱ 生命科学演習 生命科学課題研究 生命科学特論 生命科学ゼミナールⅠ 生命科学ゼミナールⅡ 生命科学論文購読Ⅰ 生命科学論文購読Ⅱ						

専	准教授	天辰 禎晃 ()	平成28年4月	生命理論化学特論Ⅰ 生命理論化学特論Ⅱ 生命科学演習 生命科学課題研究 生命科学特論 生命科学ゼミナールⅠ 生命科学ゼミナールⅡ 生命科学論文購読Ⅰ 生命科学論文購読Ⅱ						
専	准教授	布村 涉 ()	平成28年4月	生物進化学特論 生命科学演習 生命科学課題研究 生命科学特論 生命科学ゼミナールⅠ 生命科学ゼミナールⅡ 生命科学論文購読Ⅰ 生命科学論文購読Ⅱ						
専	講師	松村 洋寿 ()	平成28年4月	生命科学演習 生命科学課題研究 生命科学特論 生命科学ゼミナールⅠ 生命科学ゼミナールⅡ 生命科学論文購読Ⅰ 生命科学論文購読Ⅱ	専	講師	松村 洋寿 ()	平成28年4月	分光分析化学特論Ⅰ 分光分析化学特論Ⅱ 生命科学演習 生命科学課題研究 生命科学特論 生命科学ゼミナールⅠ 生命科学ゼミナールⅡ 生命科学論文購読Ⅰ 生命科学論文購読Ⅱ	(教員審査省略) 平成28年4月 担当教員の変更 (28)
専	講師	近藤 良彦 ()	平成28年4月	構造有機化学特論Ⅰ 構造有機化学特論Ⅱ 生命科学演習 生命科学課題研究 生命科学特論 生命科学ゼミナールⅠ 生命科学ゼミナールⅡ 生命科学論文購読Ⅰ 生命科学論文購読Ⅱ						
専	助教	田村 拓 ()	平成28年4月	生命科学演習 生命科学課題研究 生命科学特論 生命科学ゼミナールⅠ 生命科学ゼミナールⅡ 生命科学論文購読Ⅰ 生命科学論文購読Ⅱ						
兼任	教授	村上 賢治 ()	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップⅠ インターンシップⅡ 理工学特論Ⅰ 理工学特論Ⅱ						
兼任	教授	原 基 ()	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップⅠ インターンシップⅡ 理工学特論Ⅰ 理工学特論Ⅱ	兼任	教授	麻生 節夫 ()	平成29年4月	理工学デザイン インターンシップⅠ インターンシップⅡ 理工学特論Ⅰ 理工学特論Ⅱ	平成29年4月 担当教員の変更 (29)
兼任	教授	河上 肇 ()	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップⅠ インターンシップⅡ 理工学特論Ⅰ 理工学特論Ⅱ						
兼任	教授	今野 和彦 ()	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップⅠ インターンシップⅡ 理工学特論Ⅰ 理工学特論Ⅱ	兼任	教授	倉林 徹 ()	平成29年4月	理工学デザイン インターンシップⅠ インターンシップⅡ 理工学特論Ⅰ 理工学特論Ⅱ	平成29年4月 担当教員の変更 (29)
兼任	教授	景山 陽一 ()	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップⅠ インターンシップⅡ 理工学特論Ⅰ 理工学特論Ⅱ 生命医理工学特論	兼任	教授	水戸部 一孝 ()	平成29年4月	理工学デザイン インターンシップⅠ インターンシップⅡ 理工学特論Ⅰ 理工学特論Ⅱ	平成29年4月 担当教員の変更 (29)
兼任	教授	奥山 栄樹 ()	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップⅠ インターンシップⅡ 理工学特論Ⅰ 理工学特論Ⅱ						
兼任	教授	足立 高弘 ()	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップⅠ インターンシップⅡ 理工学特論Ⅰ 理工学特論Ⅱ						
兼任	教授	濱岡 秀勝 ()	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップⅠ インターンシップⅡ 理工学特論Ⅰ 理工学特論Ⅱ						
兼任	教授	中村 雅英 ()	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップⅠ インターンシップⅡ 理工学特論Ⅰ 理工学特論Ⅱ						
兼任	講師	眞田 慎 ()	平成28年4月	地域産業アントレプレ ナー論						

兼任	寄附講座准教授	今野 道人 ()	平成28年4月	地域産業アントレプレナー論	兼任	講師	泰松 齊 ()	平成29年4月	地域産業アントレプレナー論	平成29年4月 担当者の変更(29)
兼任	講師	村上 信博 ()	平成28年4月	地域産業アントレプレナー論						
兼任	講師	星 則幸 ()	平成28年4月	地域産業アントレプレナー論						
兼任	講師	SIM Malcolm Shane ()	平成28年4月	プレゼンテーション技法	兼任	講師	ジョー サイクス Joe SYKES ()	平成29年4月	プレゼンテーション技法	平成29年4月 担当者の変更(29)
兼任	准教授	ABADZHIEVA EMILIYA ()	平成28年4月	理工学英語 I						
兼任	講師	SELIN PAVEL ()	平成28年4月	理工学英語 III						
兼任	准教授	GRAVE EWA MALGORZATA ()	平成28年4月	理工学英語 II 理工学英語 IV Introduction to Life Sciences (生命科学概論)	兼任	准教授	WATTERS EAMON PATRICK JOHN ()	平成28年10月	理工学英語 II	平成28年10月 担当者の変更(29)
兼任	教授	銭谷 秋生 ()	平成28年4月	技術者倫理特論 科学技術倫理特論						
兼任	寄附講座准教授	川村 茂 ()	平成28年4月	リサイクルプロセス設計特論						
兼任	講師	和田 豊 ()	平成28年4月	宇宙科学特論	兼任	講師	阿部 琢美 ()	平成29年10月	宇宙科学特論	平成29年10月 担当者の変更(29)
兼任	教授	水田 敏彦 ()	平成28年4月	地震防災特論 地域防災学特論						
兼任	特任准教授	鎌滝 孝信 ()	平成28年4月	古地震学特論						
兼任	教授	石山 大三 ()	平成28年4月	地球資源成因論						
兼任	教授	岩田 吉弘 ()	平成28年4月	地球資源成因論						
兼任	教授	柴山 敦 ()	平成28年4月	地球資源成因論 資源分離精製論						
兼任	教授	水田 敏夫 ()	平成28年4月	地球資源成因論	兼任	教授	渡辺 寧 ()	平成29年4月	地球資源成因論	平成29年4月 担当者の変更(29)
兼任	講師	大和田 秀二 ()	平成28年4月	資源分離精製論						
兼任	准教授	高崎 康志 ()	平成28年4月	資源分離精製論						
兼任	教授	進藤 隆世志 ()	平成28年4月	資源化学・資源利用工学						
兼任	教授	村上 賢治 ()	平成28年4月	資源化学・資源利用工学 界面化学特論 I 界面化学特論 II						
兼任	准教授	布田 潔 ()	平成28年4月	資源化学・資源利用工学						
兼任	講師	藤田 豊久 ()	平成28年4月	資源化学・資源利用工学						
兼任	教授	三島 望 ()	平成28年4月	リサイクルシステム設計論						
兼任	教授	安達 毅 ()	平成28年4月	リサイクルシステム設計論						
兼任	講師	中村 崇 ()	平成28年4月	リサイクルシステム設計論						
兼任	教授	神谷 修 ()	平成28年4月	自主プロジェクト I 自主プロジェクト II						
兼任	講師	細井 義孝 ()	平成28年4月	国際関係論						

兼任	講師	長谷部 光重 ()	平成28年4月	マーケティング論						
兼任	講師	佐藤 善友 ()	平成28年4月	ベンチャー起業論						
兼任	講師	佐藤 博 ()	平成28年4月	資源・工業経済論						
兼任	講師	桜井 若葉 ()	平成28年4月	資源・工業経済論						
兼任	講師	戸根谷 法雄 ()	平成28年4月	リスクマネジメント						
兼任	講師	高橋 弘毅 ()	平成28年4月	技術戦略学						
兼任	講師	水澤 春樹 ()	平成28年4月	財務・金融工学						
兼任	講師	伊藤 秀範 ()	平成28年4月	財務・金融工学						
兼任	講師	佐藤 貴幸 ()	平成28年4月	財務・金融工学						
兼任	講師	高橋 利典 ()	平成28年4月	財務・金融工学						
兼任	講師	豊島 洋之 ()	平成28年4月	財務・金融工学						
兼任	講師	森川 茂弘 ()	平成28年4月	知的財産論						
兼任	講師	谷内 宏行 ()	平成28年4月	経営戦略論						
兼任	講師	廣畑 伸雄 ()	平成28年4月	企業行動論						
兼任	准教授	角谷 浩 ()	平成28年4月	特許情報活用論	兼任	講師	齋藤 昭彦 ()	平成29年4月	特許情報活用論	平成29年4月 担当者の変更(29)
兼任	講師	田嶋 正夫 ()	平成28年4月	特許情報活用論	兼任	講師	齋藤 博子 ()	平成29年4月	特許情報活用論	平成29年4月 担当者の変更(29)
兼任	教授	後藤 猛 ()	平成28年4月	生命医理工学特論 ナノバイオテクノロジー 特論						
兼任	教授	水戸部 一孝 ()	平成28年4月	生命医理工学特論 医理工連携実践論						
兼任	教授	長縄 明大 ()	平成28年4月	生命医理工学特論 医理工連携実践論						
兼任	教授	巖見 武裕 ()	平成28年4月	生命医理工学特論						
兼任	准教授	南條 博 ()	平成28年4月	生命医理工学特論						
兼任	教授	三浦 昌朋 ()	平成28年4月	生命医理工学特論						
兼任	講師	藤島 直仁 ()	平成28年4月	生命医理工学特論						
兼任	教授	橋本 学 ()	平成28年4月	生命医理工学特論						
兼任	教授	廣川 誠 ()	平成28年4月	生命医理工学特論	兼任	助教	面川 歩 ()	平成29年4月	生命医理工学特論	平成29年4月 担当者の変更(29)
兼任	教授	安藤 秀明 ()	平成28年4月	生命医理工学特論						
兼任	教授	寺境 光俊 ()	平成28年4月	医理工連携実践論 分子機能材料特論						
兼任	教授	南谷 佳弘 ()	平成28年4月	医理工連携実践論						

兼担	理事	近藤 克幸 ()	平成28年4月	医理工連携実践論						
兼任	講師	野堀 潔 ()	平成28年4月	医理工連携実践論						
兼任	講師	赤上 陽一 ()	平成28年4月	医理工連携実践論						
兼担	講師	井上 幸彦 ()	平成28年4月	高分子機能学						
兼担	講師	松本 和也 ()	平成28年4月	機能性高分子特論Ⅰ 機能性高分子特論Ⅱ						

- (注)
- ・ 設置時の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
4	3	3
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2)-② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
4	3	2	1	10	6	3	2	1	12	6	3	2	1	12
(6)	(3)	(2)	(1)	(12)						[+2]	[±0]	[±0]	[±0]	[+2]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
9	1	0			12	0	0			12	0	0		
(12)	(0)	(0)								[+3]	[Δ1]	[±0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
1	教授	該当なし	必修	〇〇概論	①	……………のため就任辞退（27）	
				◆◆基礎	②		
				☆☆演習	③		
2	准教授	△△ △△	自由	××語	②	……………のため就任辞退（29）	
			必修	▲▲実習	③		
			必修	◇◇特論	①		
合計（A）				後任補充状況の集計（B）			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
〇〇	人	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目
		選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目
		自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目
		計	〇〇 科目	計	〇〇 科目	計	〇〇 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1	教授	該当なし	必修	〇〇概論	①	……………のため辞任（27）	
				◆◆基礎	②		
				☆☆演習	③		
2	准教授	△△ △△	自由	××語	②	……………のため辞任（29）	
			必修	▲▲実習	③		
			必修	◇◇特論	①		
合計（C）				後任補充状況の集計（D）			
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
〇〇	人	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目
		選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目
		自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目
		計	〇〇 科目	計	〇〇 科目	計	〇〇 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（A）+（C）				後任補充状況の集計（B）+（D）			
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
〇〇	人	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目
		選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目
		自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目
		計	〇〇 科目	計	〇〇 科目	計	〇〇 科目

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (28年4月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (29年2月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年2月)		改善意見	
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年2月)	・同一設置者が設置する 既設学部等(○○学科、 ●●学科)の～すること。	○○意見	

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<理工学研究科 生命科学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況，今後の見通しなど
	該当なし

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で，設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し，それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
 - ・ 構成大学ごとに記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

理工学研究科教育改善委員会

《関係規程等》

秋田大学大学院理工学研究科教育改善委員会規程

(趣旨)

第1条 秋田大学大学院理工学研究科及び理工学部における教育及び教員の教育に関する資質の向上に関する事項並びに理工学研究科評価委員会及び企画運営会議の付託事項を検討・実施するため，理工学研究科に教育改善委員会（以下「委員会」という。）を置き，委員会に関し必要な事項は，この規程の定めるところによる。

(審議事項)

第2条 委員会は，次の各号に掲げる事項について審議する。

- (1) 学生及び教員による授業評価の実施等に関すること。
- (2) JABEE認証の受審・更新の実施等に関すること。
- (3) 教育に関する外部評価の実施に関すること。
- (4) 教育改善に関わる調査・研究に関すること。
- (5) FD活動の実施等に関すること。
- (6) その他教育改善に関すること。

(組織)

第3条 委員会は，次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 博士前期課程の各コース及び共同ライフサイクルデザイン工学専攻の教授または准教授各1名
- (2) その他研究科長が必要と認めた者

(任期)

第4条 任期は2年とする。ただし，再任を妨げない。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長を置き，学務副委員長をもって充てる。

2 委員長は，委員会を主宰する。

3 委員会に副委員長を置き，委員長が指名する。

4 委員長に事故等があるときは，副委員長がその職務を代行する。

(議事)

第6条 委員会は，委員の3分の2以上の出席がなければ開くことができない。

2 委員会の議事は，出席した委員の過半数をもって決し，可否同数のときは，議長の決するところによる。

(委員以外の出席)

第7条 委員長が必要と認めたときは，委員以外のものを委員会に出席させ，意見を聴くことができる。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は，理工学研究科事務部の協力を得て，総合学務課において処理する。

(補則)

第9条 この規程に定めるもののほか，委員会の運営に関し必要な事項は，委員会が定める。

附 則

この規程は，平成22年6月10日から施行し，平成22年4月1日から適用する。

附 則

1 この規程は，平成26年4月1日から施行する。

2 第2条の規定は，工学資源学部が存続する間，当該学部適用する。

附 則

この規程は，平成26年11月1日から施行する。

附 則

1 この規程は，平成28年4月1日から施行する。

2 第2条の規定は，工学資源学研究科が存続する間，当該研究科に適用する。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

4回開催（平成26年度実績）。8回開催（平成27年度実績）。6回開催（平成28年度実績）。
構成委員全員が参加。

c 委員会の審議事項等

上記の委員会規程第2条に定めるところによる。

② 実施状況

a 実施内容

- (1) FD・SDシンポジウムの開催
- (2) FDワークショップの開催
- (3) 教員による授業評価

b 実施方法

- (1) FDシンポジウム：発達障がいを持つ学生へのサポートをテーマに、学内の学生支援を担当している保健管理センター所長等3名の講師によるレクチャーおよび総合討論を行った。（平成26年度実績）
FD・SDシンポジウム：ルーブリック評価とeラーニングの活用をテーマに、学外の教員1名による基調講演およびeラーニングの事例紹介を行った。（平成28年度実績）
・大学教育におけるハラスメントについてをテーマに、保健管理センター所長による基調講演を行った。（平成28年度実績）
- (2) FDワークショップ：学生参加型等の授業改善をテーマに、学内外の教員3名による基調講演およびパネルディスカッション、参加者全員による授業改善計画案の作成を行った。（平成26年度実績）
・ルーブリック評価の活用と設定方法をテーマに、学外の教員1名による基調講演および参加者全員によるルーブリック課題作成を行った。（平成27年度実績）
- (3) 各学科・専攻単位に授業評価の対象科目を選定し、その科目について2名以上の教員で評価を行う。（各教員は、5年に1科目を目処に評価を受けることとしている。）

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- (1) FDシンポジウム：平成26年9月18日（木） 参加者：36名
FD・SDシンポジウム：平成28年12月6日（火） 参加者：40名
平成29年3月13日（月） 参加者：52名
- (2) FDワークショップ：平成26年12月12日（金） 参加者：33名
平成27年12月11日（金） 参加者：36名
- (3) 平成26年10月から平成27年1月までの期間で、計17科目の評価を実施した。（平成26年度実績）
平成27年6月から平成28年1月までの期間で、計16科目の評価を実施した。（平成27年度実績）
平成28年6月から平成29年1月までの期間で、計23科目の評価を実施した。（平成28年度実績）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

実施結果を踏まえ、各学科・専攻ごとに検討を行い次年度以降の授業改善に向けて取り組んでいる。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

有 前期と後期の2回、大学院及び学部の全学生を対象に実施した。（平成26, 27, 28年度実績）

b 教員や学生への公開状況、方法等

実施結果及び分析結果の総評は冊子体としてまとめ、各教員に配付している。各科目ごとの結果については当該教員に個別に通知している。学生への公開については、その方法等も含め各学科・専攻の判断に委ねている。

- (注) ・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
・「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）
・構成大学ごとに記入してください。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

開設後2年目の状況は、順調に進んでいる。
引き続き、設置の趣旨・目的の達成に向けて取り組んでいきたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成29年度以降

b 公表方法

- ・理工学研究科のホームページから各種の情報を発信することとしている。
- ・大学で実施する自己点検・評価に基づく評価の結果については、各事業年度及び目標期間内における業務実績に係る「評価書」を作成しホームページ上等で公表している。

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成25年度に独立行政法人大学評価・学位授与機構による大学機関別認証評価及び大学機関別選択評価を受けた。現在は次回（平成31年度予定）の認証評価を受けるべく、学内で検討中である。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

- ・ 構成大学ごとに記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(平成29年7月1日公表予定)

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 秋田大学

(2) 大学名

秋田大学

(3) 大学の位置

〒010-8502
秋田県秋田市手形学園町1番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(ヤマモト フミオ) 山本 文雄 (平成28年4月)		
研究科長	(ムラオカ ミキオ) 村岡 幹夫 (平成28年4月)		
専攻長	(ムラカミ ケンジ) 村上 賢治 (平成28年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)
平成29年度に報告する内容 → (29)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください (入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の博士後期課程の場合 (平成29年度までの3年間) ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。 (修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称 (学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
理工学研究科 物質科学専攻 (博士前期課程) 修士 (理工学)	理学関係 工学関係	2 年	42 人	84 人	基礎となる学部等 理工学部 物質科学科

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を () 書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要 (別記様式第2号 (その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	平成28年度		平成29年度		平成 年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	42人 若干名 (若干名) [若干名]		42人 若干名 (若干名) [若干名]		人 () []	人 () []	0.79 倍	
志願者数	38 (-) (-) [3] [-]	-	39 (-) (-) [2] [-]	-	() () [] []	() () [] []		
受験者数	37 (-) (-) [3] [-]	-	38 (-) (-) [2] [-]	-	() () [] []	() () [] []		
合格者数	34 (-) (-) [3] [-]	-	38 (-) (-) [2] [-]	-	() () [] []	() () [] []		
B 入学者数	31 (-) (-) [3] [-]	-	36 (-) (-) [2] [-]	-	() () [] []	() () [] []		
入学定員超過率 B/A	0.73		0.85					

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 社会人の状況について **内数** で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ [] 内には, 留学生の状況について **内数** で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格 (いわゆる「留学ビザ」) により, 我が国の大学 (大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校 (専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期 (春季入学以外の学期区分を設けている場合) に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出** してください。なお, 計算の際は **小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入** してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	平成28年度		平成29年度		平成 年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	31 [3] (-)	— [-] (-)	36 [2] (-)	— [-] (-)	[]	[]	
2年次	/		29 [3] (-)	— [-] (-)	[]	[]	
計			31 [3] (-)	65 [5] (-)	[]	[]	()

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況について、内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	31 人	2 人	平成28年度	2 人	0 人	就職(2人)	6.45 %
			平成29年度	0 人	0 人		
平成29年度 入学者	36 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0 %
合 計	67 人	2 人					2.98 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<理工学研究科 物質科学専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次 ()表示のある科目は7-9- 制で開講する。 ()の数は開 講時期を表 す。	単位数				専任教員等の配置					備 考 「MSEコース」は医理工連携 コースを意味する。		
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手				
共 通 科 目	理工学デザイン	1後	1			2						兼8	担当者の変更(29)	
	地域産業アントレプレナー論	1後	1									兼4	オムニバス 担当者の変更(29)	
	プレゼンテーション技法	1前		1								兼1	担当者の変更(29)	
	理工学英語Ⅰ	1前		1								兼1		
	理工学英語Ⅱ	1後		1								兼1	担当者の変更(29)	
	理工学英語Ⅲ	2前		1								兼1		
	理工学英語Ⅳ	2後		1								兼1		
	インターンシップⅠ	随時		1			2						兼8	企業等で実地研修 担当者の変更(29)
	インターンシップⅡ	随時		2			2						兼8	企業等で実地研修 担当者の変更(29)
	技術者倫理特論	1前		2									兼1	
	科学技術倫理特論	1後		2									兼1	
	リサイクルプロセス設計特論	1後		2									兼1	
	宇宙科学特論	1前		2									兼1	集中 担当者の変更(29)
	地震防災特論	1後		2									兼1	
	地域防災学特論	1前		2									兼1	
	古地震学特論	1後		2									兼1	
	地球資源成因論	1(1)		1									兼4	集中, オムニバス 担当者の変更(29)
	資源分離精製論	1通		1									兼3	集中, オムニバス
	資源化学・資源利用工学	1通		1			2	1					兼1	集中, オムニバス
	リサイクルシステム設計論	1通		1									兼3	集中, オムニバス
	自主プロジェクトⅠ	1通		1									兼1	
	自主プロジェクトⅡ	1通		2									兼1	
	国際関係論	1(1)		1									兼1	集中
	マーケティング論	1前		1									兼1	MOTコース対象科目
	ベンチャー起業論	1(2)		1									兼1	集中 MOTコース必修
	資源・工業経済論	1通		1									兼2	集中 オムニバス MOTコース対象科目
	リスクマネジメント	1(2)		1									兼1	集中 MOTコース対象科目
	技術戦略学	1(1)		1									兼1	集中 MOTコース対象科目
	財務・金融工学	1通		1									兼5	オムニバス MOTコース必修
	知的財産論	1(3)		1									兼1	集中 MOTコース対象科目 MSEコース必修
	経営戦略論	1(2)		1									兼1	集中 MOTコース対象科目
	企業行動論	1(1)		1									兼1	集中 MOTコース対象科目
	特許情報活用論	1前		1									兼2	MOTコース対象科目 担当者の変更(29)
理工学特論Ⅰ	1前		1			2						兼8	担当者の変更(29)	
理工学特論Ⅱ	1後		1			2						兼8	担当者の変更(29)	
生命医理工学特論	1前		2			1						兼14	オムニバス 担当者の変更(29)	
医理工連携実践論	1(2)		1			1						兼7	集中, オムニバス MSEコース必修	

コース共通	物質科学演習	2通	2		13 14	10 8	7 5			担当教員の追加等(28)
	物質科学課題研究	1~2通	10		13 14	10 8	7 5			担当教員の追加等(28)
	Introduction to Materials Science (物質科学概論)	1・2前	1							兼 1 兼 2 担当教員数の変更(28) 担当者の変更(29)
応用化学コース	分子機能材料特論	1・2前	2		1					MSEコース対象科目
	有機資源化学特論Ⅰ	1・2(1)	1		1					
	有機資源化学特論Ⅱ	1・2(2)	1		1					
	移動現象論特論Ⅰ	1・2(1)	1		4					後任選考中(28)
	移動現象論特論Ⅱ	1・2(2)	1		4					後任選考中(28)
	エネルギー環境学特論Ⅰ	1・2(1)	1		1					
	エネルギー環境学特論Ⅱ	1・2(2)	1		1					
	ナノバイオテクノロジー特論	1・2前	2		1					MSEコース対象科目
	物質システム化学特論	1・2前	2			1				
	有機金属化学特論	1・2前	2							兼 1
	高分子機能学	1・2前	2				1			
	界面化学特論Ⅰ	1・2(3)	1		1					
	界面化学特論Ⅱ	1・2(4)	1		1					
	分析化学特論Ⅰ	1・2(3)	1							兼 1
	分析化学特論Ⅱ	1・2(4)	1							兼 1
	無機材料化学特論	1・2後	2			1				
	化学プロセスデザイン学	1・2後	2			1				
	無機素材解析特論	1・2後	2				1			
	機能性高分子特論Ⅰ	1・2(3)	1				1			
	機能性高分子特論Ⅱ	1・2(4)	1				1			
電気化学特論	1・2後	2				1				
高温物理化学	1・2後	2				1			教育課程の充実を図るため 科目を追加(28)	
工業原料学特論	1・2後	2					1		教育課程の充実を図るため 科目を追加(28)	
エックス線応用科学	1・2前	2					1		教育課程の充実を図るため 科目を追加(28)	
分子認識化学	1・後	2					1		教育課程の充実を図るため 科目を追加(29)	
材料工学コース	回折物理学	1・2前	2		1					MSEコース対象科目
	材料光学Ⅰ	1・2(1)	1		1					
	材料光学Ⅱ	1・2(2)	1		1					
	分子計算材料学Ⅰ	1・2(1)	1			1				
	分子計算材料学Ⅱ	1・2(2)	1			1				
	電子材料物理学Ⅰ	1・2(1)	1		1					
	電子材料物理学Ⅱ	1・2(2)	1		1					
	セラミック材料科学Ⅰ	1・2(1)	1			1				兼 1 分担科目
	セラミック材料科学Ⅱ	1・2(2)	1			1				兼 1 分担科目
	エネルギー材料化学Ⅰ	1・2(1)	1		1					
	エネルギー材料化学Ⅱ	1・2(2)	1		1					
	表面工学Ⅰ	1・2(1)	1		1					
	表面工学Ⅱ	1・2(2)	1		1					
	溶融加工学Ⅰ	1・2(3)	1		1					
	溶融加工学Ⅱ	1・2(4)	1		1					
	複合材料力学Ⅰ	1・2(3)	1		1					
	複合材料力学Ⅱ	1・2(4)	1		1					
	無機材料設計学Ⅰ	1・2(3)	1		1					
	無機材料設計学Ⅱ	1・2(4)	1		1					
	材料強度物性学Ⅰ	1・2(3)	1		1					
	材料強度物性学Ⅱ	1・2(4)	1		1					
	材料組織設計学Ⅰ	1・2(3)	1			1				兼 1 分担科目
	材料組織設計学Ⅱ	1・2(4)	1			1				兼 1 分担科目
表面改質学	1・2後	2				1				
薄膜材料物性学	1・2後	2				1				
分子エレクトロニクスⅠ	1・2(3)	1				1				
分子エレクトロニクスⅡ	1・2(4)	1				1				
応用磁気学Ⅰ	1・(1)	1					1		教育課程の充実を図るため 科目を追加(29)	
応用磁気学Ⅱ	1・(2)	1					1		教育課程の充実を図るため 科目を追加(29)	

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
5	83	0	88	5	89	0	94	
				[±0]	[+6]	[±0]	[+6]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1		該当なし				
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1		該当なし				
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{88} = \boxed{} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位までを記入してください。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校舎敷地	258,144 m ²	0 m ²	0 m ²	258,144 m ²			
	運動場用地	76,253 m ²	0 m ²	0 m ²	76,253 m ²			
	小 計	334,397 m ²	0 m ²	0 m ²	334,397 m ²			
	そ の 他	104,058 m ²	0 m ²	0 m ²	104,058 m ²			
	合 計	438,455 m ²	0 m ²	0 m ²	438,455 m ²			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
		132,654 m ² (132,654 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	132,654 m ² (132,654 m ²)			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
	99 室	130 室	543 室	14 室 (補助職員 4 人)	6 室 (補助職員 1 人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数		平成29年4月専任講師 1名が新規担当		
		理工学研究科 物質科学専攻		31 30 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体での共用分を 含む
	理工学研究科	443,662 [115,105] (427,382 [113,216])	9,572 [2,715] (9,572 [2,715])	6,850 [5,400] (6,850 [5,400])	3,071 (2,893)	6,341 (6,341)	19,370 (19,170)	
	計	443,662 [115,105] (427,382 [113,216])	9,572 [2,715] (9,572 [2,715])	6,850 [5,400] (6,850 [5,400])	3,071 (2,893)	6,341 (6,341)	19,370 (19,170)	
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
	6,321 m ²		652		582,537			
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
	7,908 m ²		陸上競技場、野球場、多目的運動場、テニスコート、プール					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	— 千円	— 千円	図書購入費	— 千円	— 千円	— 千円
	共同研究費等	— 千円	— 千円	設備購入費	— 千円	— 千円	— 千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA-C対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	秋 田 大 学							備 考
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収定容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開 設 年 度	所 在 地
	年	人	年次人	人		倍		
≪ A C 対象学部等 ≫ 国際資源学部 国際資源学科	4	120	—	480	学士 (資源学)	1.02	平成26	秋田市手形学園町1番1号
教育文化学部 学校教育課程 地域文化学科 地域科学課程 国際言語文化課程 人間環境課程	4	110	—	440	学士 (学校教育)	1.04	平成10	秋田市手形学園町1番1号
	4	100	—	400	学士 (地域文化)	1.02	平成26	
	4	—	—	—	学士 (地域科学)	—	平成10	
	4	—	—	—	学士 (国際言語文化)	—	平成10	
	4	—	—	—	学士 (人間環境)	—	平成10	
医学部 医学科 保健学科	6	124	2年次 5	759	学士 (医学)	1.00	昭和45	秋田市内本道一丁目1の1
	4	106	3年次 14	452	学士 (保健学) 学士 (看護学)	1.05	平成14	
理工学部 生命科学科 物質科学科 数理・電気電子 情報科学科 システムデザイン 工学科 各学科共通	4	45		180	学士 (理学)	0.99	平成26	秋田市手形学園町1番1号
	4	110		440	学士 (理工学)	1.02	平成26	
	4	120		480	学士 (理学)	1.07	平成26	
	4	120		480	学士 (工学) 学士 (工学)	1.09	平成26	
			3年次 12	12				
工学資源学部 地球資源学科 環境応用化学科 生命化学科 材料工学科 情報工学科 機械工学科 電気電子工学科 土木環境工学科 各学科共通	4	—	—	—	学士 (資源学) 学士 (工学) 学士 (工学) 学士 (工学) 学士 (理学) 学士 (工学) 学士 (工学) 学士 (工学) 学士 (工学)	—	平成10 平成20 平成20 平成10 平成10 平成10 平成10 平成10	秋田市手形学園町1番1号
	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成20	
	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成20	
	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成10	
	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成10	
	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成10	
	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成10	
	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成10	
			3年次 12	—				

平成26年度入学定員増(10人)

平成26年度より
学生募集停止

平成27年度入学定員増(2人)

平成26年度より
学生募集停止

平成28年度より
学生募集停止

大学院国際資源学研究所 (博士前期課程)								秋田市手形学園町1番1号	
資源地球科学専攻	2	17	—	34	修士 (資源学)	0.82	平成28		
資源開発環境学専攻	2	23	—	46	修士 (資源学) 修士 (工学)	0.71	平成28		
(博士後期課程)									
資源学専攻	3	10	—	20	博士 (資源学) 博士 (工学) 博士 (理学)	0.65	平成28		
大学院教育学研究所 (修士課程)								秋田市手形学園町1番1号	
心理教育実践専攻	2	6	—	12	修士 (教育学)	1.08	平成28		平成28年度より 学生募集停止
学校教育専攻	2	—	—	—	修士 (教育学)	—	平成元		
教科教育専攻	2	—	—	—	修士 (教育学)	—	平成元		
(専門職学位課程)									
教職実践専攻	2	20	—	40	教職修士 (専門職)	1.12	平成28		
大学院医学系研究所 (修士課程)								秋田市本道一丁目1の1	
医科学専攻	2	5	—	10	修士 (医科学)	0.30	平成19		
(博士前期課程)									
保健学専攻	2	12	—	24	修士 (看護学) 修士 (リハビリテーション科学)	1.04	平成19		
(博士後期課程)									
保健学専攻	3	3	—	9	博士 (保健学)	1.11	平成21		
(博士課程)									
医学専攻	4	30	—	120	博士 (医学)	0.97	平成19		
大学院理工学研究所 (博士前期課程)								秋田市手形学園町1番1号	
生命科学専攻	2	15	—	30	修士 (理学)	0.76	平成28		
物質科学専攻	2	42	—	84	修士 (理工学)	0.79	平成28		
数理・電気電子 情報学専攻	2	45	—	90	修士 (理学) 修士 (工学)	1.07	平成28		
システムデザイン 工学専攻	2	36	—	72	修士 (工学)	0.97	平成28		
共同ライフサイクル デザイン工学専攻	2	12	—	24	修士 (工学)	1.00	平成28		

(博士後期課程)												
総合理工学専攻	3	10	—	20	博士 (理学) 博士 (理工学) 博士 (工学)	1.05	平成28					
大学院工学資源学研究所 (博士前期課程)								秋田市手形学園町1番1号				
地球資源学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成14					
環境応用化学専攻	2	—	—	—	修士 (資源学)	—	平成24					
生命科学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成24					
材料工学専攻	2	—	—	—	修士 (理学)	—	平成24					
情報工学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成14					
機械工学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成14					
電気電子工学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成14					
土木環境工学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成14					
共同ライフサイクル デザイン工学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成24					
(博士後期課程)												
資源学専攻	3	—	—	—	博士 (工学)	—	平成14					
生命科学専攻	3	—	—	—	博士 (資源学)	—	平成26					
機能物質工学専攻	3	—	—	—	博士 (理学)	—	平成14					
生産・建設工学専攻	3	—	—	—	博士 (工学)	—	平成14					
電気電子情報 システム工学専攻	3	—	—	—	博士 (工学)	—	平成14					

平成28年度より
学生募集停止

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(A・C対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・A・C対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<理工学研究科 物質科学専攻（博士前期課程）>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	寺境 光俊 ()	平成28年4月	医理工連携実践論 物質科学演習 物質科学課題研究 分子機能材料特論						
専	教授	村上 賢治 ()	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップⅠ インターンシップⅡ 理工学特論Ⅰ 理工学特論Ⅱ 資源化学・資源利用工学 物質科学演習 物質科学課題研究 界面化学特論Ⅰ 界面化学特論Ⅱ 移動現象論特論Ⅰ 移動現象論特論Ⅱ						
専	教授	進藤 隆世志 ()	平成28年4月	資源化学・資源利用工学 物質科学演習 物質科学課題研究 有機資源化学特論Ⅰ 有機資源化学特論Ⅱ						
専	教授	菅原 勝康 ()	平成28年4月	物質科学演習 物質科学課題研究 エネルギー環境学特論Ⅰ エネルギー環境学特論Ⅱ						
専	教授	後藤 猛 ()	平成28年4月	生命医理工学特論 物質科学演習 物質科学課題研究 ナノバイオテクノロジー 特論						
専	教授	宗像 健三 ()	平成28年4月	物質科学演習 物質科学課題研究 移動現象論特論Ⅰ 移動現象論特論Ⅱ			後任未定			平成27年9月退職 担当教員減員(28)
専	教授	齋藤 嘉一 ()	平成28年4月	物質科学演習 物質科学課題研究 回析物理学 材料強度物性学Ⅰ						平成27年9月退職 後任選考中(28)
専	教授	小玉 展宏 ()	平成28年4月	物質科学演習 物質科学課題研究 材料光工学Ⅰ 材料光工学Ⅱ						
専	教授	齊藤 準 ()	平成28年4月	物質科学演習 物質科学課題研究 電子材料物理学Ⅰ 電子材料物理学Ⅱ						
専	教授	田口 正美 ()	平成28年4月	物質科学演習 物質科学課題研究 エネルギー材料化学Ⅰ エネルギー材料化学Ⅱ						
専	教授	原 基 ()	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップⅠ インターンシップⅡ 理工学特論Ⅰ 理工学特論Ⅱ 物質科学演習 物質科学課題研究 表面工学Ⅰ 表面工学Ⅱ	専	教授	麻生 節夫 ()	平成29年4月	理工学デザイン インターンシップⅠ インターンシップⅡ 理工学特論Ⅰ 理工学特論Ⅱ	(教員審査省略) 平成29年4月 担当者の変更(29)
専	教授	麻生 節夫 ()	平成28年4月	物質科学演習 物質科学課題研究 溶融加工学Ⅰ 溶融加工学Ⅱ						
専	教授	大口 健一 ()	平成28年4月	物質科学演習 物質科学課題研究 複合材料力学Ⅰ 複合材料力学Ⅱ 材料強度物性学Ⅱ						

専	教授	林 滋生 ()	平成28年4月	物質科学演習 物質科学課題研究 無機材料設計学Ⅰ 無機材料設計学Ⅱ						
専	准教授	布田 深 ()	平成28年4月	物質科学演習 物質科学課題研究 資源化学・資源利用工学 物質システム化学特論						
専	准教授	加藤 純雄 ()	平成28年4月	物質科学演習 物質科学課題研究 無機材料化学特論						
専	准教授	高橋 博 ()	平成28年4月	物質科学演習 物質科学課題研究 化学プロセスデザイン学						
専	准教授	菅原 透 ()	平成28年4月	物質科学演習 物質科学課題研究 高温物理化学						
専	准教授	佐藤 芳幸 ()	平成28年4月	物質科学演習 物質科学課題研究 分子計算材料学Ⅰ 分子計算材料学Ⅱ						
専	准教授	仁野 章弘 ()	平成28年4月	物質科学演習 物質科学課題研究 セラミック材料科学Ⅰ セラミック材料科学Ⅱ						
専	准教授	藁 千修 ()	平成28年4月	物質科学演習 物質科学課題研究 材料強度物性学Ⅰ 材料強度物性学Ⅱ						
専	准教授	福本 倫久 ()	平成28年4月	物質科学演習 物質科学課題研究 表面改質学						
専	准教授	吉村 哲 ()	平成28年4月	物質科学演習 物質科学課題研究 薄膜材料物性学						
専	准教授	大川 浩一 ()	平成28年4月	物質科学演習 物質科学課題研究 電気化学特論						
専	講師	松本 和也 ()	平成28年4月	物質科学演習 物質科学課題研究 機能性高分子特論Ⅰ 機能性高分子特論Ⅱ						
専	講師	小笠原 正剛 ()	平成28年4月	物質科学演習 物質科学課題研究 無機素材解析特論						
専	講師	井上 幸彦 ()	平成28年4月	物質科学演習 物質科学課題研究 高分子機能学						
専	講師	長谷川 崇 ()	平成28年4月	物質科学演習 物質科学課題研究	専	講師	長谷川 崇 ()	平成29年4月	物質科学演習 物質科学課題研究 応用磁気学Ⅰ 応用磁気学Ⅱ	(教員審査省略) 平成29年4月から 教育課程の充実を図るため科目を追加(29)
専	講師	村上 英樹 ()	平成28年4月	物質科学演習 物質科学課題研究 工業原料学特論						
専	講師	福山 蘭子 ()	平成28年4月	物質科学演習 物質科学課題研究 エックス線応用科学						
専	講師	辻内 裕 ()	平成28年4月	物質科学演習 物質科学課題研究 分子エレクトロニクスⅠ 分子エレクトロニクスⅡ						
					専	講師	山田 学 ()	平成29年4月	分子認識化学	(教員審査省略) 平成29年4月から 教育課程の充実を図るため科目を追加(29)
兼担	教授	泰松 斉 ()	平成28年4月	セラミック材料科学Ⅰ セラミック材料科学Ⅱ						
兼担	教授	大笹 憲一 ()	平成28年4月	材料組織設計学Ⅰ 材料組織設計学Ⅱ						
兼担	教授	岩田 吉弘 ()	平成28年4月	分析化学特論Ⅰ 分析化学特論Ⅱ						
兼担	准教授	清野 秀岳 ()	平成28年4月	有機金属化学特論						
兼担	教授	尾高 雅文 ()	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップⅠ インターンシップⅡ 理工学特論Ⅰ 理工学特論Ⅱ 生命医理工学特論						

兼任	教授	河上 肇 ()	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップ I インターンシップ II 理工学特論 I 理工学特論 II						
兼任	教授	今野 和彦 ()	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップ I インターンシップ II 理工学特論 I 理工学特論 II	兼任	教授	倉林 徹 ()	平成29年4月	理工学デザイン インターンシップ I インターンシップ II 理工学特論 I 理工学特論 II	平成29年4月 担当者の変更 (29)
兼任	教授	景山 陽一 ()	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップ I インターンシップ II 理工学特論 I 理工学特論 II 生命医理工学特論	兼任	教授	水戸部 一孝 ()	平成29年4月	理工学デザイン インターンシップ I インターンシップ II 理工学特論 I 理工学特論 II	平成29年4月 担当者の変更 (29)
兼任	教授	奥山 栄樹 ()	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップ I インターンシップ II 理工学特論 I 理工学特論 II						
兼任	教授	足立 高弘 ()	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップ I インターンシップ II 理工学特論 I 理工学特論 II						
兼任	教授	濱岡 秀勝 ()	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップ I インターンシップ II 理工学特論 I 理工学特論 II						
兼任	教授	中村 雅英 ()	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップ I インターンシップ II 理工学特論 I 理工学特論 II						
兼任	講師	眞田 慎 ()	平成28年4月	地域産業アントレプレ ナー論						
兼任	寄附講座 准教授	今野 道人 ()	平成28年4月	地域産業アントレプレ ナー論	兼任	講師	泰松 齊 ()	平成29年4月	地域産業アントレプレ ナー論	平成29年4月 担当者の変更 (29)
兼任	講師	村上 信博 ()	平成28年4月	地域産業アントレプレ ナー論						
兼任	講師	星 則幸 ()	平成28年4月	地域産業アントレプレ ナー論						
兼任	講師	SIM Malcolm Shane ()	平成28年4月	プレゼンテーション技法	兼任	講師	ジョー サイクス Joe SYKES ()	平成29年4月	プレゼンテーション技法	平成29年4月 担当者の変更 (29)
兼任	准教授	ABADZHIEVA EMILIYA ()	平成28年4月	理工学英語 I						
兼任	講師	SELIN PAVEL ()	平成28年4月	理工学英語 III						
兼任	准教授	GRAVE EWA MALGORZATA ()	平成28年4月	理工学英語 II Introduction to Materials Science (物質科学概論) 理工学英語 IV	兼任	准教授	WATTERS EAMON PATRICK JOHN ()	平成28年10月	理工学英語 II Introduction to Materials Science (物質科学概論)	平成28年10月 担当者の変更 (29)
兼任	教授	銭谷 秋生 ()	平成28年4月	技術者倫理特論 科学技術倫理特論						
兼任	寄附講座 准教授	川村 茂 ()	平成28年4月	リサイクルプロセス設計 特論						
兼任	講師	和田 豊 ()	平成28年4月	宇宙科学特論	兼任	講師	阿部 琢美 ()	平成29年10月	宇宙科学特論	平成29年10月 担当者の変更 (29)
兼任	教授	水田 敏彦 ()	平成28年4月	地震防災特論 地域防災学特論						
兼任	特任 准教授	鎌滝 孝信 ()	平成28年4月	古地震学特論						
兼任	教授	石山 大三 ()	平成28年4月	地球資源成因論						
兼任	教授	岩田 吉弘 ()	平成28年4月	地球資源成因論						
兼任	教授	柴山 敦 ()	平成28年4月	地球資源成因論 資源分離精製論						

兼任	教授	水田 敏夫 ()	平成28年4月	地球資源成因論	兼任	教授	渡辺 寧 ()	平成29年4月	地球資源成因論	平成29年4月 担当者の変更(29)
兼任	講師	大和田 秀二 ()	平成28年4月	資源分離精製論						
兼任	准教授	高崎 康志 ()	平成28年4月	資源分離精製論						
兼任	講師	藤田 豊久 ()	平成28年4月	資源化学・資源利用工学						
兼任	教授	三島 望 ()	平成28年4月	リサイクルシステム設計論						
兼任	教授	安達 毅 ()	平成28年4月	リサイクルシステム設計論						
兼任	講師	中村 崇 ()	平成28年4月	リサイクルシステム設計論						
兼任	教授	神谷 修 ()	平成28年4月	自主プロジェクトⅠ 自主プロジェクトⅡ						
兼任	講師	細井 義孝 ()	平成28年4月	国際関係論						
兼任	講師	長谷部 光重 ()	平成28年4月	マーケティング論						
兼任	講師	佐藤 善友 ()	平成28年4月	ベンチャー起業論						
兼任	講師	佐藤 博 ()	平成28年4月	資源・工業経済論						
兼任	講師	桜井 若葉 ()	平成28年4月	資源・工業経済論						
兼任	講師	戸根谷 法雄 ()	平成28年4月	リスクマネジメント						
兼任	講師	高橋 弘毅 ()	平成28年4月	技術戦略学						
兼任	講師	水澤 春樹 ()	平成28年4月	財務・金融工学						
兼任	講師	伊藤 秀範 ()	平成28年4月	財務・金融工学						
兼任	講師	佐藤 貴幸 ()	平成28年4月	財務・金融工学						
兼任	講師	高橋 利典 ()	平成28年4月	財務・金融工学						
兼任	講師	豊島 洋之 ()	平成28年4月	財務・金融工学						
兼任	講師	森川 茂弘 ()	平成28年4月	知的財産論						
兼任	講師	谷内 宏行 ()	平成28年4月	経営戦略論						
兼任	講師	廣畑 伸雄 ()	平成28年4月	企業行動論						
兼任	准教授	角谷 浩 ()	平成28年4月	特許情報活用論	兼任	講師	齋藤 昭彦 ()	平成29年4月	特許情報活用論	平成29年4月 担当者の変更(29)
兼任	講師	田嶋 正夫 ()	平成28年4月	特許情報活用論	兼任	講師	齋藤 博子 ()	平成29年4月	特許情報活用論	平成29年4月 担当者の変更(29)
兼任	教授	藤原 憲秀 ()	平成28年4月	生命医理工学特論						
兼任	教授	伊藤 英晃 ()	平成28年4月	生命医理工学特論						
兼任	教授	涌井 秀樹 ()	平成28年4月	生命医理工学特論 医理工連携実践論						

兼任	教授	久保田 広志 ()	平成28年4月	生命医理工学特論						
兼任	教授	疋田 正喜 ()	平成28年4月	生命医理工学特論						
兼任	教授	水戸部 一孝 ()	平成28年4月	生命医理工学特論 医理工連携実践論						
兼任	教授	長縄 明大 ()	平成28年4月	生命医理工学特論 医理工連携実践論						
兼任	教授	巖見 武裕 ()	平成28年4月	生命医理工学特論						
兼任	准教授	南條 博 ()	平成28年4月	生命医理工学特論						
兼任	教授	三浦 昌朋 ()	平成28年4月	生命医理工学特論						
兼任	講師	藤島 直仁 ()	平成28年4月	生命医理工学特論						
兼任	教授	橋本 学 ()	平成28年4月	生命医理工学特論						
兼任	教授	廣川 誠 ()	平成28年4月	生命医理工学特論	兼任	助教	面川 歩 ()	平成29年4月	生命医理工学特論	平成29年4月 担当者の変更(29)
兼任	教授	安藤 秀明 ()	平成28年4月	生命医理工学特論						
兼任	教授	南谷 佳弘 ()	平成28年4月	医理工連携実践論						
兼任	理事	近藤 克幸 ()	平成28年4月	医理工連携実践論						
兼任	講師	野堀 潔 ()	平成28年4月	医理工連携実践論						
兼任	講師	赤上 陽一 ()	平成28年4月	医理工連携実践論						

- (注) ・ 設置時の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AG教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
6 名	4 名	3 名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
14	8	5	0	27	13	10	8	0	31	13	10	8	0	31
(13)	(10)	(7)	(0)	(30)						[Δ1]	[+2]	[+3]	[±0]	[+4]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
17	10	0			23	8	0			23	8	0		
(23)	(7)	(0)								[+6]	[Δ2]	[±0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	教授	宗像 健三	必修	物質科学演習	①	平成27年9月21日付けで退職（死亡）したため（28）			
			必修	物質科学課題研究	①				
			選択	移動現象論特論Ⅰ	③				
			選択	移動現象論特論Ⅱ	③				
合計（A）			後任補充状況の集計（B）						
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
1	人	必修	2 科目	必修	2 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	2 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	2 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	4 科目	計	2 科目	計	0 科目	計	2 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	教授	該当なし	必修	〇〇概論	①	……………のため辞任（27）			
			選択	◆◆基礎	②				
			必修	☆☆演習	③				
2	准教授	△△ △△	自由	××語	②	……………のため辞任（29）			
			必修	▲▲実習	③				
			必修	◇◇特論	①				
合計（C）			後任補充状況の集計（D）						
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
〇〇	人	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目
		選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目
		自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目
		計	〇〇 科目	計	〇〇 科目	計	〇〇 科目	計	〇〇 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（A）+（C）			後任補充状況の集計（B）+（D）						
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
1	人	必修	2 科目	必修	2 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	2 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	2 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	4 科目	計	2 科目	計	0 科目	計	2 科目

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

宗像健三教授の辞任について、担当科目である「物質科学演習」「物質科学課題研究」については、分担科目で他の教員で担当可能であるため、履修等への影響はない。また、選択科目の「移動現象論特論Ⅰ」「移動現象論特論Ⅱ」については、後任選考中である。

学生に対しては、履修案内への記載や、web機能を活用した本学独自の総合学務支援システム「a-net」へ掲載することにより、十分な周知を行った。

(注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (28年4月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (29年2月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年2月)		改善意見	
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年2月)	・同一設置者が設置する 既設学部等(○○学科、 ●●学科)の～すること。	○○意見	

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<理工学研究科 物質科学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
 - ・ 構成大学ごとに記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>理工学研究科教育改善委員会</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: right;">《関係規程等》</p> <p style="text-align: center;">秋田大学大学院理工学研究科教育改善委員会規程</p> <p>(趣旨)</p> <p>第1条 秋田大学大学院理工学研究科及び理工学部における教育及び教員の教育に関する資質の向上に関する事項並びに理工学研究科評価委員会及び企画運営会議の付託事項を検討・実施するため、理工学研究科に教育改善委員会(以下「委員会」という。)を置き、委員会に関し必要な事項は、この規程の定めるところによる。</p> <p>(審議事項)</p> <p>第2条 委員会は、次の各号に掲げる事項について審議する。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 学生及び教員による授業評価の実施等に関すること。 (2) JABEE認証の受審・更新の実施等に関すること。 (3) 教育に関する外部評価の実施に関すること。 (4) 教育改善に関わる調査・研究に関すること。 (5) FD活動の実施等に関すること。 (6) その他教育改善に関すること。 <p>(組織)</p> <p>第3条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 博士前期課程の各コース及び共同ライフサイクルデザイン工学専攻の教授または准教授各1名 (2) その他研究科長が必要と認めた者 <p>(任期)</p> <p>第4条 任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。</p> <p>(委員長及び副委員長)</p> <p>第5条 委員会に委員長を置き、学務副委員長をもって充てる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 2 委員長は、委員会を主宰する。 3 委員会に副委員長を置き、委員長が指名する。 4 委員長に事故等があるときは、副委員長がその職務を代行する。 <p>(議事)</p> <p>第6条 委員会は、委員の3分の2以上の出席がなければ開くことができない。</p> <ol style="list-style-type: none"> 2 委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。 <p>(委員以外の出席)</p> <p>第7条 委員長が必要と認めたときは、委員以外のものを委員会に出席させ、意見を聴くことができる。</p> <p>(庶務)</p> <p>第8条 委員会の庶務は、理工学研究科事務部の協力を得て、総合学務課において処理する。</p> <p>(補則)</p> <p>第9条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が定める。</p> <p>附 則</p> <p>この規程は、平成22年6月10日から施行し、平成22年4月1日から適用する。</p> <p>附 則</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 この規程は、平成26年4月1日から施行する。 2 第2条の規定は、工学資源学部が存続する間、当該学部にも適用する。 <p>附 則</p> <p>この規程は、平成26年11月1日から施行する。</p> <p>附 則</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 この規程は、平成28年4月1日から施行する。 2 第2条の規定は、工学資源学研究科が存続する間、当該研究科にも適用する。 </div>

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

4回開催（平成26年度実績）。8回開催（平成27年度実績）。6回開催（平成28年度実績）。
構成委員全員が参加。

c 委員会の審議事項等

上記の委員会規程第2条に定めるところによる。

② 実施状況

a 実施内容

- (1) FD・SDシンポジウムの開催
- (2) FDワークショップの開催
- (3) 教員による授業評価

b 実施方法

- (1) FDシンポジウム：発達障がいを持つ学生へのサポートをテーマに、学内の学生支援を担当している保健管理センター所長等3名の講師によるレクチャーおよび総合討論を行った。（平成26年度実績）
FD・SDシンポジウム：ルーブリック評価とeラーニングの活用をテーマに、学外の教員1名による基調講演およびeラーニングの事例紹介を行った。（平成28年度実績）
・大学教育におけるハラスメントについてをテーマに、保健管理センター所長による基調講演を行った。（平成28年度実績）
- (2) FDワークショップ：学生参加型等の授業改善をテーマに、学内外の教員3名による基調講演およびパネルディスカッション、参加者全員による授業改善計画案の作成を行った。（平成26年度実績）
・ルーブリック評価の活用と設定方法をテーマに、学外の教員1名による基調講演および参加者全員によるルーブリック課題作成を行った。（平成27年度実績）
- (3) 各学科・専攻単位に授業評価の対象科目を選定し、その科目について2名以上の教員で評価を行う。（各教員は、5年に1科目を目処に評価を受けることとしている。）

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- (1) FDシンポジウム：平成26年9月18日（木） 参加者：36名
FD・SDシンポジウム：平成28年12月6日（火） 参加者：40名
平成29年3月13日（月） 参加者：52名
- (2) FDワークショップ：平成26年12月12日（金） 参加者：33名
平成27年12月11日（金） 参加者：36名
- (3) 平成26年10月から平成27年1月までの期間で、計17科目の評価を実施した。（平成26年度実績）
平成27年6月から平成28年1月までの期間で、計16科目の評価を実施した。（平成27年度実績）
平成28年6月から平成29年1月までの期間で、計23科目の評価を実施した。（平成28年度実績）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

実施結果を踏まえ、各学科・専攻ごとに検討を行い次年度以降の授業改善に向けて取り組んでいる。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

有 前期と後期の2回、大学院及び学部の全学生を対象に実施した。（平成26, 27, 28年度実績）

b 教員や学生への公開状況、方法等

実施結果及び分析結果の総評は冊子体としてまとめ、各教員に配付している。各科目ごとの結果については当該教員に個別に通知している。学生への公開については、その方法等も含め各学科・専攻の判断に委ねている。

- (注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
・「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）
・構成大学ごとに記入してください。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

開設後2年目の状況は、順調に進んでいる。
引き続き、設置の趣旨・目的の達成に向けて取り組んでいきたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成29年度以降

b 公表方法

- ・理工学研究科のホームページから各種の情報を発信することとしている。
- ・大学で実施する自己点検・評価に基づく評価の結果については、各事業年度及び目標期間内における業務実績に係る「評価書」を作成しホームページ上等で公表している。

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成25年度に独立行政法人大学評価・学位授与機構による大学機関別認証評価及び大学機関別選択評価を受けた。現在は次回（平成31年度予定）の認証評価を受けるべく、学内で検討中である。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

- ・ 構成大学ごとに記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有) ・ (無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成29年7月1日公表予定)

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 秋田大学

(2) 大学名

秋田大学

(3) 大学の位置

〒010-8502
秋田県秋田市手形学園町1番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(ヤマモト フミオ) 山本 文雄 (平成28年4月)		
研究科長	(ムラオカ ミキオ) 村岡 幹夫 (平成28年4月)		
専攻長	(イマノ カズヒコ) 今野 和彦 (平成28年4月)	(クラバヤシ トオル) 倉林 徹 (平成29年4月)	専攻長交代(29)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください (入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の博士後期課程の場合 (平成29年度までの3年間) ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。 (修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称 (学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
理工学研究科 数理・電気電子情報学専攻 (博士前期課程) 修士 (理学) 修士 (工学)	理学関係 工学関係	2 年	45 人	90 人	基礎となる学部等 理工学部 数理・電気電子 情報学科

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を () 書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要 (別記様式第2号 (その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	平成28年度		平成29年度		平成 年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	45人 若干名 (若干名) [若干名]		45人 若干名 (若干名) [若干名]		人 () []	人 () []	1.07 倍	
志願者数	54 (-) [2]	1 (-) [1]	49 (-) [1]	— (-) [-]	() () []	() () []		
受験者数	53 (-) [2]	1 (-) [1]	49 (-) [1]	— (-) [-]	() () []	() () []		
合格者数	52 (-) [2]	1 (-) [1]	49 (-) [1]	— (-) [-]	() () []	() () []		
B 入学者数	49 (-) [2]	1 (-) [1]	47 (-) [1]	— (-) [-]	() () []	() () []		
入学定員超過率 B/A	1.11		1.04					

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 社会人の状況について **内数** で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ [] 内には, 留学生の状況について **内数** で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格 (いわゆる「留学ビザ」) により, 我が国の大学 (大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校 (専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期 (春季入学以外の学期区分を設けている場合) に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出** してください。なお, 計算の際は **小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入** してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度 学 年	平成28年度		平成29年度		平成 年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	49 [2] (-)	1 [1] (-)	49 [1] (2)	1 [1] (-)	[]	[]	
2年次	/		45 [2] (-)	- [-] (-)	[]	[]	
計			50 [3] (-)	95 [4] (2)	[]	[]	()

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況について、内数で**記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	49 人	2 人	平成28年度	2 人	0 人	就職(2人)	4.08 %
			平成29年度	0 人	0 人		
平成29年度 入学者	47 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0 %
合 計	96 人	2 人					2.08 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<理工学研究科 数理・電気電子情報学専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次 ()表示のある科目はクォーター制で開講する。 ()の数は開講時期を表す。	単位数			専任教員等の配置					備考 「MSEコース」は医理工連携コースを意味する。	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	理工学デザイン	1後	1			3						兼7 担当者の変更(29)
	地域産業アントレプレナー論	1後	1									兼4 オムバス 担当者の変更(29)
	プレゼンテーション技法	1前		1								兼1 担当者の変更(29)
	理工学英語Ⅰ	1前		1								兼1
	理工学英語Ⅱ	1後		1								兼1 担当者の変更(29)
	理工学英語Ⅲ	2前		1								兼1
	理工学英語Ⅳ	2後		1								兼1
	インターンシップⅠ	随時		1			3					兼7 企業等で実地研修 担当者の変更(29)
	インターンシップⅡ	随時		2			3					兼7 企業等で実地研修 担当者の変更(29)
	技術者倫理特論	1前		2								兼1
	科学技術倫理特論	1後		2								兼1
	リサイクルプロセス設計特論	1後		2								兼1
	宇宙科学特論	1前		2								兼1 集中 担当者の変更(29)
	地震防災特論	1後		2								兼1
	地域防災学特論	1前		2								兼1
	古地震学特論	1後		2								兼1
	地球資源成因論	1(1)		1								兼4 集中, オムバス 担当者の変更(29)
	資源分離精製論	1通		1								兼3 集中, オムバス
	資源化学・資源利用工学	1通		1								兼4 集中, オムバス
	リサイクルシステム設計論	1通		1								兼3 集中, オムバス
	自主プロジェクトⅠ	1通		1								兼1
	自主プロジェクトⅡ	1通		2								兼1
	国際関係論	1(1)		1								兼1 集中
	マーケティング論	1前		1								兼1 MOTコース対象科目
	ベンチャー起業論	1(2)		1								兼1 集中 MOTコース必修
	資源・工業経済論	1通		1								兼2 集中 オムバス MOTコース対象科目
	リスクマネジメント	1(2)		1								兼1 集中 MOTコース対象科目
	技術戦略学	1(1)		1								兼1 集中 MOTコース対象科目
	財務・金融工学	1通		1								兼5 オムバス MOTコース必修
	知的財産論	1(3)		1								兼1 集中 MOTコース対象科目 MSEコース必修
	経営戦略論	1(2)		1								兼1 集中 MOTコース対象科目
	企業行動論	1(1)		1								兼1 集中 MOTコース対象科目
特許情報活用論	1前		1								兼2 MOTコース対象科目 担当者の変更(29)	
理工学特論Ⅰ	1前		1			3					兼7 担当者の変更(29)	
理工学特論Ⅱ	1後		1			3					兼7 担当者の変更(29)	
生命医理工学特論	1前		2			2					兼13 オムバス 担当者の変更(29)	
医理工連携実践論	1(2)		1			1					兼7 集中, オムバス MSEコース必修	

コース共通	数理・電気電子情報学演習	2通	2			9 10	9 8	6 8			担当教員（昇任・退職） の変更(28) 担当教員減員(29)	
	数理・電気電子情報学課題研究	1~2通	10			9 10	9 8	6 8			担当教員（昇任・退職） の変更(28) 担当教員減員(29)	
	Information and Communication Technologies for Community (情報通信技術と社会)	1・2前	1							兼 1 兼 2	担当教員数の変更(28)	
専 門 科 目	代数学特論Ⅰ	1・2(1)		1		1						
	代数学特論Ⅱ	1・2(2)		1		1						
	代数学特論Ⅲ	1・2(3)		1						兼 1		
	代数学特論Ⅳ	1・2(4)		1						兼 1		
	代数学特論Ⅴ	1・2(3)		1		1						
	代数学特論Ⅵ	1・2(4)		1		1						
	幾何学特論Ⅰ	1・2(1)		1			1					
	幾何学特論Ⅱ	1・2(2)		1			1					
	幾何学特論Ⅲ	1・2(3)		1						兼 1		
	幾何学特論Ⅳ	1・2(4)		1						兼 1		
	解析学特論Ⅰ	1・2(1)		1		1						
	解析学特論Ⅱ	1・2(2)		1		1						
	解析学特論Ⅲ	1・2(1)		1						兼 1		
	解析学特論Ⅳ	1・2(3)		1		1						
	解析学特論Ⅴ	1・2(2)		1						兼 1		
	解析学特論Ⅵ	1・2(4)		1		1						
	位相数学特論Ⅰ	1・2(1)		1					1			
	位相数学特論Ⅱ	1・2(2)		1					1			
	位相数学特論Ⅲ	1・2(3)		1				1				
	位相数学特論Ⅳ	1・2(4)		1				1				
	離散数学特論Ⅰ	1・2(1)		1					1			
	離散数学特論Ⅱ	1・2(2)		1					1			
	統計数学特論Ⅰ	1・2(3)		1						兼 1		
	統計数学特論Ⅱ	1・2(4)		1						兼 1		
	情報数学特論Ⅰ	1・2(3)		1		1						
	情報数学特論Ⅱ	1・2(4)		1		1						
	計算数学特論Ⅰ	1・2(1)		1			1					
	計算数学特論Ⅱ	1・2(2)		1		1						
	計算機科学特論Ⅰ	1・2(1)		1						兼 1		
	計算機科学特論Ⅱ	1・2(2)		1						兼 1		
	凝縮系物理学Ⅰ	1・2(1)		1						兼 1		
	凝縮系物理学Ⅱ	1・2(2)		1						兼 1		
	凝縮系物理学Ⅲ	1・2(3)		1			1					
	凝縮系物理学Ⅳ	1・2(4)		1			1					
	量子多体論Ⅰ	1・2(1)		1		1						
	量子多体論Ⅱ	1・2(2)		1		1						
	量子多体論Ⅲ	1・2(3)		1					1			
	量子多体論Ⅳ	1・2(4)		1					1			
	応用物性学	1・2前		2						兼 1		
	数学科教育法特論	1・2前			2					兼 1		
	電 気 電 子 工 学 コ ー ス	計測工学特論Ⅰ	1・2(3)		1		↓	1	↓			担当者の変更等(29)
		計測工学特論Ⅱ	1・2(4)		1		↓	1	↓			担当者の変更等(29)
電気材料科学特論Ⅰ		1・2(1)		1				1				
電気材料科学特論Ⅱ		1・2(2)		1				1				
バイオ電磁気工学Ⅰ		1・2(3)		1				1			MSEコース対象科目	
バイオ電磁気工学Ⅱ		1・2(4)		1				1			MSEコース対象科目	
電力工学特論Ⅰ		1・2(3)		1						兼 1		
電力工学特論Ⅱ		1・2(4)		1						兼 1		
電磁エネルギー変換工学		1・2前		2						兼 1		
制御システム工学特論Ⅰ		1・2(1)		1				1				
制御システム工学特論Ⅱ		1・2(2)		1				1				
電子ディスプレイ工学Ⅰ		1・2(3)		1				1				
電子ディスプレイ工学Ⅱ		1・2(4)		1				1				
光デバイス工学Ⅰ		1・2(1)		1					1			
光デバイス工学Ⅱ		1・2(2)		1					1			
電磁波工学特論Ⅰ		1・2(1)		1		1						
電磁波工学特論Ⅱ		1・2(2)		1		1						
電子デバイス工学		1・2後		2		1						
半導体デバイス工学特論Ⅰ		1・2(3)		1				1				
半導体デバイス工学特論Ⅱ		1・2(4)		1				1				
通信工学特論Ⅰ	1・2(1)		1				1			MSEコース対象科目		
通信工学特論Ⅱ	1・2(2)		1				1			MSEコース対象科目		

専門科目	電気電子工学コース	計測信号処理工学Ⅰ	1・2(3)	1		4		後任選考中(28)
		計測信号処理工学Ⅱ	1・2(4)	1		4		後任選考中(28)
		音響エレクトロニクス特論Ⅰ	1・2(1)	1	1			
		音響エレクトロニクス特論Ⅱ	1・2(2)	1	1			
		圧電デバイス応用工学Ⅰ	1・2(3)	1		1		
		圧電デバイス応用工学Ⅱ	1・2(4)	1		1		
		デジタル信号処理工学Ⅰ	1・2(3)	1	1			
		デジタル信号処理工学Ⅱ	1・2(4)	1	1			
		半導体評価工学	1・2	2				兼 1
	人間情報工学コース	感覚情報工学Ⅰ	1・2(1)	1	1			MSEコース対象科目
		感覚情報工学Ⅱ	1・2(2)	1	1			MSEコース対象科目
		バーチャルリアリティ学Ⅰ	2(1)	1	1			
		バーチャルリアリティ学Ⅱ	2(2)	1	1			
		画像情報学Ⅰ	1・2(1)	1	1			MSEコース対象科目
		画像情報学Ⅱ	1・2(2)	1	1			MSEコース対象科目
		リモートセンシング工学Ⅰ	2(1)	1	1			
	リモートセンシング工学Ⅱ	2(2)	1	1				
	人間情報工学コース	情報ネットワーク学特論Ⅰ	1・2(3)	1		1		
		情報ネットワーク学特論Ⅱ	1・2(4)	1		1		
		論理設計特論Ⅰ	1・2(1)	1				兼 1
		論理設計特論Ⅱ	1・2(2)	1				兼 1
		セキュリティシステム学Ⅰ	2(1)	1		1		
		セキュリティシステム学Ⅱ	2(2)	1		1		
		ソフトウェアシステム論	1・2前	2		1		教育課程の充実を図るため科目を追加(29)

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
5	119	1	125	5	120	1	126	
				[±0]	[+1]	[±0]	[+1]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1		該当なし				
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1		該当なし				
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{125} = \boxed{} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位までを記入してください。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
	校舎敷地	258,144 m ²	0 m ²	0 m ²	258,144 m ²			
	運動場用地	76,253 m ²	0 m ²	0 m ²	76,253 m ²			
	小 計	334,397 m ²	0 m ²	0 m ²	334,397 m ²			
	そ の 他	104,058 m ²	0 m ²	0 m ²	104,058 m ²			
	合 計	438,455 m ²	0 m ²	0 m ²	438,455 m ²			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
		132,654 m ² (132,654 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	132,654 m ² (132,654 m ²)			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
	99 室	130 室	543 室	14 室 (補助職員 4 人)	6 室 (補助職員 1 人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数				
		理工学研究科 数理・電気電子情報学専攻		25 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体での共用分を含む
	理工学研究科	443,662 [115,105] (427,382 [113,216])	9,572 [2,715] (9,572 [2,715])	6,850 [5,400] (6,850 [5,400])	3,071 (2,893)	6,341 (6,341)	19,370 (19,170)	
	計	443,662 [115,105] (427,382 [113,216])	9,572 [2,715] (9,572 [2,715])	6,850 [5,400] (6,850 [5,400])	3,071 (2,893)	6,341 (6,341)	19,370 (19,170)	
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
	6,321 m ²		652		582,537			
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				大学全体	
	7,908 m ²		陸上競技場, 野球場, 多目的運動場, テニスコート, プール					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等	— 千円	— 千円	図書購入費	— 千円	— 千円	— 千円
	共 同 研 究 費 等	— 千円	— 千円	設備購入費	— 千円	— 千円	— 千円	
	学生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次	
		— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA/C対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	秋田大学							備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地
≪AC対象学部等≫	年	人	年次人	人		倍		
国際資源学部								秋田市手形学園町1番1号
国際資源学科	4	120	—	480	学士 (資源学)	1.02	平成26	
教育文化学部								秋田市手形学園町1番1号
学校教育課程	4	110	—	440	学士 (学校教育)	1.04	平成10	平成26年度入学定員増(10人) 平成26年度より 学生募集停止
地域文化学科	4	100	—	400	学士 (地域文化)	1.02	平成26	
地域科学課程	4	—	—	—	学士 (地域科学)	—	平成10	
国際言語文化課程	4	—	—	—	学士 (国際言語文化)	—	平成10	
人間環境課程	4	—	—	—	学士 (人間環境)	—	平成10	
医学部								秋田市本道一丁目1の1
医学科	6	124	2年次 5	759	学士 (医学)	1.00	昭和45	平成27年度入学定員増(2人)
保健学科	4	106	3年次 14	452	学士 (保健学) 学士 (看護学)	1.05	平成14	
理工学部								秋田市手形学園町1番1号
生命科学科	4	45	—	180	学士 (理学)	0.99	平成26	平成26年度より 学生募集停止
物質科学科	4	110	—	440	学士 (理工学)	1.02	平成26	
数理・電気電子 情報学科	4	120	—	480	学士 (理学)	1.07	平成26	
システムデザイン 工学科	4	120	—	480	学士 (工学)	1.09	平成26	
各学科共通			3年次 12	12				
工学資源学部								秋田市手形学園町1番1号
地球資源学科	4	—	—	—	学士 (資源学)	—	平成10	平成26年度より 学生募集停止
環境応用化学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成20	
生命化学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成20	
材料工学科	4	—	—	—	学士 (理学) 学士 (工学)	—	平成10	
情報工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成10	
機械工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成10	
電気電子工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成10	
土木環境工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成10	
各学科共通			3年次 12	—				

大学院国際資源学研究所 (博士前期課程)								秋田市手形学園町1番1号	
資源地球科学専攻	2	17	—	34	修士 (資源学)	0.82	平成28		
資源開発環境学専攻	2	23	—	46	修士 (資源学) 修士 (工学)	0.71	平成28		
(博士後期課程)									
資源学専攻	3	10	—	20	博士 (資源学) 博士 (工学) 博士 (理学)	0.65	平成28		
大学院教育学研究所 (修士課程)								秋田市手形学園町1番1号	
心理教育実践専攻	2	6	—	12	修士 (教育学)	1.08	平成28		平成28年度より 学生募集停止
学校教育専攻	2	—	—	—	修士 (教育学)	—	平成元		
教科教育専攻	2	—	—	—	修士 (教育学)	—	平成元		
(専門職学位課程)									
教職実践専攻	2	20	—	40	教職修士 (専門職)	1.12	平成28		
大学院医学系研究所 (修士課程)								秋田市本道一丁目1の1	
医科学専攻	2	5	—	10	修士 (医科学)	0.30	平成19		
(博士前期課程)									
保健学専攻	2	12	—	24	修士 (看護学) 修士 (リハビリテー ション科学)	1.04	平成19		
(博士後期課程)									
保健学専攻	3	3	—	9	博士 (保健学)	1.11	平成21		
(博士課程)									
医学専攻	4	30	—	120	博士 (医学)	0.97	平成19		
大学院理工学研究所 (博士前期課程)								秋田市手形学園町1番1号	
生命科学専攻	2	15	—	30	修士 (理学)	0.76	平成28		
物質科学専攻	2	42	—	84	修士 (理工学)	0.79	平成28		
数理・電気電子 情報学専攻	2	45	—	90	修士 (理学) 修士 (工学)	1.07	平成28		
システムデザイン 工学専攻	2	36	—	72	修士 (工学)	0.97	平成28		
共同ライフサイクル デザイン工学専攻	2	12	—	24	修士 (工学)	1.00	平成28		

(博士後期課程)												
総合理工学専攻	3	10	—	20	博士 (理学) 博士 (理工学) 博士 (工学)	1.05	平成28					
大学院工学資源学研究所										秋田市手形学園町1番1号		
(博士前期課程)												
地球資源学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成14					
環境応用化学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成24					
生命科学専攻	2	—	—	—	修士 (理学)	—	平成24					
材料工学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成14					
情報工学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成14					
機械工学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成14					
電気電子工学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成14					
土木環境工学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成14					
共同ライフサイクル デザイン工学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成24					
(博士後期課程)												
資源学専攻	3	—	—	—	博士 (工学) 博士 (資源学)	—	平成14					
生命科学専攻	3	—	—	—	博士 (理学)	—	平成26					
機能物質工学専攻	3	—	—	—	博士 (工学)	—	平成14					
生産・建設工学専攻	3	—	—	—	博士 (工学)	—	平成14					
電気電子情報 システム工学専攻	3	—	—	—	博士 (工学)	—	平成14					

平成28年度より
学生募集停止

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(A・C対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・A・C対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<理工学研究科 数理・電気電子情報学専攻（博士前期課程）>

(1) 担当教員表

設置時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
専	教授	山村 明弘 ()	平成28年4月	数理・電気電子情報学演習 数理・電気電子情報学課題研究 代数学特論Ⅰ 代数学特論Ⅱ 代数学特論Ⅴ 代数学特論Ⅵ 情報数学特論Ⅰ 情報数学特論Ⅱ						
専	教授	河上 肇 ()	平成28年4月	数理・電気電子情報学演習 数理・電気電子情報学課題研究 工学デザイン インターンシップⅠ インターンシップⅡ 理工学特論Ⅰ 理工学特論Ⅱ 解析学特論Ⅰ 解析学特論Ⅱ 解析学特論Ⅳ 解析学特論Ⅵ 計算数学特論Ⅱ						
専	教授	小野田 勝 ()	平成28年4月	数理・電気電子情報学演習 数理・電気電子情報学課題研究 量子多体論Ⅰ 量子多体論Ⅱ						
専	教授	鈴木 雅史 ()	平成28年4月	数理・電気電子情報学演習 数理・電気電子情報学課題研究 計測工学特論Ⅰ 計測工学特論Ⅱ	専	准教授 講師	KABIR MAHMUDUL ()	平成29年4月 平成28年10月	計測工学特論Ⅰ 計測工学特論Ⅱ	平成28年8月退職 担当教員減員(29) 平成28年8月退職 (教員審査省略) 平成28年10月 担当者の変更(29) 平成29年4月昇任(29)
専	教授	堀口 誠二 ()	平成28年4月	数理・電気電子情報学演習 数理・電気電子情報学課題研究 電子デバイス工学						
専	教授	倉林 徹 ()	平成28年4月	数理・電気電子情報学演習 数理・電気電子情報学課題研究 電磁波工学特論Ⅰ 電磁波工学特論Ⅱ						
専	教授	今野 和彦 ()	平成28年4月	工学デザイン インターンシップⅠ インターンシップⅡ 理工学特論Ⅰ 理工学特論Ⅱ 数理・電気電子情報学演習 数理・電気電子情報学課題研究 音響エレクトロニクス特論Ⅰ 音響エレクトロニクス特論Ⅱ	専	教授	倉林 徹 ()	平成29年4月	工学デザイン インターンシップⅠ インターンシップⅡ 理工学特論Ⅰ 理工学特論Ⅱ	(教員審査省略) 平成29年4月 担当者の変更(29)
専	教授	小原 仁 ()	平成28年4月	数理・電気電子情報学演習 数理・電気電子情報学課題研究 デジタル信号処理工学Ⅰ デジタル信号処理工学Ⅱ						
専	教授	水戸部 一孝 ()	平成28年4月	数理・電気電子情報学演習 数理・電気電子情報学課題研究 生命医理工学特論 医理工連携実践論 感覚情報工学Ⅰ 感覚情報工学Ⅱ バーチャルリアリティ学Ⅰ バーチャルリアリティ学Ⅱ						
専	教授	景山 陽一 ()	平成28年4月	工学デザイン インターンシップⅠ インターンシップⅡ 理工学特論Ⅰ 理工学特論Ⅱ 数理・電気電子情報学演習 数理・電気電子情報学課題研究 生命医理工学特論 画像情報学Ⅰ 画像情報学Ⅱ リモートセンシング工学Ⅰ リモートセンシング工学Ⅱ	専	教授	水戸部 一孝 ()	平成29年4月	工学デザイン インターンシップⅠ インターンシップⅡ 理工学特論Ⅰ 理工学特論Ⅱ	(教員審査省略) 平成29年4月 担当者の変更(29)

専	准教授	小林 真人 ()	平成28年4月	数理・電気電子情報学演習 数理・電気電子情報学課題研究 位相数学特論Ⅲ 位相数学特論Ⅳ 幾何学特論Ⅰ 幾何学特論Ⅱ 計算数学特論Ⅰ							
専	准教授	田沼 慶忠 ()	平成28年4月	数理・電気電子情報学演習 数理・電気電子情報学課題研究 凝縮系物理学Ⅲ 凝縮系物理学Ⅳ							
専	准教授	熊谷 誠治 ()	平成28年4月	数理・電気電子情報学演習 数理・電気電子情報学課題研究 電気材料学特論Ⅰ 電気材料学特論Ⅱ							
専	准教授	佐藤 祐一 ()	平成28年4月	数理・電気電子情報学演習 数理・電気電子情報学課題研究 半導体デバイス工学特論Ⅰ 半導体デバイス工学特論Ⅱ							
専	准教授	山口 留美子 ()	平成28年4月	数理・電気電子情報学演習 数理・電気電子情報学課題研究 電子ディスプレイ工学Ⅰ 電子ディスプレイ工学Ⅱ							
専	准教授	河村 希典 ()	平成28年4月	数理・電気電子情報学演習 数理・電気電子情報学課題研究 光デバイス工学Ⅰ 光デバイス工学Ⅱ							
専	准教授	田中 元志 ()	平成28年4月	数理・電気電子情報学演習 数理・電気電子情報学課題研究 通信工学特論Ⅰ 通信工学特論Ⅱ							
専	准教授	三浦 武 ()	平成28年4月	数理・電気電子情報学演習 数理・電気電子情報学課題研究 制御システム工学特論Ⅰ 制御システム工学特論Ⅱ							
専	准教授	橋本 仁 ()	平成28年4月	数理・電気電子情報学演習 数理・電気電子情報学課題研究 情報ネットワーク学特論Ⅰ 情報ネットワーク学特論Ⅱ							
専	講師	FAZEKAS SZILARD ZSOLT ()	平成28年4月	数理・電気電子情報学演習 数理・電気電子情報学課題研究 離散数学特論Ⅰ 離散数学特論Ⅱ							
専	講師	中江 康晴 ()	平成28年4月	数理・電気電子情報学演習 数理・電気電子情報学課題研究 位相数学特論Ⅰ 位相数学特論Ⅱ							
専	講師	三角 樹弘 ()	平成28年4月	数理・電気電子情報学演習 数理・電気電子情報学課題研究 量子多体論Ⅲ 量子多体論Ⅳ							
専	講師	KABIR MAHMUDUL ()	平成28年4月	数理・電気電子情報学演習 数理・電気電子情報学課題研究 バイオ電磁気工学Ⅰ バイオ電磁気工学Ⅱ		准教授				(教員審査省略) 平成29年4月昇任(29)	
専	講師	福田 誠 ()	平成28年4月	数理・電気電子情報学演習 数理・電気電子情報学課題研究 圧電デバイス応用工学Ⅰ 圧電デバイス応用工学Ⅱ							
専	講師	萱野 良樹 ()	平成28年4月	数理・電気電子情報学演習 数理・電気電子情報学課題研究 計測信号処理工学Ⅰ 計測信号処理工学Ⅱ			後任未定			平成28年3月退職 担当教員減員(28) 平成28年3月退職 後任選考中(28)	
専	講師	石沢 千佳子 ()	平成28年4月	数理・電気電子情報学演習 数理・電気電子情報学課題研究 セキュリティシステム学Ⅰ セキュリティシステム学Ⅱ							
						専	講師	藤原 克哉 ()	平成29年4月	ソフトウェアシステム論	(教員審査省略) 平成29年4月から 教育課程の充実を図るため科目 を追加(29)
兼任	教授	宇野 力 ()	平成28年4月	統計数学特論Ⅰ 統計数学特論Ⅱ							
兼任	教授	林 正彦 ()	平成28年4月	凝縮系物理学Ⅰ 凝縮系物理学Ⅱ							
兼任	教授	杜 威 ()	平成28年4月	数学科教育法特論							
兼任	教授	田島 克文 ()	平成28年4月	電磁エネルギー変換工学							

兼任	准教授	大内 将也 ()	平成28年4月	代数学特論Ⅲ 代数学特論Ⅳ							
兼任	准教授	佐々木 重雄 ()	平成28年4月	計算機科学特論Ⅰ 計算機科学特論Ⅱ							
兼任	准教授	山口 祥司 ()	平成28年4月	幾何学特論Ⅲ 幾何学特論Ⅳ							
兼任	准教授	原田 潤一 ()	平成28年4月	解析学特論Ⅲ 解析学特論Ⅴ							
兼任	准教授	山口 邦彦 ()	平成28年4月	応用物性学							
兼任	教授	佐藤 正志 ()	平成28年4月	電力工学特論Ⅰ 電力工学特論Ⅱ							
兼任	准教授	横山 洋之 ()	平成28年4月	論理設計特論Ⅰ 論理設計特論Ⅱ							
兼任	講師	丹野 剛紀 ()	平成28年4月	半導体評価工学							
兼任	教授	尾高 雅文 ()	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップⅠ インターンシップⅡ 理工学特論Ⅰ 理工学特論Ⅱ 生命医理工学特論							
兼任	教授	村上 賢治 ()	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップⅠ インターンシップⅡ 理工学特論Ⅰ 理工学特論Ⅱ							
兼任	教授	原 () 基	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップⅠ インターンシップⅡ 理工学特論Ⅰ 理工学特論Ⅱ	兼任	教授	麻生 節夫 ()	平成29年4月	理工学デザイン インターンシップⅠ インターンシップⅡ 理工学特論Ⅰ 理工学特論Ⅱ	(教員審査省略) 平成29年4月 担当者の変更 (29)	
兼任	教授	奥山 栄樹 ()	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップⅠ インターンシップⅡ 理工学特論Ⅰ 理工学特論Ⅱ							
兼任	教授	足立 高弘 ()	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップⅠ インターンシップⅡ 理工学特論Ⅰ 理工学特論Ⅱ							
兼任	教授	濱岡 秀勝 ()	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップⅠ インターンシップⅡ 理工学特論Ⅰ 理工学特論Ⅱ							
兼任	教授	中村 雅英 ()	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップⅠ インターンシップⅡ 理工学特論Ⅰ 理工学特論Ⅱ							
兼任	講師	眞田 慎 ()	平成28年4月	地域産業アントレプレナー論							
兼任	寄附講座 准教授	今野 道人 ()	平成28年4月	地域産業アントレプレナー論	兼任	講師	泰松 齊 ()	平成29年4月	地域産業アントレプレ ナー論	平成29年4月 担当者の変更 (29)	
兼任	講師	村上 信博 ()	平成28年4月	地域産業アントレプレナー論							
兼任	講師	星 則幸 ()	平成28年4月	地域産業アントレプレナー論							
兼任	講師	SIM Malcolm Shane ()	平成28年4月	プレゼンテーション技法	兼任	講師	ジョー サイク Joe SYKES ()	平成29年4月	プレゼンテーション技法	平成29年4月 担当者の変更 (29)	
兼任	准教授	ABADZHIEVA EMILIYA ()	平成28年4月	理工学英語Ⅰ							
兼任	講師	SELIN PAVEL ()	平成28年4月	理工学英語Ⅲ Information and Communication Technologies for Community (情報通信技術と社会)							

兼任	准教授	GRAVE EWA MALGORZATA ()	平成28年4月	理工学英語Ⅱ 理工学英語Ⅳ	兼任	准教授	WATTERS EAMON PATRICK JOHN ()	平成28年10月	理工学英語Ⅱ	平成28年10月 担当者の変更(29)
兼任	教授	銭谷 秋生 ()	平成28年4月	技術者倫理特論 科学技術倫理特論						
兼任	寄附講座 准教授	川村 茂 ()	平成28年4月	リサイクルプロセス設計特論						
兼任	講師	和田 豊 ()	平成28年4月	宇宙科学特論	兼任	講師	阿部 琢美 ()	平成29年10月	宇宙科学特論	平成29年10月 担当者の変更(29)
兼任	教授	水田 敏彦 ()	平成28年4月	地震防災特論 地域防災学特論						
兼任	特任 准教授	鎌滝 孝信 ()	平成28年4月	古地震学特論						
兼任	教授	石山 大三 ()	平成28年4月	地球資源成因論						
兼任	教授	岩田 吉弘 ()	平成28年4月	地球資源成因論						
兼任	教授	柴山 敦 ()	平成28年4月	地球資源成因論 資源分離精製論						
兼任	教授	水田 敏夫 ()	平成28年4月	地球資源成因論	兼任	教授	渡辺 寧 ()	平成29年4月	地球資源成因論	平成29年4月 担当者の変更(29)
兼任	講師	大和田 秀二 ()	平成28年4月	資源分離精製論						
兼任	准教授	高崎 康志 ()	平成28年4月	資源分離精製論						
兼任	教授	進藤 隆世志 ()	平成28年4月	資源化学・資源利用工学						
兼任	教授	村上 賢治 ()	平成28年4月	資源化学・資源利用工学						
兼任	准教授	布田 潔 ()	平成28年4月	資源化学・資源利用工学						
兼任	講師	藤田 豊久 ()	平成28年4月	資源化学・資源利用工学						
兼任	教授	三島 望 ()	平成28年4月	リサイクルシステム設計論						
兼任	教授	安達 毅 ()	平成28年4月	リサイクルシステム設計論						
兼任	講師	中村 崇 ()	平成28年4月	リサイクルシステム設計論						
兼任	教授	神谷 修 ()	平成28年4月	自主プロジェクトⅠ 自主プロジェクトⅡ						
兼任	講師	細井 義孝 ()	平成28年4月	国際関係論						
兼任	講師	長谷部 光重 ()	平成28年4月	マーケティング論						
兼任	講師	佐藤 善友 ()	平成28年4月	ベンチャー起業論						
兼任	講師	佐藤 博 ()	平成28年4月	資源・工業経済論						
兼任	講師	桜井 若葉 ()	平成28年4月	資源・工業経済論						
兼任	講師	戸根谷 法雄 ()	平成28年4月	リスクマネジメント						
兼任	講師	高橋 弘毅 ()	平成28年4月	技術戦略学						
兼任	講師	水澤 春樹 ()	平成28年4月	財務・金融工学						

兼任	講師	伊藤 秀範 ()	平成28年4月	財務・金融工学						
兼任	講師	佐藤 貴幸 ()	平成28年4月	財務・金融工学						
兼任	講師	高橋 利典 ()	平成28年4月	財務・金融工学						
兼任	講師	豊島 洋之 ()	平成28年4月	財務・金融工学						
兼任	講師	森川 茂弘 ()	平成28年4月	知的財産論						
兼任	講師	谷内 宏行 ()	平成28年4月	経営戦略論						
兼任	講師	廣畑 伸雄 ()	平成28年4月	企業行動論						
兼任	准教授	角谷 浩 ()	平成28年4月	特許情報活用論	兼任	講師	齋藤 昭彦 ()	平成29年4月	特許情報活用論	平成29年4月 担当者の変更(29)
兼任	講師	田嶋 正夫 ()	平成28年4月	特許情報活用論	兼任	講師	齋藤 博子 ()	平成29年4月	特許情報活用論	平成29年4月 担当者の変更(29)
兼任	教授	藤原 憲秀 ()	平成28年4月	生命医理工学特論						
兼任	教授	伊藤 英晃 ()	平成28年4月	生命医理工学特論						
兼任	教授	涌井 秀樹 ()	平成28年4月	生命医理工学特論 医理工連携実践論						
兼任	教授	久保田 広志 ()	平成28年4月	生命医理工学特論						
兼任	教授	疋田 正喜 ()	平成28年4月	生命医理工学特論						
兼任	教授	後藤 猛 ()	平成28年4月	生命医理工学特論						
兼任	教授	長縄 明大 ()	平成28年4月	生命医理工学特論 医理工連携実践論						
兼任	教授	巖見 武裕 ()	平成28年4月	生命医理工学特論						
兼任	准教授	南條 博 ()	平成28年4月	生命医理工学特論						
兼任	教授	三浦 昌朋 ()	平成28年4月	生命医理工学特論						
兼任	講師	藤島 直仁 ()	平成28年4月	生命医理工学特論						
兼任	教授	橋本 学 ()	平成28年4月	生命医理工学特論						
兼任	教授	廣川 誠 ()	平成28年4月	生命医理工学特論	兼任	助教	面川 歩 ()	平成29年4月	生命医理工学特論	平成29年4月 担当者の変更(29)
兼任	教授	安藤 秀明 ()	平成28年4月	生命医理工学特論						
兼任	教授	寺境 光俊 ()	平成28年4月	医理工連携実践論						
兼任	教授	南谷 佳弘 ()	平成28年4月	医理工連携実践論						
兼任	理事	近藤 克幸 ()	平成28年4月	医理工連携実践論						
兼任	講師	野堀 深 ()	平成28年4月	医理工連携実践論						
兼任	講師	赤上 陽一 ()	平成28年4月	医理工連携実践論						

- (注) ・ 設置時の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
7	5	3
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
10	8	8	0	26	9	10	6	0	25	9	10	6	0	25
(10)	(9)	(6)	(0)	(25)						[Δ1]	[+2]	[Δ2]	[±0]	[Δ1]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/		研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/		研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/	
18	8	0			19	6	0			19	6	0		
(19)	(6)	(0)								[+1]	[Δ2]	[±0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（B））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
1	講師	萱野 良樹	必修	数理・電気電子情報学演習	①	平成28年3月31日付けで退職（一身上）したため(28)				
			必修	数理・電気電子情報学課題研究	①					
			選択	計測信号処理工学Ⅰ	③					
			選択	計測信号処理工学Ⅱ	③					
合計 (A)			後任補充状況の集計 (B)							
就任を辞退した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
1	人	必修	2	科目	必修	2	科目	必修	0	科目
		選択	2	科目	選択	0	科目	選択	2	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	4	科目	計	2	科目	計	2	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|--|

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1	教授	鈴木 雅史	必修	数理・電気電子情報学演習	①	平成28年8月15日付けで退職（死亡）したため(29)				
			必修	数理・電気電子情報学課題研究	①					
			選択	計測工学特論Ⅰ	①					
			選択	計測工学特論Ⅱ	①					
合計 (C)			後任補充状況の集計 (D)							
辞任した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
1	人	必修	2	科目	必修	2	科目	必修	0	科目
		選択	2	科目	選択	2	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	4	科目	計	4	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|--|

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (A) + (C)			後任補充状況の集計 (B) + (D)							
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
2	人	必修	4	科目	必修	4	科目	必修	0	科目
		選択	4	科目	選択	2	科目	選択	2	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	8	科目	計	6	科目	計	2	科目

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

萱野良樹講師の辞任について、担当科目である「数理・電気電子情報学演習」「数理・電気電子情報学課題研究」については、分担科目で他の教員で担当可能であるため、履修等への影響はない。また、選択科目の「計測信号処理工学Ⅰ」「計測信号処理工学Ⅱ」については、後任選考中である。

学生に対しては、履修案内への記載や、web機能を活用した本学独自の総合学務支援システム「a-net」へ掲載することにより、十分な周知を行った。

鈴木雅史教授の辞任について、担当科目である「数理・電気電子情報学演習」「数理・電気電子情報学課題研究」については、分担科目で他の教員で担当可能である。また、「計測工学特論Ⅰ」「計測工学特論Ⅱ」については、後任の教員（KABIR MAHMUDUL准教授）が担当しているため、支障はない。

学生に対しては、履修案内への記載や、web機能を活用した本学独自の総合学務支援システム「a-net」へ掲載することにより、十分な周知を行った。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (28年4月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (29年2月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年2月)		改善意見	
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年2月)	・同一設置者が設置する 既設学部等(○○学科、 ●●学科)の～すること。	○○意見	

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<理工学研究科 数理・電気電子情報学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)
 - ・ 構成大学ごとに記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

理工学研究科教育改善委員会

《関係規程等》

秋田大学大学院理工学研究科教育改善委員会規程

(趣旨)

第1条 秋田大学大学院理工学研究科及び理工学部における教育及び教員の教育に関する資質の向上に関する事項並びに理工学研究科評価委員会及び企画運営会議の付託事項を検討・実施するため、理工学研究科に教育改善委員会(以下「委員会」という。)を置き、委員会に関し必要な事項は、この規程の定めるところによる。

(審議事項)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事項について審議する。

- (1) 学生及び教員による授業評価の実施等に関すること。
- (2) JABEE認証の受審・更新の実施等に関すること。
- (3) 教育に関する外部評価の実施に関すること。
- (4) 教育改善に関わる調査・研究に関すること。
- (5) FD活動の実施等に関すること。
- (6) その他教育改善に関すること。

(組織)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 博士前期課程の各コース及び共同ライフサイクルデザイン工学専攻の教授または准教授各1名
- (2) その他研究科長が必要と認めた者

(任期)

第4条 任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長を置き、学務副委員長をもって充てる。

- 2 委員長は、委員会を主宰する。
- 3 委員会に副委員長を置き、委員長が指名する。
- 4 委員長に事故等があるときは、副委員長がその職務を代行する。

(議事)

第6条 委員会は、委員の3分の2以上の出席がなければ開くことができない。

- 2 委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(委員以外の出席)

第7条 委員長が必要と認めたときは、委員以外のものを委員会に出席させ、意見を聴くことができる。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、理工学研究科事務部の協力を得て、総合学務課において処理する。

(補則)

第9条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が定める。

附 則

この規程は、平成22年6月10日から施行し、平成22年4月1日から適用する。

附 則

- 1 この規程は、平成26年4月1日から施行する。
- 2 第2条の規定は、工学資源学部が存続する間、当該学部に適用する。

附 則

この規程は、平成26年11月1日から施行する。

附 則

- 1 この規程は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 第2条の規定は、工学資源学研究科が存続する間、当該研究科に適用する。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

4回開催（平成26年度実績）。8回開催（平成27年度実績）。6回開催（平成28年度実績）。
構成委員全員が参加。

c 委員会の審議事項等

上記の委員会規程第2条に定めるところによる。

② 実施状況

a 実施内容

- (1) FD・SDシンポジウムの開催
- (2) FDワークショップの開催
- (3) 教員による授業評価

b 実施方法

- (1) FDシンポジウム：発達障がいを持つ学生へのサポートをテーマに、学内の学生支援を担当している保健管理センター所長等3名の講師によるレクチャーおよび総合討論を行った。（平成26年度実績）
FD・SDシンポジウム：ルーブリック評価とeラーニングの活用をテーマに、学外の教員1名による基調講演およびeラーニングの事例紹介を行った。（平成28年度実績）
・大学教育におけるハラスメントについてをテーマに、保健管理センター所長による基調講演を行った。（平成28年度実績）
- (2) FDワークショップ：学生参加型等の授業改善をテーマに、学内外の教員3名による基調講演およびパネルディスカッション、参加者全員による授業改善計画案の作成を行った。（平成26年度実績）
・ルーブリック評価の活用と設定方法をテーマに、学外の教員1名による基調講演および参加者全員によるルーブリック課題作成を行った。（平成27年度実績）
- (3) 各学科・専攻単位に授業評価の対象科目を選定し、その科目について2名以上の教員で評価を行う。（各教員は、5年に1科目を目処に評価を受けることとしている。）

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- (1) FDシンポジウム：平成26年9月18日（木） 参加者：36名
FD・SDシンポジウム：平成28年12月6日（火） 参加者：40名
平成29年3月13日（月） 参加者：52名
- (2) FDワークショップ：平成26年12月12日（金） 参加者：33名
平成27年12月11日（金） 参加者：36名
- (3) 平成26年10月から平成27年1月までの期間で、計17科目の評価を実施した。（平成26年度実績）
平成27年6月から平成28年1月までの期間で、計16科目の評価を実施した。（平成27年度実績）
平成28年6月から平成29年1月までの期間で、計23科目の評価を実施した。（平成28年度実績）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

実施結果を踏まえ、各学科・専攻ごとに検討を行い次年度以降の授業改善に向けて取り組んでいる。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

有 前期と後期の2回、大学院及び学部の全学生を対象に実施した。（平成26, 27, 28年度実績）

b 教員や学生への公開状況、方法等

実施結果及び分析結果の総評は冊子体としてまとめ、各教員に配付している。各科目ごとの結果については当該教員に個別に通知している。学生への公開については、その方法等も含め各学科・専攻の判断に委ねている。

- (注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
・「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）
・構成大学ごとに記入してください。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

開設後2年目の状況は、順調に進んでいる。
引き続き、設置の趣旨・目的の達成に向けて取り組んでいきたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成29年度以降

b 公表方法

- ・理工学研究科のホームページから各種の情報を発信することとしている。
- ・大学で実施する自己点検・評価に基づく評価の結果については、各事業年度及び目標期間内における業務実績に係る「評価書」を作成しホームページ上等で公表している。

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成25年度に独立行政法人大学評価・学位授与機構による大学機関別認証評価及び大学機関別選択評価を受けた。現在は次回（平成31年度予定）の認証評価を受けるべく、学内で検討中である。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

- ・ 構成大学ごとに記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有) ・ (無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成29年7月1日公表予定)

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 秋田大学

(2) 大学名

秋田大学

(3) 大学の位置

〒010-8502

秋田県秋田市手形学園町1番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(ヤマモト フミオ) 山本 文雄 (平成28年4月)		
研究科長	(ムラオカ ミキオ) 村岡 幹夫 (平成28年4月)		
専攻長	(オクヤマ エイキ) 奥山 栄樹 (平成28年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください (入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の博士後期課程の場合 (平成29年度までの3年間) ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称 (学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
理工学研究科 システムデザイン工学専攻 (博士前期課程) 修士 (工学)	工学関係	2 年	36 人	72 人	基礎となる学部等 理工学部 システムデザイン 工学科

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を () 書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要 (別記様式第2号 (その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	平成28年度		平成29年度		平成 年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	36人 (若干名) [若干名]	若干名	36人 (若干名) [若干名]		人 () []		0.97 倍	
志願者数	39 (-) [1]	1 (-) [-]	41 (-) [5]	— (-) [-]				
受験者数	39 (-) [1]	1 (-) [-]	39 (-) [5]	— (-) [-]				
合格者数	38 (-) [1]	1 (-) [-]	35 (-) [3]	— (-) [-]				
B 入学者数	35 (-) [-]	1 (-) [-]	34 (-) [2]	— (-) [-]				
入学定員超過率 B/A	1		0.94					

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 社会人の状況について **内数** で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ [] 内には, 留学生の状況について **内数** で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格 (いわゆる「留学ビザ」) により, 我が国の大学 (大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校 (専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期 (春季入学以外の学期区分を設けている場合) に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出** してください。なお, 計算の際は **小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入** してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度 学 年	平成28年度		平成29年度		平成 年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	35 [0] (-)	1 [0] (-)	35 [2] (1)	1 [0] (-)			
2年次	/		34 [0] (-)	- [-] (-)			
計	36 [0] (-)		70 [2] (1)				

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況について、内数で**記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	35 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人		0 %
			平成29年度	0 人	0 人		
平成29年度 入学者	34 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0 %
合 計	69 人	0 人					0 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<理工学研究科 システムデザイン工学専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次 ()表示のある科目は7+7+7-制で開講する。 ()の数は開講時期を表す。	単位数				専任教員等の配置					備考 「MSEコース」は医理工連携コースを意味する。
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	理工学デザイン	1後	1			3						兼7 担当者の変更(29)
	地域産業アントレプレナー論	1後	1									兼4 オムニバス 担当者の変更(29)
	プレゼンテーション技法	1前		1								兼1 担当者の変更(29)
	理工学英語Ⅰ	1前		1								兼1
	理工学英語Ⅱ	1後		1								兼1 担当者の変更(29)
	理工学英語Ⅲ	2前		1								兼1
	理工学英語Ⅳ	2後		1								兼1
	インターンシップⅠ	随時		1		3						兼7 企業等で実地研修 担当者の変更(29)
	インターンシップⅡ	随時		2		3						兼7 企業等で実地研修 担当者の変更(29)
	技術者倫理特論	1前		2								兼1
	科学技術倫理特論	1後		2								兼1
	リサイクルプロセス設計特論	1後		2								兼1
	宇宙科学特論	1前		2								兼1 集中 担当者の変更(29)
	地震防災特論	1後		2								兼1
	地域防災学特論	1前		2								兼1
	古地震学特論	1後		2								兼1
	地球資源成因論	1(1)		1								兼4 集中, オムニバス 担当者の変更(29)
	資源分離精製論	1通		1								兼3 集中, オムニバス
	資源化学・資源利用工学	1通		1								兼4 集中, オムニバス
	リサイクルシステム設計論	1通		1								兼3 集中, オムニバス
	自主プロジェクトⅠ	1通		1		1						
	自主プロジェクトⅡ	1通		2		1						
	国際関係論	1(1)		1								兼1 集中
	マーケティング論	1前		1								兼1 MOTコース対象科目
	ベンチャー起業論	1(2)		1								兼1 集中 MOTコース必修
	資源・工業経済論	1通		1								兼2 集中, オムニバス MOTコース対象科目
	リスクマネジメント	1(2)		1								兼1 集中 MOTコース対象科目
	技術戦略学	1(1)		1								兼1 集中 MOTコース対象科目
	財務・金融工学	1通		1								兼5 オムニバス MOTコース必修
	知的財産論	1(3)		1								兼1 集中 MOTコース対象科目 MSEコース必修
	経営戦略論	1(2)		1								兼1 集中 MOTコース対象科目
	企業行動論	1(1)		1								兼1 集中 MOTコース対象科目
特許情報活用論	1前		1								兼2 MOTコース対象科目 担当者の変更(29)	
理工学特論Ⅰ	1前		1		3						兼7 担当者の変更(29)	
理工学特論Ⅱ	1後		1		3						兼7 担当者の変更(29)	
生命医理工学特論	1前		2		2						兼13 オムニバス 担当者の変更(29)	
医理工連携実践論	1(2)		1		1						兼7 集中, オムニバス MSEコース必修	
専門科目	コース共通	システムデザイン工学演習	2通	2		12 13	8 9	5 4				担当教員(退職・採用)の変更(28) 担当教員減員等(29)
		システムデザイン工学課題研究	1~2通	10		12 13	8 9	5 4				担当教員(退職・採用)の変更(28) 担当教員減員等(29)

専 門 科 目	週	Introduction to Systems Design Engineering (システムデザイン工学概論)	1・2前	1					兼1 兼2	担当教員数の変更(28)	
	機 械 工 学 コ ー ス	固体力学特論	1・2前	2	1						
		ナノテクノロジー特論	1・2(2)	2	1						
		超精密設計特論	1・2(1)	2	1						
		応用電磁気学特論	1・2(1)	2		1					MSEコース対象科目
		システムデザイン特論	1・2後	2		1					
		表面構造評価学	1・2(3)	2		1					
		機能性表面工学特論	1・2(3)	2			+				担当教員退職により後任公募予定(29)
		熱流体エネルギー移動・変換工学	1・2後	2		1					教育課程の充実を図るため科目を追加(29)
		自然対流伝熱特論Ⅰ	1・2(3)	1		1					
		自然対流伝熱特論Ⅱ	1・2(4)	1		1					
		実験流体力学特論	1・2前	2		4					後任選考中(28)
		数値熱流体力学	1・2(1)	2			1				
		気体分子運動論	1・2後	2				1			
	創 造 生 産 工 学 コ ー ス	制御工学特論	1・2前	2		1					
		バイオメカニクス特論	1・2前	2		1					MSEコース対象科目
		アクチュエータ工学特論Ⅰ	1・2(1)	1			1				
		アクチュエータ工学特論Ⅱ	1・2(2)	1			1				
		電子制御機械工学特論	1・2後	2				1			
		流体力学特論	1・2(1)	1		1					
		伝熱工学特論	1・2(2)	1		1					
		機械力学特論	1・2前	2						兼1	
		振動制御工学特論	1・2前	2		4		1			後任選考中(28) 担当者の変更(29)
		機械材料工学特論Ⅰ	1・2(3)	1		1					
	機械材料工学特論Ⅱ	1・2(4)	1		1						
	マイクロ加工工学特論	1・2前	2						兼1		
	土 木 環 境 工 学 コ ー ス	計測システム工学特論Ⅰ	1・2(3)	1				+			MSEコース対象科目 担当教員退職により後任公募予定(29)
		計測システム工学特論Ⅱ	1・2(4)	1				+			MSEコース対象科目 担当教員退職により後任公募予定(29)
		生物流体力学特論	1・後	2		1					教育課程の充実を図るため科目を追加(29)
	構造力学特論	1・2前	2		1					MSEコース対象科目	
	木構造工学	1・2後	2				1			教育課程の充実を図るため科目を追加(28)	
	水理学特論	1・2前	2		1						
	水防災工学特論	1・2後	2				1				
土質工学特論	1・2前	2			1						
交通システム計画特論	1・2前	2		1							
都市システム計画特論	1・2前	2			1				MSEコース対象科目		
材料設計学特論	1・2前	2		1							
構造設計学特論	1・2後	2				1					

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「記当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備 考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
5	69	0	74	5	72	0	77	
				[±0]	[+3]	[±0]	[+3]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1		該当なし				
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1		該当なし				
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{74} = \boxed{} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位までを記入してください。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校 舎 敷 地	258,144 m ²	0 m ²	0 m ²	258,144 m ²			
	運 動 場 用 地	76,253 m ²	0 m ²	0 m ²	76,253 m ²			
	小 計	334,397 m ²	0 m ²	0 m ²	334,397 m ²			
	そ の 他	104,058 m ²	0 m ²	0 m ²	104,058 m ²			
	合 計	438,455 m ²	0 m ²	0 m ²	438,455 m ²			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
		132,654 m ² (132,654 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	132,654 m ² (132,654 m ²)			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
	99 室	130 室	543 室	14 室 (補助職員 4 人)	6 室 (補助職員 1 人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数		平成29年3月専任准教授 1名及び専任講師1名 退職(29)		
		理工学研究科 システムデザイン工学専攻		24 26 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	大学全体での共用分を 含む
	理工学研究科	443,662 [115,105] (427,382 [113,216])	9,572 [2,715] (9,572 [2,715])	6,850 [5,400] (6,850 [5,400])	3,071 (2,893)	6,341 (6,341)	19,370 (19,170)	
	計	443,662 [115,105] (427,382 [113,216])	9,572 [2,715] (9,572 [2,715])	6,850 [5,400] (6,850 [5,400])	3,071 (2,893)	6,341 (6,341)	19,370 (19,170)	
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
	6,321 m ²		652		582,537			
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				大学全体	
	7,908 m ²		陸上競技場、野球場、多目的運動場、テニスコート、プール					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	— 千円	— 千円	図書購入費	— 千円	— 千円	— 千円
		共同研究費等	— 千円	— 千円	設備購入費	— 千円	— 千円	— 千円
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	秋 田 大 学							備 考
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収定容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開 設 年 度	所 在 地
	年	人	年次人	人		倍		
≪ A C 対象学部等 ≫ 国際資源学部 国際資源学科	4	120	—	480	学士 (資源学)	1.02	平成26	秋田市手形学園町1番1号
教育文化学部 学校教育課程 地域文化学科 地域科学課程 国際言語文化課程 人間環境課程	4	110	—	440	学士 (学校教育)	1.04	平成10	秋田市手形学園町1番1号
	4	100	—	400	学士 (地域文化)	1.02	平成26	
	4	—	—	—	学士 (地域科学)	—	平成10	
	4	—	—	—	学士 (国際言語文化)	—	平成10	
	4	—	—	—	学士 (人間環境)	—	平成10	
	4	—	—	—	—	—	平成10	
医学部 医学科 保健学科	6	124	2年次 5	759	学士 (医学)	1.00	昭和45	秋田市本道一丁目1の1
	4	106	3年次 14	452	学士 (保健学) 学士 (看護学)	1.05	平成14	
理工学部 生命科学科 物質科学科 数理・電気電子 情報学科 システムデザイン 工学科 各学科共通	4	45		180	学士 (理学)	0.99	平成26	秋田市手形学園町1番1号
	4	110		440	学士 (理工学)	1.02	平成26	
	4	120		480	学士 (理学)	1.07	平成26	
	4	120		480	学士 (工学) 学士 (工学)	1.09	平成26	
			3年次 12	12				
工学資源学部 地球資源学科 環境応用化学科 生命化学科 材料工学科 情報工学科 機械工学科 電気電子工学科 土木環境工学科 各学科共通	4	—	—	—	学士 (資源学) 学士 (工学) 学士 (工学) 学士 (工学) 学士 (理学) 学士 (工学) 学士 (工学) 学士 (工学) 学士 (工学)	—	平成10 平成20 平成20 平成10 平成10 平成10 平成10 平成10	秋田市手形学園町1番1号
			3年次 12	—				

平成26年度入学定員増(10人)

平成26年度より
学生募集停止

平成27年度入学定員増(2人)

平成26年度より
学生募集停止

平成28年度より
学生募集停止

大学院国際資源学研究所 (博士前期課程)								秋田市手形学園町1番1号	
資源地球科学専攻	2	17	—	34	修士 (資源学)	0.82	平成28		
資源開発環境学専攻	2	23	—	46	修士 (資源学) 修士 (工学)	0.71	平成28		
(博士後期課程)									
資源学専攻	3	10	—	20	博士 (資源学) 博士 (工学) 博士 (理学)	0.65	平成28		
大学院教育学研究所 (修士課程)								秋田市手形学園町1番1号	
心理教育実践専攻	2	6	—	12	修士 (教育学)	1.08	平成28		平成28年度より 学生募集停止
学校教育専攻	2	—	—	—	修士 (教育学)	—	平成元		
教科教育専攻	2	—	—	—	修士 (教育学)	—	平成元		
(専門職学位課程)									
教職実践専攻	2	20	—	40	教職修士 (専門職)	1.12	平成28		
大学院医学系研究所 (修士課程)								秋田市本道一丁目1の1	
医科学専攻	2	5	—	10	修士 (医科学)	0.30	平成19		
(博士前期課程)									
保健学専攻	2	12	—	24	修士 (看護学) 修士 (リハビリテーション科学)	1.04	平成19		
(博士後期課程)									
保健学専攻	3	3	—	9	博士 (保健学)	1.11	平成21		
(博士課程)									
医学専攻	4	30	—	120	博士 (医学)	0.97	平成19		
大学院理工学研究所 (博士前期課程)								秋田市手形学園町1番1号	
生命科学専攻	2	15	—	30	修士 (理学)	0.76	平成28		
物質科学専攻	2	42	—	84	修士 (理工学)	0.79	平成28		
数理・電気電子 情報学専攻	2	45	—	90	修士 (理学) 修士 (工学)	1.07	平成28		
システムデザイン 工学専攻	2	36	—	72	修士 (工学)	0.97	平成28		
共同ライフサイクル デザイン工学専攻	2	12	—	24	修士 (工学)	1.00	平成28		

(博士後期課程)												
総合理工学専攻	3	10	—	20	博士 (理学) 博士 (理工学) 博士 (工学)	1.05	平成28					
大学院工学資源学研究所										秋田市手形学園町1番1号		
(博士前期課程)												
地球資源学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成14					
環境応用化学専攻	2	—	—	—	修士 (資源学)	—	平成24					
生命科学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成24					
材料工学専攻	2	—	—	—	修士 (理学)	—	平成24					
情報工学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成14					
機械工学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成14					
電気電子工学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成14					
土木環境工学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成14					
共同ライフサイクル デザイン工学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成24					
(博士後期課程)												
資源学専攻	3	—	—	—	博士 (工学)	—	平成14					
生命科学専攻	3	—	—	—	博士 (資源学)	—	平成26					
機能物質工学専攻	3	—	—	—	博士 (理学)	—	平成14					
生産・建設工学専攻	3	—	—	—	博士 (工学)	—	平成14					
電気電子情報 システム工学専攻	3	—	—	—	博士 (工学)	—	平成14					

平成28年度より
学生募集停止

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(A・C対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・A・C対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<理工学研究科 システムデザイン工学専攻（博士前期課程）>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	渋谷 嗣 ()	平成28年4月	システムデザイン工学演習 システムデザイン工学課題研究 固体力学特論						
専	教授	村岡 幹夫 ()	平成28年4月	システムデザイン工学演習 システムデザイン工学課題研究 ナノテクノロジー特論						
専	教授	奥山 栄樹 ()	平成28年4月	システムデザイン工学演習 システムデザイン工学課題研究 理工学デザインインターンシップⅠ インターンシップⅡ 理工学特論Ⅰ 理工学特論Ⅱ 超精密設計特論						
専	教授	田子 真 ()	平成28年4月	システムデザイン工学演習 システムデザイン工学課題研究 自然対流伝熱特論Ⅰ 自然対流伝熱特論Ⅱ						
専	教授	長谷川 裕晃 ()	平成28年4月	システムデザイン工学演習 システムデザイン工学課題研究 実験流体力学特論						平成27年8月退職 担当教員減員(28)
							後任未定			平成27年8月退職 後任選考中(28)
専	教授	長縄 明大 ()	平成28年4月	システムデザイン工学演習 システムデザイン工学課題研究 生命医理工学特論 医理工連携実践論 制御工学特論						
専	教授	巖見 武裕 ()	平成28年4月	システムデザイン工学演習 システムデザイン工学課題研究 生命医理工学特論 バイオメカニクス特論						
専	教授	足立 高弘 ()	平成28年4月	理工学デザインインターンシップⅠ インターンシップⅡ 理工学特論Ⅰ 理工学特論Ⅱ システムデザイン工学演習 システムデザイン工学課題研究 流体力学特論 伝熱工学特論	専	教授	足立 高弘 ()	平成29年4月	理工学デザインインターンシップⅠ インターンシップⅡ 理工学特論Ⅰ 理工学特論Ⅱ システムデザイン工学演習 システムデザイン工学課題研究 流体力学特論 伝熱工学特論 生物流体力学特論	(教員審査省略) 平成29年4月から 教育課程の充実を図るため科目を追加(29)
専	教授	神谷 修 ()	平成28年4月	システムデザイン工学演習 システムデザイン工学課題研究 機械材料工学特論Ⅰ 機械材料工学特論Ⅱ						
専	教授	後藤 文彦 ()	平成28年4月	システムデザイン工学演習 システムデザイン工学課題研究 構造力学特論						

専	教授	松富 英夫 ()	平成28年4月	システムデザイン工学 演習 システムデザイン工学 課題研究 水理学特論						
専	教授	濱岡 秀勝 ()	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップ I インターンシップ II 理工学特論 I 理工学特論 II システムデザイン工学 演習 システムデザイン工学 課題研究 交通システム計画特論						
専	教授	徳重 英信 ()	平成28年4月	システムデザイン工学 演習 システムデザイン工学 課題研究 材料設計学特論						
専	准教授	山本 良之 ()	平成28年4月	システムデザイン工学 演習 システムデザイン工学 課題研究 応用電気磁気学特論						
専	准教授	宮野 泰征 ()	平成28年4月	システムデザイン工学 演習 システムデザイン工学 課題研究 システムデザイン特論						
専	准教授	山口 誠 ()	平成28年4月	システムデザイン工学 演習 システムデザイン工学 課題研究 表面構造評価学						
専	准教授	野老山 貴行 ()	平成28年4月	システムデザイン工学 演習 システムデザイン工学 課題研究 機能性表面工学特論						平成29年3月退職 担当教員減員 (29)
							後任未定			平成29年3月退職 後任公募予定 (29)
専	准教授	小松 喜美 ()	平成28年4月	システムデザイン工学 演習 システムデザイン工学 課題研究 数値熱流体力学						
専	准教授	佐々木 芳宏 ()	平成28年4月	システムデザイン工学 演習 システムデザイン工学 課題研究 アクチュエータ工学特 論 I アクチュエータ工学特 論 II						
専	准教授	荻野 俊寛 ()	平成28年4月	システムデザイン工学 演習 システムデザイン工学 課題研究 土質工学特論						
専	准教授	日野 智 ()	平成28年4月	システムデザイン工学 演習 システムデザイン工学 課題研究 都市システム計画特論						
専	准教授	菅原 佳城 ()	平成28年4月	システムデザイン工学 演習 システムデザイン工学 課題研究 振動制御工学特論	専	講師	平山 寛 () 後任未定	平成29年4月	システムデザイン工学演習 システムデザイン工学課題 研究 振動制御工学特論	平成28年3月退職 担当教員減員 (28) (教員審査省略) 平成29年4月 担当者の変更 (29) 平成28年3月退職 後任選考中 (28)
専	准教授	高橋 良輔 ()	平成28年4月	システムデザイン工学 演習 システムデザイン工学 課題研究 構造設計学特論						
専	講師	杉山 渉 ()	平成28年4月	システムデザイン工学 演習 システムデザイン工学 課題研究 気体分子運動論						

専	講師	関 健史 ()	平成28年4月	システムデザイン工学 演習 システムデザイン工学 課題研究 電子制御機械工学特論						
専	講師	廣瀬 圭 ()	平成28年4月	システムデザイン工学 演習 システムデザイン工学 課題研究						平成29年3月退職 担当教員減員 (29)
				計測システム学特論Ⅰ 計測システム学特論Ⅱ			後任未定			平成29年3月退職 後任公募予定 (29)
専	講師	野田 龍 ()	平成28年4月	システムデザイン工学 演習 システムデザイン工学 課題研究 木構造力学						
専	講師	渡邊 一也 ()	平成28年4月	システムデザイン工学 演習 システムデザイン工学 課題研究 水防災工学特論						
兼任	教授	土岐 仁 ()	平成28年4月	機械力学特論						
兼任	准教授	高橋 護 ()	平成28年4月	マイクロ加工学特論						
兼任	教授	尾高 雅文 ()	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップⅠ インターンシップⅡ 理工学特論Ⅰ 理工学特論Ⅱ 生命医理工学特論						
兼任	教授	村上 賢治 ()	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップⅠ インターンシップⅡ 理工学特論Ⅰ 理工学特論Ⅱ						
兼任	教授	原 基 ()	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップⅠ インターンシップⅡ 理工学特論Ⅰ 理工学特論Ⅱ	兼任	教授	麻生 節夫 ()	平成29年4月	理工学デザイン インターンシップⅠ インターンシップⅡ 理工学特論Ⅰ 理工学特論Ⅱ	平成29年4月 担当者の変更 (29)
兼任	教授	河上 肇 ()	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップⅠ インターンシップⅡ 理工学特論Ⅰ 理工学特論Ⅱ						
兼任	教授	今野 和彦 ()	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップⅠ インターンシップⅡ 理工学特論Ⅰ 理工学特論Ⅱ	兼任	教授	倉林 徹 ()	平成29年4月	理工学デザイン インターンシップⅠ インターンシップⅡ 理工学特論Ⅰ 理工学特論Ⅱ	平成29年4月 担当者の変更 (29)
兼任	教授	景山 陽一 ()	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップⅠ インターンシップⅡ 理工学特論Ⅰ 理工学特論Ⅱ 生命医理工学特論	兼任	教授	水戸部 一孝 ()	平成29年4月	理工学デザイン インターンシップⅠ インターンシップⅡ 理工学特論Ⅰ 理工学特論Ⅱ	平成29年4月 担当者の変更 (29)
兼任	教授	中村 雅英 ()	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップⅠ インターンシップⅡ 理工学特論Ⅰ 理工学特論Ⅱ	兼任	教授	中村 雅英 ()	平成29年4月	熱流体エネルギー移動・変換工学 理工学デザイン インターンシップⅠ インターンシップⅡ 理工学特論Ⅰ 理工学特論Ⅱ	平成29年4月から 教育課程の充実を図るため科目を追加 (29)
兼任	講師	眞田 慎 ()	平成28年4月	地域産業アントレプレ ナー論						
兼任	寄附講座 准教授	今野 道人 ()	平成28年4月	地域産業アントレプレ ナー論	兼任	講師	泰松 齊 ()	平成29年4月	地域産業アントレプレ ナー論	平成29年4月 担当者の変更 (29)
兼任	講師	村上 信博 ()	平成28年4月	地域産業アントレプレ ナー論						
兼任	講師	星 則幸 ()	平成28年4月	地域産業アントレプレ ナー論						
兼任	講師	SIM Malcolm Shane ()	平成28年4月	プレゼンテーション技 法	兼任	講師	ジョー サイクス Joe SYKES ()	平成29年4月	プレゼンテーション技法	平成29年4月 担当者の変更 (29)

兼任	准教授	ABADZHIEVA EMILIYA ()	平成28年4月	理工学英語 I Introduction to Systems Design Engineering (システムデザイン工学 概論)						
兼任	講師	SELIN PAVEL ()	平成28年4月	理工学英語 III						
兼任	准教授	GRAVE EWA MALGORZATA ()	平成28年4月	理工学英語 II 理工学英語 IV	兼任	准教授	WATTERS EAMON PATRICK JOHN ()	平成28年10月	理工学英語 II	平成28年10月 担当者の変更 (29)
兼任	教授	銭谷 秋生 ()	平成28年4月	技術者倫理特論 科学技術倫理特論						
兼任	寄附講座 准教授	川村 茂 ()	平成28年4月	リサイクルプロセス設 計特論						
兼任	講師	和田 豊 ()	平成28年4月	宇宙科学特論	兼任	講師	阿部 琢美 ()	平成29年10月	宇宙科学特論	平成29年10月 担当者の変更 (29)
兼任	教授	水田 敏彦 ()	平成28年4月	地震防災特論 地域防災学特論						
兼任	特任 准教授	鎌滝 孝信 ()	平成28年4月	古地震学特論						
兼任	教授	石山 大三 ()	平成28年4月	地球資源成因論						
兼任	教授	岩田 吉弘 ()	平成28年4月	地球資源成因論						
兼任	教授	柴山 敦 ()	平成28年4月	地球資源成因論 資源分離精製論						
兼任	教授	水田 敏夫 ()	平成28年4月	地球資源成因論	兼任	教授	渡辺 寧 ()	平成29年4月	地球資源成因論	平成29年4月 担当者の変更 (29)
兼任	講師	大和田 秀二 ()	平成28年4月	資源分離精製論						
兼任	准教授	高崎 康志 ()	平成28年4月	資源分離精製論						
兼任	教授	進藤 隆世志 ()	平成28年4月	資源化学・資源利用工 学						
兼任	教授	村上 賢治 ()	平成28年4月	資源化学・資源利用工 学						
兼任	准教授	布田 潔 ()	平成28年4月	資源化学・資源利用工 学						
兼任	講師	藤田 豊久 ()	平成28年4月	資源化学・資源利用工 学						
兼任	教授	三島 望 ()	平成28年4月	リサイクルシステム設 計論						
兼任	教授	安達 毅 ()	平成28年4月	リサイクルシステム設 計論						
兼任	講師	中村 崇 ()	平成28年4月	リサイクルシステム設 計論						
兼任	教授	神谷 修 ()	平成28年4月	自主プロジェクト I 自主プロジェクト II						
兼任	講師	細井 義孝 ()	平成28年4月	国際関係論						
兼任	講師	長谷部 光重 ()	平成28年4月	マーケティング論						
兼任	講師	佐藤 善友 ()	平成28年4月	ベンチャー起業論						
兼任	講師	佐藤 博 ()	平成28年4月	資源・工業経済論						
兼任	講師	桜井 若葉 ()	平成28年4月	資源・工業経済論						
兼任	講師	戸根谷 法雄 ()	平成28年4月	リスクマネジメント						

兼任	講師	高橋 弘毅 ()	平成28年4月	技術戦略学						
兼任	講師	水澤 春樹 ()	平成28年4月	財務・金融工学						
兼任	講師	伊藤 秀範 ()	平成28年4月	財務・金融工学						
兼任	講師	佐藤 貴幸 ()	平成28年4月	財務・金融工学						
兼任	講師	高橋 利典 ()	平成28年4月	財務・金融工学						
兼任	講師	豊島 洋之 ()	平成28年4月	財務・金融工学						
兼任	講師	森川 茂弘 ()	平成28年4月	知的財産論						
兼任	講師	谷内 宏行 ()	平成28年4月	経営戦略論						
兼任	講師	廣畑 伸雄 ()	平成28年4月	企業行動論						
兼任	准教授	角谷 浩 ()	平成28年4月	特許情報活用論	兼任	講師	齋藤 昭彦 ()	平成29年4月	特許情報活用論	平成29年4月 担当者の変更(29)
兼任	講師	田嶋 正夫 ()	平成28年4月	特許情報活用論	兼任	講師	齋藤 博子 ()	平成29年4月	特許情報活用論	平成29年4月 担当者の変更(29)
兼任	教授	藤原 憲秀 ()	平成28年4月	生命医理工学特論						
兼任	教授	伊藤 英晃 ()	平成28年4月	生命医理工学特論						
兼任	教授	涌井 秀樹 ()	平成28年4月	生命医理工学特論 医理工連携実践論						
兼任	教授	久保田 広志 ()	平成28年4月	生命医理工学特論						
兼任	教授	疋田 正喜 ()	平成28年4月	生命医理工学特論						
兼任	教授	後藤 猛 ()	平成28年4月	生命医理工学特論						
兼任	教授	水戸部 一孝 ()	平成28年4月	生命医理工学特論 医理工連携実践論						
兼任	准教授	南條 博 ()	平成28年4月	生命医理工学特論						
兼任	教授	三浦 昌朋 ()	平成28年4月	生命医理工学特論						
兼任	講師	藤島 直仁 ()	平成28年4月	生命医理工学特論						
兼任	教授	橋本 学 ()	平成28年4月	生命医理工学特論						
兼任	教授	廣川 誠 ()	平成28年4月	生命医理工学特論	兼任	助教	面川 歩 ()	平成29年4月	生命医理工学特論	平成29年4月 担当者の変更(29)
兼任	教授	安藤 秀明 ()	平成28年4月	生命医理工学特論						
兼任	教授	寺境 光俊 ()	平成28年4月	医理工連携実践論						
兼任	教授	南谷 佳弘 ()	平成28年4月	医理工連携実践論						
兼任	理事	近藤 克幸 ()	平成28年4月	医理工連携実践論						
兼任	講師	野堀 潔 ()	平成28年4月	医理工連携実践論						
兼任	講師	赤上 陽一 ()	平成28年4月	医理工連携実践論						

- (注) ・ 設置時の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には**当該学部等の就任時における満年齢**を、「**変更状況**」には**平成29年5月1日現在の満年齢**を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AO教員審査)を受けてください。**AO教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
6	4	3
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
13	9	4	0	26	12	8	4	0	24	12	8	4	0	24
(12)	(9)	(5)	(0)	(26)						[Δ1]	[Δ1]	[±0]	[±0]	[Δ2]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/		研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/		研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/	
14	12	0			20	4	0			20	4	0		
(21)	(5)	(0)								[+6]	[Δ8]	[±0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	教授	長谷川 裕晃	必修	システムデザイン工学演習	①	平成27年8月31日付けで退職（一身上）したため（28）			
			必修	システムデザイン工学課題研究	①				
			選択	実験流体力学特論	③				
2	准教授	菅原 佳城	必修	システムデザイン工学演習	①	平成28年3月31日付けで退職（一身上）したため（28）			
			必修	システムデザイン工学課題研究	①				
			選択	振動制御工学特論	③				
合計（A）				後任補充状況の集計（B）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
2	人	必修	4 科目	必修	4 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	2 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	2 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	6 科目	計	4 科目	計	0 科目	計	2 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	准教授	野老山 貴行	必修	システムデザイン工学演習	①	平成29年3月31日付けで退職（一身上）したため（29）			
			必修	システムデザイン工学課題研究	①				
			選択	機能性表面工学特論	③				
2	講師	廣瀬 圭	必修	システムデザイン工学演習	①	平成29年3月31日付けで退職（一身上）したため（29）			
			必修	システムデザイン工学課題研究	①				
			選択	計測システム学特論Ⅰ	③				
			選択	計測システム学特論Ⅱ	③				
合計（C）				後任補充状況の集計（D）					
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
2	人	必修	4 科目	必修	4 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	3 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	3 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	7 科目	計	4 科目	計	0 科目	計	3 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（A）+（C）				後任補充状況の集計（B）+（D）					
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
4	人	必修	8 科目	必修	8 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	5 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	5 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	13 科目	計	8 科目	計	0 科目	計	5 科目

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

長谷川裕晃教授の辞任について、担当科目である「システムデザイン工学演習」「システムデザイン工学課題研究」については、分担科目で他の教員で担当可能であるため、履修等への影響はない。また、選択科目の「実験流体力学特論」については、後任選考中である。

菅原佳城准教授の辞任について、担当科目である「システムデザイン工学演習」「システムデザイン工学課題研究」については、分担科目で他の教員で担当可能であるため、履修等への影響はない。また、選択科目の「振動制御工学特論」については、後任選考中である。

学生に対しては、履修案内への記載や、web機能を活用した本学独自の総合学務支援システム「a-net」へ掲載することにより、十分な周知を行った。

野老山真行准教授の辞任について、担当科目である「システムデザイン工学演習」「システムデザイン工学課題研究」については、分担科目で他の教員で担当可能であるため、履修等への影響はない。また、選択科目の「機能性表面工学特論」については、後任公募を予定している。

廣瀬 圭講師の辞任について、担当科目である「システムデザイン工学演習」「システムデザイン工学課題研究」については、分担科目で他の教員で担当可能であるため、履修等への影響はない。また、選択科目の「計測システム学特論Ⅰ」「計測システム学特論Ⅱ」については、後任公募を予定している。

学生に対しては、履修案内への記載や、web機能を活用した本学独自の総合学務支援システム「a-net」へ掲載することにより、十分な周知を行った。

(注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (28年4月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (29年2月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年2月)		改善意見	
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年2月)	・同一設置者が設置する 既設学部等(○○学科、 ●●学科)の～すること。	○○意見	

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<理工学研究科 システムデザイン工学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
 - ・ 構成大学ごとに記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>理工学研究科教育改善委員会</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px;"> <p style="text-align: right;">《関係規程等》</p> <p style="text-align: center;">秋田大学大学院理工学研究科教育改善委員会規程</p> <p>(趣旨)</p> <p>第1条 秋田大学大学院理工学研究科及び理工学部における教育及び教員の教育に関する資質の向上に関する事項並びに理工学研究科評価委員会及び企画運営会議の付託事項を検討・実施するため、理工学研究科に教育改善委員会(以下「委員会」という。)を置き、委員会に関し必要な事項は、この規程の定めるところによる。</p> <p>(審議事項)</p> <p>第2条 委員会は、次の各号に掲げる事項について審議する。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 学生及び教員による授業評価の実施等に関すること。 (2) JABEE認証の受審・更新の実施等に関すること。 (3) 教育に関する外部評価の実施に関すること。 (4) 教育改善に関わる調査・研究に関すること。 (5) FD活動の実施等に関すること。 (6) その他教育改善に関すること。 <p>(組織)</p> <p>第3条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 博士前期課程の各コース及び共同ライフサイクルデザイン工学専攻の教授または准教授各1名 (2) その他研究科長が必要と認めた者 <p>(任期)</p> <p>第4条 任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。</p> <p>(委員長及び副委員長)</p> <p>第5条 委員会に委員長を置き、学務副委員長をもって充てる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 2 委員長は、委員会を主宰する。 3 委員会に副委員長を置き、委員長が指名する。 4 委員長に事故等があるときは、副委員長がその職務を代行する。 <p>(議事)</p> <p>第6条 委員会は、委員の3分の2以上の出席がなければ開くことができない。</p> <ol style="list-style-type: none"> 2 委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。 <p>(委員以外の出席)</p> <p>第7条 委員長が必要と認めたときは、委員以外のものを委員会に出席させ、意見を聴くことができる。</p> <p>(庶務)</p> <p>第8条 委員会の庶務は、理工学研究科事務部の協力を得て、総合学務課において処理する。</p> <p>(補則)</p> <p>第9条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が定める。</p> <p>附 則</p> <p>この規程は、平成22年6月10日から施行し、平成22年4月1日から適用する。</p> <p>附 則</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 この規程は、平成26年4月1日から施行する。 2 第2条の規定は、工学資源学部が存続する間、当該学部にも適用する。 <p>附 則</p> <p>この規程は、平成26年11月1日から施行する。</p> <p>附 則</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 この規程は、平成28年4月1日から施行する。 2 第2条の規定は、工学資源学研究科が存続する間、当該研究科にも適用する。 </div>
--

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

4回開催（平成26年度実績）。8回開催（平成27年度実績）。6回開催（平成28年度実績）。
構成委員全員が参加。

c 委員会の審議事項等

上記の委員会規程第2条に定めるところによる。

② 実施状況

a 実施内容

- (1) FD・SDシンポジウムの開催
- (2) FDワークショップの開催
- (3) 教員による授業評価

b 実施方法

- (1) FDシンポジウム：発達障がいを持つ学生へのサポートをテーマに、学内の学生支援を担当している保健管理センター所長等3名の講師によるレクチャーおよび総合討論を行った。（平成26年度実績）
FD・SDシンポジウム：ルーブリック評価とeラーニングの活用をテーマに、学外の教員1名による基調講演およびeラーニングの事例紹介を行った。（平成28年度実績）
・大学教育におけるハラスメントについてをテーマに、保健管理センター所長による基調講演を行った。（平成28年度実績）
- (2) FDワークショップ：学生参加型等の授業改善をテーマに、学内外の教員3名による基調講演およびパネルディスカッション、参加者全員による授業改善計画案の作成を行った。（平成26年度実績）
・ルーブリック評価の活用と設定方法をテーマに、学外の教員1名による基調講演および参加者全員によるルーブリック課題作成を行った。（平成27年度実績）
- (3) 各学科・専攻単位に授業評価の対象科目を選定し、その科目について2名以上の教員で評価を行う。（各教員は、5年に1科目を目処に評価を受けることとしている。）

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- (1) FDシンポジウム：平成26年9月18日（木） 参加者：36名
FD・SDシンポジウム：平成28年12月6日（火） 参加者：40名
平成29年3月13日（月） 参加者：52名
- (2) FDワークショップ：平成26年12月12日（金） 参加者：33名
平成27年12月11日（金） 参加者：36名
- (3) 平成26年10月から平成27年1月までの期間で、計17科目の評価を実施した。（平成26年度実績）
平成27年6月から平成28年1月までの期間で、計16科目の評価を実施した。（平成27年度実績）
平成28年6月から平成29年1月までの期間で、計23科目の評価を実施した。（平成28年度実績）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

実施結果を踏まえ、各学科・専攻ごとに検討を行い次年度以降の授業改善に向けて取り組んでいる。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

有 前期と後期の2回、大学院及び学部の全学生を対象に実施した。（平成26, 27, 28年度実績）

b 教員や学生への公開状況、方法等

実施結果及び分析結果の総評は冊子体としてまとめ、各教員に配付している。各科目ごとの結果については当該教員に個別に通知している。学生への公開については、その方法等も含め各学科・専攻の判断に委ねている。

- (注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
・「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）
・構成大学ごとに記入してください。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

開設後2年目の状況は、順調に進んでいる。
引き続き、設置の趣旨・目的の達成に向けて取り組んでいきたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成29年度以降

b 公表方法

- ・理工学研究科のホームページから各種の情報を発信することとしている。
- ・大学で実施する自己点検・評価に基づく評価の結果については、各事業年度及び目標期間内における業務実績に係る「評価書」を作成しホームページ上等で公表している。

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成25年度に独立行政法人大学評価・学位授与機構による大学機関別認証評価及び大学機関別選択評価を受けた。現在は次回（平成31年度予定）の認証評価を受けるべく、学内で検討中である。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

- ・ 構成大学ごとに記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有) ・ (無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(平成29年7月1日公表予定)

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 秋田大学

(2) 大学名

秋田大学

(3) 大学の位置

〒010-8502

秋田県秋田市手形学園町1番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(ヤマモト フミオ) 山本 文雄 (平成28年4月)		
研究科長	(ムラオカ ミキオ) 村岡 幹夫 (平成28年4月)		
専攻長	(ナカムラ マサヒデ) 中村 雅英 (平成28年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください (入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の博士後期課程の場合 (平成29年度までの3年間) ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。 (修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称 (学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
理工学研究科 共同リサーチ・デザイン工学専攻 (博士前期課程) 修士 (工学)	工学関係	2 年	12 人	24 人	基礎となる学部等 理工学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を () 書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要 (別記様式第2号 (その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	平成28年度		平成29年度		平成 年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	12人 若干名 (若干名) [若干名]		12人 若干名 (若干名) [若干名]		() []		1.00 倍	
志願者数	16 (-) (-) [1] [-]	- (-) (-) [-] [-]	13 (-) (-) [1] [-]	- (-) (-) [-] [-]	() () [] []			
受験者数	16 (-) (-) [1] [-]	- (-) (-) [-] [-]	13 (-) (-) [1] [-]	- (-) (-) [-] [-]	() () [] []			
合格者数	15 (-) (-) [1] [-]	- (-) (-) [-] [-]	12 (-) (-) [1] [-]	- (-) (-) [-] [-]	() () [] []			
B 入学者数	12 (-) (-) [-] [-]	- (-) (-) [-] [-]	12 (-) (-) [1] [-]	- (-) (-) [-] [-]	() () [] []			
入学定員超過率 B/A	1.00		1.00					

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ [] 内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格 (いわゆる「留学ビザ」) により, 我が国の大学 (大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校 (専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期 (春季入学以外の学期区分を設けている場合) に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	平成28年度		平成29年度		平成 年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	12 [0] (-)	- [-] (-)	12 [1] (-)	- [-] (-)			
2年次	/		12 [0] (-)	- [-] (-)			
計			12 [0] (-)	24 [1] (-)			

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況**について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	12人	0人	平成28年度	0人	0人		0%
			平成29年度	0人	0人		
平成29年度 入学者	12人	0人	平成29年度	0人	0人		0%
合計	24人	0人					0%

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<理工学研究科 共同ライガクルデザイン工学専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称 開設大学		配当年次 ()表示のある科目はカー グ-制で開講す る。 ()の数は開 講時期を表 す。	単位数					専任教員等の配置					備考 「MSEコース」は医理工 連携コースを意味する。	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
共通 基礎 ・ 倫 理 関 係 科 目	地域産業アントレプレナー論	秋田大学	1後		1									兼4	オムニバス 担当者の変更(29)
	プレゼンテーション技法	秋田大学	1前		1									兼1	担当者の変更(29)
	理工学英語Ⅰ	秋田大学	1前		1									兼1	
	理工学英語Ⅱ	秋田大学	1後		1									兼1	担当者の変更(29)
	理工学英語Ⅲ	秋田大学	2前		1									兼1	
	理工学英語Ⅳ	秋田大学	2後		1									兼1	
	インターンシップⅠ	秋田大学	随時		1		2							兼8	企業等で実地研修 担当者の変更(29)
	インターンシップⅡ	秋田大学	随時		2		2							兼8	企業等で実地研修 担当者の変更(29)
	技術者倫理特論	秋田大学	1前		2									兼1	
	科学技術倫理特論	秋田大学	1後		2									兼1	
	リサイクルプロセス設計特論	秋田大学	1後		2									兼1	
	宇宙科学特論	秋田大学	1前		2									兼1	集中 担当者の変更(29)
	地震防災特論	秋田大学	1後		2									兼1	
	地域防災学特論	秋田大学	1前		2									兼1	
	古地震学特論	秋田大学	1後		2									兼1	
	地球資源成因論	秋田大学	1(1)		1									兼4	集中、オムニバス 担当者の変更(29)
	資源分離精製論	秋田大学	1通		1									兼3	集中、オムニバス
	資源化学・資源利用工学	秋田大学	1通		1									兼4	集中、オムニバス
	リサイクルシステム設計論	秋田大学	1通		1		1							兼2	集中、オムニバス
	自主プロジェクトⅠ	秋田大学	1通		1									兼1	
	自主プロジェクトⅡ	秋田大学	1通		2									兼1	
	国際関係論	秋田大学	1(1)		1									兼1	集中
	マーケティング論	秋田大学	1前		1									兼1	MOTコース対象科目
	ベンチャー起業論	秋田大学	1(2)		1									兼1	集中 MOTコース必修
	資源・工業経済論	秋田大学	1通		1									兼2	集中 MOTコース対象科目
	リスクマネジメント	秋田大学	1(2)		1									兼1	集中 MOTコース対象科目
	技術戦略学	秋田大学	1(1)		1									兼1	集中 MOTコース対象科目
	財務・金融工学	秋田大学	1通		1									兼5	オムニバス MOTコース必修
	知的財産論	秋田大学	1(3)		1									兼1	集中 MOTコース対象科目 MSEコース必修
	経営戦略論	秋田大学	1(2)		1									兼1	集中 MOTコース対象科目
	企業行動論	秋田大学	1(1)		1									兼1	集中 MOTコース対象科目
	特許情報活用論	秋田大学	1前		1									兼2	MOTコース対象科目 担当者の変更(29)
	理工学特論Ⅰ	秋田大学	1前		1		2							兼8	担当者の変更(29)
理工学特論Ⅱ	秋田大学	1後		1		2							兼8	担当者の変更(29)	
理工学デザイン	秋田大学	1後		1		2							兼8	担当者の変更(29)	
生命医理工学特論	秋田大学	1前		2									兼15	オムニバス 担当者の変更(29)	
医理工連携実践論	秋田大学	1(2)		1									兼8	集中、オムニバス	

共通基礎・倫理関係科目	プレゼンテーション	秋田県立大学	1後		2							兼3	オムニバス	
	実践英語A	秋田県立大学	1前		2							兼1		
	英語プレゼンテーションA	秋田県立大学	1後		2							兼1		
	風土・文化構造論	秋田県立大学	1・2前		2							兼1	隔年開講科目	
	科学技術と倫理	秋田県立大学	1・2前		2							兼1	隔年開講科目	
	感性情報と環境の心理	秋田県立大学	1・2前		2							兼1	隔年開講科目	
	地域社会と家族	秋田県立大学	1・2後		2							兼1	隔年開講科目	
	生体情報と運動の生理	秋田県立大学	1・2前		2							兼1	隔年開講科目	
	フィールドワークA(実践科目)	秋田県立大学	1・2通		2							兼1		
	フィールドワークB(実践科目)	秋田県立大学	1・2通		2							兼1		
	知的所有権論A	秋田県立大学	1前		2							兼5	オムニバス	
	標準化論A	秋田県立大学	1後		2			2				兼2	オムニバス	
	信頼性工学A	秋田県立大学	1前		2							兼4	オムニバス	
	失敗工学A	秋田県立大学	1後		2							兼3	オムニバス	
	インターンシップ	秋田県立大学	1前			2						兼1		
専門科目	ライフサイクルデザイン工学基礎	秋田大学	1・2前	2			1							
	ライフサイクルデザイン工学特論	秋田大学	1・2後		2							兼1		
	熱流体エネルギー移動・変換工学	秋田大学	1・2後		2		1							
	電磁エネルギー変換工学	秋田大学	1・2前		2		1							
	マイクロ加工工学特論	秋田大学	1・2前		2			1						
	先端機能材料学特論	秋田大学	1・2後		2			1						
	応用物性学	秋田大学	1・2前		2			1						
	ライフサイクルデザイン工学特別講義Ⅰ	秋田大学	1後		1							兼1		
	ライフサイクルデザイン工学特別講義Ⅱ	秋田大学	2前		1							兼1		
	地域産業論	秋田大学	1後		2		1							
	電子デバイス工学	秋田大学	1・2後		2							兼1		
	電子制御機械工学特論	秋田大学	1・2後		2							兼1		
	岩盤工学特論Ⅰ	秋田大学	1・2後		2							兼1		
	資源経済学特論	秋田大学	1・2前		2							兼1		
	都市システム計画特論	秋田大学	1・2前		2							兼1		
	ライフサイクルデザイン工学セミナー	秋田大学 秋田県立大学	1通	2			3 1	3 4						
	ライフサイクルデザイン工学特別研究	秋田大学 秋田県立大学	1~2通	8			3 1	3 4						
	ライフサイクルプランニング基礎	秋田県立大学	1前	2				2				兼3	オムニバス	
	ライフサイクルアセスメント	秋田県立大学	1前		2			1						
	次世代自動車工学	秋田県立大学	1後		2		1							
環境電磁工学	秋田県立大学	1前		2			1							
都市環境論	秋田県立大学	1後		2			1				兼1	オムニバス		
ライフサイクルデザイン製品技術論	秋田県立大学	1後		2							兼1			

専門科目	環境型生産管理論	秋田県立大学	1後		2						兼1
	音環境工学	秋田県立大学	1後		2						兼1
	環境・エネルギー工学	秋田県立大学	1前		2						兼1

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
科目 4	科目 73	科目 1	科目 78	科目 4 [±0]	科目 73 [±0]	科目 1 [±0]	科目 78 [±0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1		該当なし				
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1		該当なし				
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{78} = \boxed{} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位までを記入してください。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
	校舎敷地	258,144 m ²	0 m ²	0 m ²	258,144 m ²			
	運動場用地	76,253 m ²	0 m ²	0 m ²	76,253 m ²			
	小 計	334,397 m ²	0 m ²	0 m ²	334,397 m ²			
	そ の 他	104,058 m ²	0 m ²	0 m ²	104,058 m ²			
	合 計	438,455 m ²	0 m ²	0 m ²	438,455 m ²			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
		132,654 m ² (132,654 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	132,654 m ² (132,654 m ²)			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
	99 室	130 室	543 室	14 室 (補助職員 4 人)	6 室 (補助職員 1 人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数				
		理工学研究科 共同ライフサイクルデザイン専攻		6 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体での共用分を含む
	理工学研究科	443,662 [115,105] (427,382 [113,216])	9,572 [2,715] (9,572 [2,715])	6,850 [5,400] (6,850 [5,400])	3,071 (2,893)	6,341 (6,341)	19,370 (19,170)	
	計	443,662 [115,105] (427,382 [113,216])	9,572 [2,715] (9,572 [2,715])	6,850 [5,400] (6,850 [5,400])	3,071 (2,893)	6,341 (6,341)	19,370 (19,170)	
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
	6,321 m ²		652		582,537			
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				大学全体	
	7,908 m ²		陸上競技場, 野球場, 多目的運動場, テニスコート, プール					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等	— 千円	— 千円	図書購入費	— 千円	— 千円	— 千円
	共 同 研 究 費 等	— 千円	— 千円	設備購入費	— 千円	— 千円	— 千円	
	学生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次	
		— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA/C対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	秋田大学							備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地
≪AC対象学部等≫	年	人	年次人	人		倍		
国際資源学部								秋田市手形学園町1番1号
国際資源学科	4	120	—	480	学士 (資源学)	1.02	平成26	
教育文化学部								秋田市手形学園町1番1号
学校教育課程	4	110	—	440	学士 (学校教育)	1.04	平成10	平成26年度入学定員増(10人) 平成26年度より学生募集停止
地域文化学科	4	100	—	400	学士 (地域文化)	1.02	平成26	
地域科学課程	4	—	—	—	学士 (地域科学)	—	平成10	
国際言語文化課程	4	—	—	—	学士 (国際言語文化)	—	平成10	
人間環境課程	4	—	—	—	学士 (人間環境)	—	平成10	
医学部								秋田市本道一丁目1の1
医学科	6	124	2年次5	759	学士 (医学)	1.00	昭和45	平成27年度入学定員増(2人)
保健学科	4	106	3年次14	452	学士 (保健学) 学士 (看護学)	1.05	平成14	
理工学部								秋田市手形学園町1番1号
生命科学科	4	45	—	180	学士 (理学)	0.99	平成26	平成26年度より学生募集停止
物質科学科	4	110	—	440	学士 (理工学)	1.02	平成26	
数理・電気電子情報学科	4	120	—	480	学士 (理学)	1.07	平成26	
システムデザイン工学科	4	120	—	480	学士 (工学)	1.09	平成26	
各学科共通			3年次12	12				
工学資源学部								秋田市手形学園町1番1号
地球資源学科	4	—	—	—	学士 (資源学)	—	平成10	平成26年度より学生募集停止
環境応用化学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成20	
生命化学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成20	
材料工学科	4	—	—	—	学士 (理学) 学士 (工学)	—	平成10	
情報工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成10	
機械工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成10	
電気電子工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成10	
土木環境工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成10	
各学科共通			3年次12	—				

大学院国際資源学研究所 (博士前期課程)								秋田市手形学園町1番1号	
資源地球科学専攻	2	17	—	34	修士 (資源学)	0.82	平成28		
資源開発環境学専攻	2	23	—	46	修士 (資源学) 修士 (工学)	0.71	平成28		
(博士後期課程)									
資源学専攻	3	10	—	20	博士 (資源学) 博士 (工学) 博士 (理学)	0.65	平成28		
大学院教育学研究所 (修士課程)								秋田市手形学園町1番1号	
心理教育実践専攻	2	6	—	12	修士 (教育学)	1.08	平成28		平成28年度より 学生募集停止
学校教育専攻	2	—	—	—	修士 (教育学)	—	平成元		
教科教育専攻	2	—	—	—	修士 (教育学)	—	平成元		
(専門職学位課程)									
教職実践専攻	2	20	—	40	教職修士 (専門職)	1.12	平成28		
大学院医学系研究所 (修士課程)								秋田市本道一丁目1の1	
医科学専攻	2	5	—	10	修士 (医科学)	0.30	平成19		
(博士前期課程)									
保健学専攻	2	12	—	24	修士 (看護学) 修士 (リハビリテー ション科学)	1.04	平成19		
(博士後期課程)									
保健学専攻	3	3	—	9	博士 (保健学)	1.11	平成21		
(博士課程)									
医学専攻	4	30	—	120	博士 (医学)	0.97	平成19		
大学院理工学研究所 (博士前期課程)								秋田市手形学園町1番1号	
生命科学専攻	2	15	—	30	修士 (理学)	0.76	平成28		
物質科学専攻	2	42	—	84	修士 (理工学)	0.79	平成28		
数理・電気電子 情報学専攻	2	45	—	90	修士 (理学) 修士 (工学)	1.07	平成28		
システムデザイン 工学専攻	2	36	—	72	修士 (工学)	0.97	平成28		
共同ライフサイクル デザイン工学専攻	2	12	—	24	修士 (工学)	1.00	平成28		

(博士後期課程)												
総合理工学専攻	3	10	—	20	博士 (理学) 博士 (理工学) 博士 (工学)	1.05	平成28					
大学院工学資源学研究所 (博士前期課程)								秋田市手形学園町1番1号				
地球資源学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成14					
環境応用化学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成24					
生命科学専攻	2	—	—	—	修士 (理学)	—	平成24					
材料工学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成14					
情報工学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成14					
機械工学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成14					
電気電子工学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成14					
土木環境工学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成14					
共同ライフサイクル デザイン工学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成24					
(博士後期課程)												
資源学専攻	3	—	—	—	博士 (工学)	—	平成14					
生命科学専攻	3	—	—	—	博士 (理学)	—	平成26					
機能物質工学専攻	3	—	—	—	博士 (工学)	—	平成14					
生産・建設工学専攻	3	—	—	—	博士 (工学)	—	平成14					
電気電子情報 システム工学専攻	3	—	—	—	博士 (工学)	—	平成14					

平成28年度より
学生募集停止

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(A・C対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・A・C対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<理工学研究科 共同ライフサイクルデザイン工学専攻（博士前期課程）>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	中村 雅英 ()	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップⅠ インターンシップⅡ 理工学特論Ⅰ 理工学特論Ⅱ 熱流体エネルギー移動・変換工学 地域産業論 ライフサイクルデザイン工学セミナー ライフサイクルデザイン工学特別研究						
専	教授	田島 克文 ()	平成28年4月	電磁エネルギー変換工学 ライフサイクルデザイン工学セミナー ライフサイクルデザイン工学特別研究						
専	教授	三島 望 ()	平成28年4月	ライフサイクルデザイン工学基礎 ライフサイクルデザイン工学セミナー ライフサイクルデザイン工学特別研究 リサイクルシステム設計論						
専	准教授	高橋 護 ()	平成28年4月	マイクロ加工学特論 ライフサイクルデザイン工学セミナー ライフサイクルデザイン工学特別研究						
専	准教授	山口 邦彦 ()	平成28年4月	応用物性学 ライフサイクルデザイン工学セミナー ライフサイクルデザイン工学特別研究						
専	准教授	魯 小葉 ()	平成28年4月	先端機能材料学特論 ライフサイクルデザイン工学セミナー ライフサイクルデザイン工学特別研究						
兼任	教授	堀口 誠二 ()	平成28年4月	電子デバイス工学						
兼任	講師	関 健史 ()	平成28年4月	電子制御機械工学特論						
兼任	教授	今井 忠男 ()	平成28年4月	岩盤工学特論Ⅰ						
兼任	教授	安達 毅 ()	平成28年4月	資源経済学特論 リサイクルシステム設計論						
兼任	准教授	日野 智 ()	平成28年4月	都市システム計画特論						
兼任	教授	佐藤 正志 ()	平成28年4月	ライフサイクルデザイン工学特論						
兼任	講師	対馬 雅己 ()	平成28年4月	ライフサイクルデザイン工学特別講義Ⅰ						
兼任	講師	大木 達哉 ()	平成28年4月	ライフサイクルデザイン工学特別講義Ⅱ						
兼任	教授	尾高 雅文 ()	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップⅠ インターンシップⅡ 理工学特論Ⅰ 理工学特論Ⅱ 生命医理工学特論						

兼任	教授	村上 賢治 ()	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップ I インターンシップ II 理工学特論 I 理工学特論 II						
兼任	教授	原 基 ()	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップ I インターンシップ II 理工学特論 I 理工学特論 II	兼任	教授	麻生 節夫 ()	平成29年4月	理工学デザイン インターンシップ I インターンシップ II 理工学特論 I 理工学特論 II	平成29年4月 担当者の変更 (29)
兼任	教授	河上 肇 ()	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップ I インターンシップ II 理工学特論 I 理工学特論 II						
兼任	教授	今野 和彦 ()	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップ I インターンシップ II 理工学特論 I 理工学特論 II	兼任	教授	倉林 徹 ()	平成29年4月	理工学デザイン インターンシップ I インターンシップ II 理工学特論 I 理工学特論 II	平成29年4月 担当者の変更 (29)
兼任	教授	景山 陽一 ()	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップ I インターンシップ II 理工学特論 I 理工学特論 II 生命医理工学特論	兼任	教授	水戸部 一孝 ()	平成29年4月	理工学デザイン インターンシップ I インターンシップ II 理工学特論 I 理工学特論 II	平成29年4月 担当者の変更 (29)
兼任	教授	奥山 栄樹 ()	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップ I インターンシップ II 理工学特論 I 理工学特論 II						
兼任	教授	足立 高弘 ()	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップ I インターンシップ II 理工学特論 I 理工学特論 II						
兼任	教授	濱岡 秀勝 ()	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップ I インターンシップ II 理工学特論 I 理工学特論 II						
兼任	講師	真田 慎 ()	平成28年4月	地域産業アントレプレナー 論						
兼任	寄附講座 准教授	今野 道人 ()	平成28年4月	地域産業アントレプレナー 論	兼任	講師	泰松 齊 ()	平成29年4月	地域産業アントレプレ ナー論	平成29年4月 担当者の変更 (29)
兼任	講師	村上 信博 ()	平成28年4月	地域産業アントレプレナー 論						
兼任	講師	星 則幸 ()	平成28年4月	地域産業アントレプレナー 論						
兼任	講師	SIM Malcolm Shane ()	平成28年4月	プレゼンテーション技法	兼任	講師	ジョー サイクス Joe SYKES ()	平成29年4月	プレゼンテーション技法	平成29年4月 担当者の変更 (29)
兼任	准教授	ABADZHIEVA EMILIYA ()	平成28年4月	理工学英語 I Introduction to Systems Design Engineering (システムデザイン工学概 論)						
兼任	講師	SELIN PAVEL ()	平成28年4月	理工学英語 III						
兼任	准教授	GRAVE EWA MALGORZATA ()	平成28年4月	理工学英語 II 理工学英語 IV	兼任	准教授	WATTERS EAMON PATRICK JOHN ()	平成28年10月	理工学英語 II	平成28年10月 担当者の変更 (29)
兼任	教授	銭谷 秋生 ()	平成28年4月	技術者倫理特論 科学技術倫理特論						
兼任	寄附講座 准教授	川村 茂 ()	平成28年4月	リサイクルプロセス設計特 論						
兼任	講師	和田 豊 ()	平成28年4月	宇宙科学特論	兼任	講師	阿部 琢美 ()	平成29年10月	宇宙科学特論	平成29年10月 担当者の変更 (29)
兼任	教授	水田 敏彦 ()	平成28年4月	地震防災特論 地域防災学特論						
兼任	特任 准教授	鎌滝 孝信 ()	平成28年4月	古地震学特論						

兼任	教授	石山 大三 ()	平成28年4月	地球資源成因論						
兼任	教授	岩田 吉弘 ()	平成28年4月	地球資源成因論						
兼任	教授	柴山 敦 ()	平成28年4月	地球資源成因論 資源分離精製論						
兼任	教授	水田 敏夫 ()	平成28年4月	地球資源成因論	兼任	教授	渡辺 寧 ()	平成29年4月	地球資源成因論	平成29年4月 担当者の変更(29)
兼任	講師	大和田 秀二 ()	平成28年4月	資源分離精製論						
兼任	准教授	高崎 康志 ()	平成28年4月	資源分離精製論						
兼任	教授	進藤 隆世志 ()	平成28年4月	資源化学・資源利用工学						
兼任	教授	村上 賢治 ()	平成28年4月	資源化学・資源利用工学						
兼任	准教授	布田 潔 ()	平成28年4月	資源化学・資源利用工学						
兼任	講師	藤田 豊久 ()	平成28年4月	資源化学・資源利用工学						
兼任	講師	中村 崇 ()	平成28年4月	リサイクルシステム設計論						
兼任	教授	神谷 修 ()	平成28年4月	自主プロジェクトⅠ 自主プロジェクトⅡ						
兼任	講師	細井 義孝 ()	平成28年4月	国際関係論						
兼任	講師	長谷部 光重 ()	平成28年4月	マーケティング論						
兼任	講師	佐藤 善友 ()	平成28年4月	ベンチャー起業論						
兼任	講師	佐藤 博 ()	平成28年4月	資源・工業経済論						
兼任	講師	桜井 若葉 ()	平成28年4月	資源・工業経済論						
兼任	講師	戸根谷 法雄 ()	平成28年4月	リスクマネジメント						
兼任	講師	高橋 弘毅 ()	平成28年4月	技術戦略学						
兼任	講師	水澤 春樹 ()	平成28年4月	財務・金融工学						
兼任	講師	伊藤 秀範 ()	平成28年4月	財務・金融工学						
兼任	講師	佐藤 貴幸 ()	平成28年4月	財務・金融工学						
兼任	講師	高橋 利典 ()	平成28年4月	財務・金融工学						
兼任	講師	豊島 洋之 ()	平成28年4月	財務・金融工学						
兼任	講師	森川 茂弘 ()	平成28年4月	知的財産論						
兼任	講師	谷内 宏行 ()	平成28年4月	経営戦略論						
兼任	講師	廣畑 伸雄 ()	平成28年4月	企業行動論						
兼任	准教授	角谷 浩 ()	平成28年4月	特許情報活用論	兼任	講師	齋藤 昭彦 ()	平成29年4月	特許情報活用論	平成29年4月 担当者の変更(29)
兼任	講師	田嶋 正夫 ()	平成28年4月	特許情報活用論	兼任	講師	齋藤 博子 ()	平成29年4月	特許情報活用論	平成29年4月 担当者の変更(29)

兼任	教授	藤原 憲秀 ()	平成28年4月	生命医理工学特論						
兼任	教授	伊藤 英晃 ()	平成28年4月	生命医理工学特論						
兼任	教授	涌井 秀樹 ()	平成28年4月	生命医理工学特論 医理工連携実践論						
兼任	教授	久保田 広志 ()	平成28年4月	生命医理工学特論						
兼任	教授	疋田 正喜 ()	平成28年4月	生命医理工学特論						
兼任	教授	後藤 猛 ()	平成28年4月	生命医理工学特論						
兼任	教授	水戸部 一孝 ()	平成28年4月	生命医理工学特論 医理工連携実践論						
兼任	教授	長縄 明大 ()	平成28年4月	生命医理工学特論 医理工連携実践論						
兼任	教授	巖見 武裕 ()	平成28年4月	生命医理工学特論						
兼任	准教授	南條 博 ()	平成28年4月	生命医理工学特論						
兼任	教授	三浦 昌朋 ()	平成28年4月	生命医理工学特論						
兼任	講師	藤島 直仁 ()	平成28年4月	生命医理工学特論						
兼任	教授	橋本 学 ()	平成28年4月	生命医理工学特論						
兼任	教授	廣川 誠 ()	平成28年4月	生命医理工学特論	兼任	助教	面川 歩 ()	平成29年4月	生命医理工学特論	平成29年4月 担当者の変更(29)
兼任	教授	安藤 秀明 ()	平成28年4月	生命医理工学特論						
兼任	教授	寺境 光俊 ()	平成28年4月	医理工連携実践論						
兼任	教授	南谷 佳弘 ()	平成28年4月	医理工連携実践論						
兼任	理事	近藤 克幸 ()	平成28年4月	医理工連携実践論						
兼任	講師	野堀 深 ()	平成28年4月	医理工連携実践論						
兼任	講師	赤上 陽一 ()	平成28年4月	医理工連携実践論						

(注) ・ 設置時の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
- ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には**当該学部等の就任時における満年齢**を、「**変更状況**」には**平成29年5月1日現在の満年齢**を記入してください。
- ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
- ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
3	2	2
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
3	3	0	0	6	3	3	0	0	6	3	3	0	0	6
(3)	(3)	(0)	(0)	(6)						[±0]	[±0]	[±0]	[±0]	[±0]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
5	1	0			5	1	0			5	1	0		
(5)	(1)	(0)								[±0]	[±0]	[±0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

(秋田大学)

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
1	教授	該当なし	必修	〇〇概論	①	……………のため就任辞退（27）	
			選択	◆◆基礎	②		
			必修	☆☆演習	③		
2	准教授	△△ △△	自由	××語	②	……………のため就任辞退（29）	
			必修	▲▲実習	③		
			必修	◇◇特論	①		
合計（A）				後任補充状況の集計（B）			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
〇〇	人	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目
		選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目
		自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目
		計	〇〇 科目	計	〇〇 科目	計	〇〇 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1	教授	該当なし	必修	〇〇概論	①	……………のため辞任（27）	
			選択	◆◆基礎	②		
			必修	☆☆演習	③		
2	准教授	△△ △△	自由	××語	②	……………のため辞任（29）	
			必修	▲▲実習	③		
			必修	◇◇特論	①		
合計（C）				後任補充状況の集計（D）			
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
〇〇	人	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目
		選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目
		自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目
		計	〇〇 科目	計	〇〇 科目	計	〇〇 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（A）+（C）				後任補充状況の集計（B）+（D）			
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
〇〇	人	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目
		選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目
		自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目
		計	〇〇 科目	計	〇〇 科目	計	〇〇 科目

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (28年4月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (29年2月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年2月)		改善意見	
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年2月)	・同一設置者が設置する 既設学部等(○○学科、 ●●学科)の～すること。	○○意見	

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<理工学研究科 共同ライフサイクルデザイン工学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
 - ・ 構成大学ごとに記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>理工学研究科教育改善委員会</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px;"> <p style="text-align: right;">《関係規程等》</p> <p style="text-align: center;">秋田大学大学院理工学研究科教育改善委員会規程</p> <p>(趣旨)</p> <p>第1条 秋田大学大学院理工学研究科及び理工学部における教育及び教員の教育に関する資質の向上に関する事項並びに理工学研究科評価委員会及び企画運営会議の付託事項を検討・実施するため、理工学研究科に教育改善委員会(以下「委員会」という。)を置き、委員会に関し必要な事項は、この規程の定めるところによる。</p> <p>(審議事項)</p> <p>第2条 委員会は、次の各号に掲げる事項について審議する。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 学生及び教員による授業評価の実施等に関すること。 (2) JABEE認証の受審・更新の実施等に関すること。 (3) 教育に関する外部評価の実施に関すること。 (4) 教育改善に関わる調査・研究に関すること。 (5) FD活動の実施等に関すること。 (6) その他教育改善に関すること。 <p>(組織)</p> <p>第3条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 博士前期課程の各コース及び共同ライフサイクルデザイン工学専攻の教授または准教授各1名 (2) その他研究科長が必要と認めた者 <p>(任期)</p> <p>第4条 任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。</p> <p>(委員長及び副委員長)</p> <p>第5条 委員会に委員長を置き、学務副委員長をもって充てる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 2 委員長は、委員会を主宰する。 3 委員会に副委員長を置き、委員長が指名する。 4 委員長に事故等があるときは、副委員長がその職務を代行する。 <p>(議事)</p> <p>第6条 委員会は、委員の3分の2以上の出席がなければ開くことができない。</p> <ol style="list-style-type: none"> 2 委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。 <p>(委員以外の出席)</p> <p>第7条 委員長が必要と認めたときは、委員以外のものを委員会に出席させ、意見を聴くことができる。</p> <p>(庶務)</p> <p>第8条 委員会の庶務は、理工学研究科事務部の協力を得て、総合学務課において処理する。</p> <p>(補則)</p> <p>第9条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が定める。</p> <p>附 則</p> <p>この規程は、平成22年6月10日から施行し、平成22年4月1日から適用する。</p> <p>附 則</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 この規程は、平成26年4月1日から施行する。 2 第2条の規定は、工学資源学部が存続する間、当該学部には適用する。 <p>附 則</p> <p>この規程は、平成26年11月1日から施行する。</p> <p>附 則</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 この規程は、平成28年4月1日から施行する。 2 第2条の規定は、工学資源学研究科が存続する間、当該研究科に適用する。 </div>

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

4回開催（平成26年度実績）。8回開催（平成27年度実績）。6回開催（平成28年度実績）。
構成委員全員が参加。

c 委員会の審議事項等

上記の委員会規程第2条に定めるところによる。

② 実施状況

a 実施内容

- (1) FD・SDシンポジウムの開催
- (2) FDワークショップの開催
- (3) 教員による授業評価

b 実施方法

- (1) FDシンポジウム：発達障がいを持つ学生へのサポートをテーマに、学内の学生支援を担当している保健管理センター所長等3名の講師によるレクチャーおよび総合討論を行った。（平成26年度実績）
FD・SDシンポジウム：ルーブリック評価とeラーニングの活用をテーマに、学外の教員1名による基調講演およびeラーニングの事例紹介を行った。（平成28年度実績）
・大学教育におけるハラスメントについてをテーマに、保健管理センター所長による基調講演を行った。（平成28年度実績）
- (2) FDワークショップ：学生参加型等の授業改善をテーマに、学内外の教員3名による基調講演およびパネルディスカッション、参加者全員による授業改善計画案の作成を行った。（平成26年度実績）
・ルーブリック評価の活用と設定方法をテーマに、学外の教員1名による基調講演および参加者全員によるルーブリック課題作成を行った。（平成27年度実績）
- (3) 各学科・専攻単位に授業評価の対象科目を選定し、その科目について2名以上の教員で評価を行う。（各教員は、5年に1科目を目処に評価を受けることとしている。）

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- (1) FDシンポジウム：平成26年9月18日（木） 参加者：36名
FD・SDシンポジウム：平成28年12月6日（火） 参加者：40名
平成29年3月13日（月） 参加者：52名
- (2) FDワークショップ：平成26年12月12日（金） 参加者：33名
平成27年12月11日（金） 参加者：36名
- (3) 平成26年10月から平成27年1月までの期間で、計17科目の評価を実施した。（平成26年度実績）
平成27年6月から平成28年1月までの期間で、計16科目の評価を実施した。（平成27年度実績）
平成28年6月から平成29年1月までの期間で、計23科目の評価を実施した。（平成28年度実績）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

実施結果を踏まえ、各学科・専攻ごとに検討を行い次年度以降の授業改善に向けて取り組んでいる。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

有 前期と後期の2回、大学院及び学部の全学生を対象に実施した。（平成26, 27, 28年度実績）

b 教員や学生への公開状況、方法等

実施結果及び分析結果の総評は冊子体としてまとめ、各教員に配付している。各科目ごとの結果については当該教員に個別に通知している。学生への公開については、その方法等も含め各学科・専攻の判断に委ねている。

- (注) ・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
・「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）
・構成大学ごとに記入してください。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

開設後2年目の状況は、順調に進んでいる。
引き続き、設置の趣旨・目的の達成に向けて取り組んでいきたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成29年度以降

b 公表方法

- ・理工学研究科のホームページから各種の情報を発信することとしている。
- ・大学で実施する自己点検・評価に基づく評価の結果については、各事業年度及び目標期間内における業務実績に係る「評価書」を作成しホームページ上等で公表している。

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成25年度に独立行政法人大学評価・学位授与機構による大学機関別認証評価及び大学機関別選択評価を受けた。現在は次回（平成31年度予定）の認証評価を受けるべく、学内で検討中である。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

- ・ 構成大学ごとに記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(平成29年7月1日公表予定)

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 秋田大学

(2) 大学名

秋田大学

(3) 大学の位置

〒010-8502
秋田県秋田市手形学園町1番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(ヤマモト フミオ) 山本 文雄 (平成28年4月)		
研究科長 専攻長	(ムラオカ ミキオ) 村岡 幹夫 (平成28年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)
平成29年度に報告する内容 → (29)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください (入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の博士後期課程の場合 (平成29年度までの3年間) ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。 (修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称 (学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
理工学研究科 総合理工学専攻 (博士後期課程) 博士 (理学) 博士 (理工学) 博士 (工学)	理学関係 工学関係	3年	10人	30人	基礎となる学部等 理工学研究科 (博士前期課程)

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を () 書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要 (別記様式第2号 (その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	10人 (若干名) [若干名]	若干名	10人 (若干名) [若干名]		人 () []		1.05 倍	
志願者数	9 (4) [1]	4 (3) [-]	10 (1) [-]	— (—) [-]	() () []	() () []		
受験者数	9 (4) [1]	4 (3) [-]	10 (1) [-]	— (—) [-]	() () []	() () []		
合格者数	9 (4) [1]	4 (3) [-]	10 (1) [-]	— (—) [-]	() () []	() () []		
B 入学者数	8 (4) [1]	4 (3) [-]	9 (1) [-]	— (—) [-]	() () []	() () []		
入学定員超過率 B/A	1.20		0.90					

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 社会人の状況について **内数** で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ [] 内には, 留学生の状況について **内数** で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格 (いわゆる「留学ビザ」) により, 我が国の大学 (大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校 (専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期 (春季入学以外の学期区分を設けている場合) に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出** してください。なお, 計算の際は **小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入** してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度 学 年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	8 [1] (-)	4 [-] (-)	9 [0] (-)	4 [-] (-)			
2年次	/		7 [1] (-)	- [-] (-)			
3年次			/				
計	12 [1] (-)				20 [1] (-)		

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況について、内数で記入してください。**該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	8人	1人	平成28年度	1人	0人	就職(1人)	12.50%
			平成29年度	0人	0人		
			平成30年度	人	人		
平成29年度 入学者	9人	0人	平成29年度	0人	0人		0%
			平成30年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	人	平成30年度	人	人		%
合計	17人	1人					5.88%

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<理工学研究科 総合理工学専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次 ()表示のある科目は クォーター制で開講する。 ()の数は開講時期を表す。	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	グラントプロポーザル論	1前 1後		1		6 7	0 1					オムニバス カリキュラム編成調整による開講期の変更(28) 当初予定から担当教員減員(28)
	長期インターンシップ	随時		2		10						担当者の変更(29)
	短期インターンシップ	随時		1		10						担当者の変更(29)
	学際領域セミナー	随時	1			42 43	16 17 15	2 1				担当教員の追加等(28) 担当教員減員(29)
	英語スキルアップセミナー	1・2・3	1									兼4 兼3 兼1 オムニバス 当初予定から担当教員減員(28) 担当教員の追加(29)
	総合理工学特別演習	3通	1			42 43	31 32 29	2 1				担当教員の追加等(28) 担当教員減員(29)
	総合理工学論文研究	1~3通	4			42 43	31 32 29	2 1				担当教員の追加等(28) 担当教員減員(29)
専門科目	生命機能電気学Ⅰ	1・2・3(1)		1			1					
	生命機能電気学Ⅱ	1・2・3(2)		1			1					
	計算分子設計学Ⅰ	1・2・3(3)		1			1					
	計算分子設計学Ⅱ	1・2・3(4)		1			1					
	天然物合成化学Ⅰ	1・2・3(1)		1		1						教育課程の充実を図るため科目を追加(28)
	天然物合成化学Ⅱ	1・2・3(2)		1		1						教育課程の充実を図るため科目を追加(28)
	生命超分子化学Ⅰ	1・2・3(1)		1				1				
	生命超分子化学Ⅱ	1・2・3(2)		1				1				
	分光分析化学Ⅰ	1・2・3(3)		1		4		1				担当教員の変更(28)
	分光分析化学Ⅱ	1・2・3(4)		1		4		1				担当教員の変更(28)
	生体分子分析科学Ⅰ	1・2・3(1)		1		1						
	生体分子分析科学Ⅱ	1・2・3(2)		1		1						
	分子生物化学Ⅰ	1・2・3(3)		1		1						
	分子生物化学Ⅱ	1・2・3(4)		1		1						
	細胞分子機能学Ⅰ	1・2・3(1)		1		1						
	細胞分子機能学Ⅱ	1・2・3(2)		1		1						
	分子細胞制御学Ⅰ	1・2・3(1)		1		1						教育課程の充実を図るため科目を追加(29)
	分子細胞制御学Ⅱ	1・2・3(3)		1		1						教育課程の充実を図るため科目を追加(29)
	疾患分子生物学Ⅰ	1・2・3(3)		1		1						
	疾患分子生物学Ⅱ	1・2・3(4)		1		1						
分子適応生命科学Ⅰ	1・2・3(1)		1			1						
分子適応生命科学Ⅱ	1・2・3(2)		1			1						
先端生命科学Ⅰ	1・2・3(3)	1			6 4	3	2 1				オムニバス 担当教員の追加(28)	
先端生命科学Ⅱ	1・2・3(4)	1			6 4	3	2 1				オムニバス 担当教員の追加(28)	

専 門 科 目	物 質 科 学 領 域	有機機能材料学Ⅰ	1・2・3(1)	1	1				
		有機機能材料学Ⅱ	1・2・3(2)	1	1				
		触媒プロセス工学Ⅰ	1・2・3(3)	1	1				
		触媒プロセス工学Ⅱ	1・2・3(4)	1	1				
		炭素資源変換工学Ⅰ	1・2・3(1)	1	1				
		炭素資源変換工学Ⅱ	1・2・3(2)	1	1				
		資源応用物理化学Ⅰ	1・2・3(3)	1		1			
		資源応用物理化学Ⅱ	1・2・3(4)	1		1			
		無機機能材料学Ⅰ	1・2・3(1)	1		1			
		無機機能材料学Ⅱ	1・2・3(2)	1		1			
		化学プロセス設計工学Ⅰ	1・2・3(3)	1		4			後任選考中(28)
		化学プロセス設計工学Ⅱ	1・2・3(4)	1		4			後任選考中(28)
		エネルギープロセス工学Ⅰ	1・2・3(1)	1		1			
		エネルギープロセス工学Ⅱ	1・2・3(2)	1		1			
		電気化学プロセスⅠ	1・2・3(3)	1			1		教育課程の充実を図るため科目を追加(29)
		電気化学プロセスⅡ	1・2・3(4)	1			1		教育課程の充実を図るため科目を追加(29)
		生物プロセス工学Ⅰ	1・2・3(3)	1		1			
		生物プロセス工学Ⅱ	1・2・3(4)	1		1			
		分離プロセス設計学Ⅰ	1・2・3(1)	1			1		
		分離プロセス設計学Ⅱ	1・2・3(2)	1			1		
		回折結晶学Ⅰ	1・2・3(1)	1		1			
		回折結晶学Ⅱ	1・2・3(2)	1		1			
		固体分光学Ⅰ	1・2・3(3)	1		1			
		固体分光学Ⅱ	1・2・3(4)	1		1			
		磁性材料工学Ⅰ	1・2・3(1)	1		1			
		磁性材料工学Ⅱ	1・2・3(2)	1		1			
		磁性薄膜工学Ⅰ	1・2・3(3)	1			1		
		磁性薄膜工学Ⅱ	1・2・3(4)	1			1		
		表面物性化学Ⅰ	1・2・3(3)	1		1			
		表面物性化学Ⅱ	1・2・3(4)	1		1			
		電極反応工学Ⅰ	1・2・3(1)	1		1			
		電極反応工学Ⅱ	1・2・3(2)	1		1			
		高温反応設計学Ⅰ	1・2・3(3)	1			1		
		高温反応設計学Ⅱ	1・2・3(4)	1			1		
		無機構造材料学Ⅰ	1・2・3(1)	1			1		
		無機構造材料学Ⅱ	1・2・3(2)	1			1		
		界面制御工学Ⅰ	1・2・3(3)	1			1		
		界面制御工学Ⅱ	1・2・3(4)	1			1		
		構造材料物性学Ⅰ	1・2・3(1)	1			1		
		構造材料物性学Ⅱ	1・2・3(2)	1			1		
		凝固プロセス工学Ⅰ	1・2・3(3)	1		1			
		凝固プロセス工学Ⅱ	1・2・3(4)	1		1			
		先端無機材料設計学Ⅰ	1・2・3(3)	1		1			
		先端無機材料設計学Ⅱ	1・2・3(4)	1		1			
		応用弾塑性力学Ⅰ	1・2・3(1)	1		1			
応用弾塑性力学Ⅱ	1・2・3(2)	1		1					
超伝導材料プロセス学Ⅰ	1・2・3(3)	1			1				
超伝導材料プロセス学Ⅱ	1・2・3(4)	1			1				
数 理 ・ 電 気 電 子 情 報 学 領 域	理 学 系	代数学特論Ⅶ	1・2・3(1)	1		1			
		代数学特論Ⅷ	1・2・3(3)	1		1			
		幾何学特論Ⅴ	1・2・3(2)	1			1		
		幾何学特論Ⅵ	1・2・3(4)	1			1		
		解析学特論Ⅶ	1・2・3(1)	1		1			
		解析学特論Ⅷ	1・2・3(3)	1		1			
		応用物性学特論Ⅰ	1・2・3(1)	1			1		
		応用物性学特論Ⅱ	1・2・3(2)	1			1		
		量子輸送論Ⅰ	1・2・3(1)	1		1			
		量子輸送論Ⅱ	1・2・3(2)	1		1			
		超伝導物理学特論Ⅰ	1・2・3(3)	1			1		
		超伝導物理学特論Ⅱ	1・2・3(4)	1			1		
		工 学 系	シミュレーション工学Ⅰ	1～3	1		4		担当教員退職により後任公募予定(29)
			シミュレーション工学Ⅱ	1～3	1		4		担当教員退職により後任公募予定(29)
			電力エネルギー工学Ⅰ	1～3	1				兼1
電力エネルギー工学Ⅱ	1～3		1				兼1		
電力デバイス・材料工学Ⅰ	1～3		1			1			
電力デバイス・材料工学Ⅱ	1～3		1			1			
電磁エネルギー変換機器工学特論Ⅰ	1～3		1		1				
電磁エネルギー変換機器工学特論Ⅱ	1～3	1		1					
知的電子制御システム工学Ⅰ	1～3	1			1				

数 理 ・ 電 気 電 子 情 報 学 領 域	工 学 系	知的電子制御システム工学Ⅱ	1～3	1		1								
		ナノデバイス工学Ⅰ	1～3	1						兼1				
		ナノデバイス工学Ⅱ	1～3	1						兼1				
		電磁波・デバイス工学Ⅰ	1～3	1		1								
		電磁波・デバイス工学Ⅱ	1～3	1		1								
		半導体材料・デバイス工学Ⅰ	1～3	1			1							
		半導体材料・デバイス工学Ⅱ	1～3	1			1							
		有機光機能材料・デバイス工学Ⅰ	1～3	1			1							
		有機光機能材料・デバイス工学Ⅱ	1～3	1			1							
		光・電子デバイス工学Ⅰ	1～3	1			1						教育課程の充実を図るため科目を追加(28)	
		光・電子デバイス工学Ⅱ	1～3	1			1						教育課程の充実を図るため科目を追加(28)	
		光ネットワーク工学Ⅰ	1～3	1		1								
		光ネットワーク工学Ⅱ	1～3	1		1								
		信号処理システム工学特論Ⅰ	1～3	1			1							
		信号処理システム工学特論Ⅱ	1～3	1			1							
		超音波エレクトロニクスⅠ	1～3	1		1								
		超音波エレクトロニクスⅡ	1～3	1		1								
		感覚情報工学特論Ⅰ	1・2・3(1)	1		1								
		感覚情報工学特論Ⅱ	1・2・3(2)	1		1								
		リモートセンシング工学特論Ⅰ	1・2・3(1)	1		1								
		リモートセンシング工学特論Ⅱ	1・2・3(2)	1		1								
		情報通信ネットワーク学特論Ⅰ	1・2・3(3)	1			1							
		情報通信ネットワーク学特論Ⅱ	1・2・3(4)	1			1							
		専 門 科 目	シ ス テ ム デ ザ イ ン 工 学 領 域	システム材料評価学	1～3	2		1						
				機械微小材料学特論	1～3	2		1						
				超精密計測工学	1～3	2		1						
ナノ磁性材料工学	1～3			2			1							
機能性材料学特論	1～3			2			1							
表面構造評価特論	1～3			2			1							
トライボロジー特論	1～3			2				+					担当教員退職により後任公募予定(29)	
生物・医用流体工学	1～3			2		1								
熱エネルギー変換工学	1～3			2		1								
応用流体力学特論	1～3			2		4							後任選考中(28)	
低温蓄熱工学	1～3			2			1							
機械システム制御論	1～3			2		1								
生体工学特論	1～3			2		1								
システムエコデザイン工学特論	1～3			2		1								
熱移動促進工学	1～3			2		1								
生体運動制御工学	1～3			2								兼1		
機械材料接合工学	1～3			2		1								
表面加工工学特論	1～3			2			1							
バイオ流体工学特論	1～3			2		1							教育課程の充実を図るため科目を追加(29)	
数値解析学	1～3			2		1								
環境水理学特論	1～3			2		1								
地盤システム工学	1～3			2			1							
地域交通工学	1～3			2		1								
地域・社会資本計画学	1～3			2			1							
建設材料学特論	1～3			2		1								
コンクリート構造工学特論	1～3			2		1								

(英語による特別コース)

科目区分	授業科目の名称	配当年次 ()表示のある科目は クォーター制で開講する。 ()の数は開講時期を表す。	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	Grant Proposal (グラントプロポーザル論)	1前 1後		1		6 7	0 4					オムバス カリキュラム編成調整による開講期の変更(28) 当初予定から担当教員減員(28)
	Long Internship (長期インターンシップ)	随時		2		10						担当者の変更(29)
	Short Internship (短期インターンシップ)	随時		1		10						担当者の変更(29)
	Interdisciplinary Seminar (学際領域セミナー)	随時		1		42 43	16 17 15	2 4				担当教員の追加等(28) 担当教員減員(29)
	English Academic Writing and Presentation Development Seminar (英語スキルアップセミナー)	1・2・3		1								兼4 兼3 兼1 オムバス 当初予定から担当教員減員(28) 担当教員の追加(29)
	Advanced Tutorial Course (総合理工学特別演習)	3通		1		42 43	31 32 29	2 4				担当教員の追加等(28) 担当教員減員(29)
	Research Thesis (総合理工学論文研究)	1~3通		4		42 43	31 32 29	2 4				担当教員の追加等(28) 担当教員減員(29)
専門科目 生命科学領域	Biofunctional Electrochemistry I (生命機能電気学 I)	1・2・3(1)		1			1					
	Biofunctional Electrochemistry II (生命機能電気学 II)	1・2・3(2)		1			1					
	Computational Chemistry for Molecular Design I (計算分子設計学 I)	1・2・3(3)		1			1					
	Computational Chemistry for Molecular Design II (計算分子設計学 II)	1・2・3(4)		1			1					
	Synthetic Natural Products Chemistry I (天然物合成化学 I)	1・2・3(1)		1			1					教育課程の充実を図るため科目を追加(28)
	Synthetic Natural Products Chemistry II (天然物合成化学 II)	1・2・3(2)		1			1					教育課程の充実を図るため科目を追加(28)
	Supramolecular Chemistry in Biology I (生命超分子化学 I)	1・2・3(1)		1				1				
	Supramolecular Chemistry in Biology II (生命超分子化学 II)	1・2・3(2)		1				1				
	Spectroscopy and Analytical Chemistry I (分光分析化学 I)	1・2・3(3)		1			4		1			担当教員の変更(28)
	Spectroscopy and Analytical Chemistry II (分光分析化学 II)	1・2・3(4)		1			4		1			担当教員の変更(28)
	Bioanalytical Science I (生体分子分析科学 I)	1・2・3(1)		1			1					
	Bioanalytical Science II (生体分子分析科学 II)	1・2・3(2)		1			1					
	Molecular Biological Chemistry I (分子生物化学 I)	1・2・3(3)		1			1					
	Molecular Biological Chemistry II (分子生物化学 II)	1・2・3(4)		1			1					
	Molecular Cell Biology I (細胞分子機能学 I)	1・2・3(1)		1			1					
	Molecular Cell Biology II (細胞分子機能学 II)	1・2・3(2)		1			1					
Molecular Cell Regulation Science I (分子細胞制御学 I)	1・2・3(1)		1			1					教育課程の充実を図るため科目を追加(29)	
Molecular Cell Regulation Science II (分子細胞制御学 II)	1・2・3(3)		1			1					教育課程の充実を図るため科目を追加(29)	

生命科学領域	Molecular Biology of Disease I (疾患分子生物学 I)	1・2・3(3)	1	1					
	Molecular Biology of Disease II (疾患分子生物学 II)	1・2・3(4)	1	1					
	Evolutional Biology in Medicine I (分子適応生命科学 I)	1・2・3(1)	1	1					
	Evolutional Biology in Medicine II (分子適応生命科学 II)	1・2・3(2)	1	1					
	Trends in Life Sciences I (先端生命科学 I)	1・2・3(3)	1	6 4	3	2 4			ホームパス 担当教員の追加(28)
	Trends in Life Sciences II (先端生命科学 II)	1・2・3(4)	1	6 4	3	2 4			ホームパス 担当教員の追加(28)
専門科目 物質科学領域	Organic Functional Materials I (有機機能材料学 I)	1・2・3(1)	1	1					
	Organic Functional Materials II (有機機能材料学 II)	1・2・3(2)	1	1					
	Catalytic Process Engineering I (触媒プロセス工学 I)	1・2・3(3)	1	1					
	Catalytic Process Engineering II (触媒プロセス工学 II)	1・2・3(4)	1	1					
	Carbon Resource Processing I (炭素資源変換工学 I)	1・2・3(1)	1	1					
	Carbon Resource Processing II (炭素資源変換工学 II)	1・2・3(2)	1	1					
	Physical Chemistry for Resources I (資源応用物理化学 I)	1・2・3(3)	1	1					
	Physical Chemistry for Resources II (資源応用物理化学 II)	1・2・3(4)	1	1					
	Functional Inorganic Materials I (無機機能材料学 I)	1・2・3(1)	1	1					
	Functional Inorganic Materials II (無機機能材料学 II)	1・2・3(2)	1	1					
	Chemical Process Design I (化学プロセス設計工学 I)	1・2・3(3)	1	4					後任選考中(28)
	Chemical Process Design II (化学プロセス設計工学 II)	1・2・3(4)	1	4					後任選考中(28)
	Energy Process Engineering I (エネルギープロセス工学 I)	1・2・3(1)	1	1					
	Energy Process Engineering II (エネルギープロセス工学 II)	1・2・3(2)	1	1					
	Electrochemical Process I (電気化学プロセス I)	1・2・3(3)	1	1					教育課程の充実を図 るため科目を追加 (29)
	Electrochemical Process II (電気化学プロセス II)	1・2・3(4)	1	1					教育課程の充実を図 るため科目を追加 (29)
	Biological Process Engineering I (生物プロセス工学 I)	1・2・3(3)	1	1					
	Biological Process Engineering II (生物プロセス工学 II)	1・2・3(4)	1	1					
	Advanced Chemical Process Design I (分離プロセス設計学 I)	1・2・3(1)	1	1					
	Advanced Chemical Process Design II (分離プロセス設計学 II)	1・2・3(2)	1	1					
	Diffraction Crystallography I (回折結晶学 I)	1・2・3(1)	1	1					
	Diffraction Crystallography II (回折結晶学 II)	1・2・3(2)	1	1					
	Solid-State Spectroscopy I (固体分光学 I)	1・2・3(3)	1	1					
	Solid-State Spectroscopy II (固体分光学 II)	1・2・3(4)	1	1					
Advanced Magnetic Materials I (磁性材料工学 I)	1・2・3(1)	1	1						
Advanced Magnetic Materials II (磁性材料工学 II)	1・2・3(2)	1	1						
Advanced Magnetic Thin Films I (磁性薄膜工学 I)	1・2・3(3)	1	1						
Advanced Magnetic Thin Films II (磁性薄膜工学 II)	1・2・3(4)	1	1						
Physical Chemistry of Surface I (表面物性化学 I)	1・2・3(3)	1	1						
Physical Chemistry of Surface II (表面物性化学 II)	1・2・3(4)	1	1						

専 門 科 目	物 質 科 学 領 域	Electrochemical Engineering for Electrode Reaction I (電極反応工学Ⅰ)	1・2・3(1)	1	1					
		Electrochemical Engineering for Electrode Reaction II (電極反応工学Ⅱ)	1・2・3(2)	1	1					
		Design of Reaction for High Temperature Materials I (高温反応設計学Ⅰ)	1・2・3(3)	1		1				
		Design of Reaction for High Temperature Materials II (高温反応設計学Ⅱ)	1・2・3(4)	1		1				
		Inorganic Structural Materials I (無機構造材料学Ⅰ)	1・2・3(1)	1		1				
		Inorganic Structural Materials II (無機構造材料学Ⅱ)	1・2・3(2)	1		1				
		Interface Controlling Technology I (界面制御工学Ⅰ)	1・2・3(3)	1		1				
		Interface Controlling Technology II (界面制御工学Ⅱ)	1・2・3(4)	1		1				
		Physical Properties of Structural Materials I (構造材料物性学Ⅰ)	1・2・3(1)	1		1				
		Physical Properties of Structural Materials II (構造材料物性学Ⅱ)	1・2・3(2)	1		1				
		Solidification Process Engineering I (凝固プロセス工学Ⅰ)	1・2・3(3)	1		1				
		Solidification Process Engineering II (凝固プロセス工学Ⅱ)	1・2・3(4)	1		1				
		Advanced design of inorganic Materials I (先端無機材料設計学Ⅰ)	1・2・3(3)	1		1				
		Advanced design of inorganic Materials II (先端無機材料設計学Ⅱ)	1・2・3(4)	1		1				
		Applied Mechanics of Elasto-Plastic Materials I (応用弾塑性力学Ⅰ)	1・2・3(1)	1		1				
		Applied Mechanics of Elasto-Plastic Materials II (応用弾塑性力学Ⅱ)	1・2・3(2)	1		1				
		Superconducting Materials Processing Technology I (超伝導材料プロセス学Ⅰ)	1・2・3(3)	1			1			
		Superconducting Materials Processing Technology II (超伝導材料プロセス学Ⅱ)	1・2・3(4)	1			1			
		数 理 ・ 電 気 電 子 情 報 学 領 域	理 学 系	Advanced Algebra VII (代数学特論Ⅶ)	1・2・3(1)	1	1			
	Advanced Algebra VIII (代数学特論Ⅷ)			1・2・3(3)	1	1				
	Advanced Geometry V (幾何学特論Ⅴ)			1・2・3(2)	1		1			
	Advanced Geometry VI (幾何学特論Ⅵ)			1・2・3(4)	1		1			
	Advanced Analysis VII (解析学特論Ⅶ)			1・2・3(1)	1		1			
	Advanced Analysis VIII (解析学特論Ⅷ)			1・2・3(3)	1		1			
	Applied Condensed Matter Physics I (応用物性学特論Ⅰ)			1・2・3(1)	1			1		
	Applied Condensed Matter Physics II (応用物性学特論Ⅱ)			1・2・3(2)	1			1		
	Quantum Transport Theory I (量子輸送論Ⅰ)			1・2・3(1)	1		1			
	Quantum Transport Theory II (量子輸送論Ⅱ)			1・2・3(2)	1		1			
	工 学 系	工 学 系	Computer Simulation Engineering I (シミュレーション工学Ⅰ)	1~3	1		+			担当教員退職により後任公募予定(29)
Computer Simulation Engineering II (シミュレーション工学Ⅱ)			1~3	1		+			担当教員退職により後任公募予定(29)	
Electric Energy Engineering I (電力エネルギー工学Ⅰ)			1~3	1					兼1	

数 理 ・ 電 工 気 電 学 情 報 学 領 域	専 門 科 目	Electric Energy Engineering II (電力エネルギー工学II)	1~3	1						兼1	
		Power Device and Materials Engineering I (電力デバイス・材料工学I)	1~3	1		1					
		Power Device and Materials Engineering II (電力デバイス・材料工学II)	1~3	1		1					
		Advanced Machinery Engineering for Electromagnetic Energy Conversion I (電磁エネルギー変換機器工学特論I)	1~3	1		1					
		Advanced Machinery Engineering for Electromagnetic Energy Conversion II (電磁エネルギー変換機器工学特論II)	1~3	1		1					
		Intelligent Electronic Control System Engineering I (知的電子制御システム工学I)	1~3	1		1					
		Intelligent Electronic Control System Engineering II (知的電子制御システム工学II)	1~3	1		1					
		Nanodevice Engineering I (ナノデバイス工学I)	1~3	1							兼1
		Nanodevice Engineering II (ナノデバイス工学II)	1~3	1							兼1
		Terahertz Wave Technologies and Their Devices I (電磁波・デバイス工学I)	1~3	1		1					
		Terahertz Wave Technologies and Their Devices II (電磁波・デバイス工学II)	1~3	1		1					
		Semiconductor Material and Device Engineering I (半導体材料・デバイス工学I)	1~3	1		1					
		Semiconductor Material and Device Engineering II (半導体材料・デバイス工学II)	1~3	1		1					
		Organic Photo-functional Material and Device I (有機光機能材料・デバイス工学I)	1~3	1		1					
		Organic Photo-functional Material and Device II (有機光機能材料・デバイス工学II)	1~3	1		1					
		Photonic and Electronic Device Engineering I (光・電子デバイス工学I)	1~3	1		1					教育課程の充実を図るため科目を追加(28)
		Photonic and Electronic Device Engineering II (光・電子デバイス工学II)	1~3	1		1					教育課程の充実を図るため科目を追加(28)
		Optical Network Engineering I (光ネットワーク工学I)	1~3	1		1					
		Optical Network Engineering II (光ネットワーク工学II)	1~3	1		1					
		Advanced Signal Processing System Engineering I (信号処理システム工学特論I)	1~3	1		1					
		Advanced Signal Processing System Engineering II (信号処理システム工学特論II)	1~3	1		1					
		Ultrasonic Electronics I (超音波エレクトロニクスI)	1~3	1		1					
		Ultrasonic Electronics II (超音波エレクトロニクスII)	1~3	1		1					
		Advanced Sensory Information Engineering I (感覚情報工学特論I)	1・2・3(1)	1		1					
		Advanced Sensory Information Engineering II (感覚情報工学特論II)	1・2・3(2)	1		1					
		Advanced Remote Sensing Engineering I (リモートセンシング工学特論I)	1・2・3(1)	1		1					
		Advanced Remote Sensing Engineering II (リモートセンシング工学特論II)	1・2・3(2)	1		1					
		Advanced Information and Communication Network Engineering I (情報通信ネットワーク学特論I)	1・2・3(3)	1		1					
		Advanced Information and Communication Network Engineering II (情報通信ネットワーク学特論II)	1・2・3(4)	1		1					

専 門 科 目	シ ス テ ム デ ザ イ ン 工 学 領 域	Mechanics of Materials for Systems (システム材料評価学)	1~3	2	1						
		Advanced Engineering of Micro/Nano Materials (機械微小材料学特論)	1~3	2	1						
		Ultraprecision Measurement System (超精密計測工学)	1~3	2	1						
		Nano Magnetic Materials Engineering (ナノ磁性材料工学)	1~3	2		1					
		Advanced functional Materials Science (機能性材料学特論)	1~3	2		1					
		Characterization of Subsurface Structure (表面構造評価特論)	1~3	2		1					
		Advanced Tribology (トライボロジー特論)	1~3	2			+				担当教員退職により 後任公募予定(29)
		Biomedical Fluid Mechanics (生物・医用流体工学)	1~3	2		1					
		Thermal Energy Conversion Engineering (熱エネルギー変換工学)	1~3	2		1					
		Advanced Applied Fluid Mechanics (応用流体力学特論)	1~3	2		4					後任選考中(28)
		Low Temperature Thermal Energy Storage Engineering (低温蓄熱工学)	1~3	2			1				
		Advanced Control of Mechanical Systems (機械システム制御論)	1~3	2		1					
		Biomedical Engineering (生体工学特論)	1~3	2		1					
		System Ecodesign Engineering (システムエコデザイン工学特論)	1~3	2		1					
		Heat Transfer Enhancement (熱移動促進工学)	1~3	2		1					
		Control Engineering for Biomechanisms (生体運動制御工学)	1~3	2							兼1
		Joining of Engineering Materials (機械材料接合工学)	1~3	2		1					
		Advanced Surface Processing Engineering (表面加工工学特論)	1~3	2			1				
		Biological fluid Engineering (バイオ流体工学特論)	1~3	2		1					教育課程の充実を図 るため科目を追加 (29)
		Numerical Analysis (数値解析学)	1~3	2		1					
		Environmental Hydraulics (環境水理学特論)	1~3	2		1					
		Geosystems Engineering (地盤システム工学)	1~3	2			1				
		Regional Traffic Engineering (地域交通工学)	1~3	2		1					
		Regional Infrastructure Planning (地域・社会資本計画学)	1~3	2			1				
		Advanced Construction Materials (建設材料学特論)	1~3	2		1					
		Advanced Concrete Structural Engineering (コンクリート構造工学特論)	1~3	2		1					

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼○」と記入してください。
 ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成○年○月 提出予定」と記入してください。)
 ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備 考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
6	134	0	140	6	143	0	149	
				[±0]	[+9]	[±0]	[+9]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1		該当なし				
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1		該当なし				
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{140} = \boxed{} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位までを記入してください。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校 舎 敷 地	258,144 m ²	0 m ²	0 m ²	258,144 m ²			
	運 動 場 用 地	76,253 m ²	0 m ²	0 m ²	76,253 m ²			
	小 計	334,397 m ²	0 m ²	0 m ²	334,397 m ²			
	そ の 他	104,058 m ²	0 m ²	0 m ²	104,058 m ²			
	合 計	438,455 m ²	0 m ²	0 m ²	438,455 m ²			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	132,654 m ² (132,654 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	132,654 m ² (132,654 m ²)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
	99 室	130 室	543 室	14 室 (補助職員 4 人)	6 室 (補助職員 1 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			平成28年8月専任教授 1名退職(29) 平成29年3月専任准教授 1名退職(29)		
	理工学研究科 総合理工学専攻		75 77 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体での共用分を 含む
	理工学研究科	443,662 [115,105] (427,382 [113,216])	9,572 [2,715] (9,572 [2,715])	6,850 [5,400] (6,850 [5,400])	3,071 (2,893)	6,341 (6,341)	19,370 (19,170)	
	計	443,662 [115,105] (427,382 [113,216])	9,572 [2,715] (9,572 [2,715])	6,850 [5,400] (6,850 [5,400])	3,071 (2,893)	6,341 (6,341)	19,370 (19,170)	
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			大学全体
	6,321 m ²		652		582,537			
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要					大学全体
	7,908 m ²		陸上競技場, 野球場, 多目的運動場, テニスコート, プール					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	— 千円	— 千円	図書購入費	— 千円	— 千円	— 千円
		共同研究費等	— 千円	— 千円	設備購入費	— 千円	— 千円	— 千円
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8) 経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	秋田大学							備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地
≪AC対象学部等≫ 国際資源学部 国際資源学科	4	120	—	480	学士 (資源学)	1.02	平成26	秋田市手形学園町1番1号
教育文化学部 学校教育課程 地域文化学科 地域科学課程 国際言語文化課程 人間環境課程	4	110	—	440	学士 (学校教育)	1.04	平成10	秋田市手形学園町1番1号
	4	100	—	400	学士 (地域文化)	1.02	平成26	
	4	—	—	—	学士 (地域科学)	—	平成10	
	4	—	—	—	学士 (国際言語文化)	—	平成10	
	4	—	—	—	学士 (人間環境)	—	平成10	
	4	—	—	—	—	—	平成10	
医学部 医学科 保健学科	6	124	2年次 5	759	学士 (医学)	1.00	昭和45	秋田市本道一丁目1の1
	4	106	3年次 14	452	学士 (保健学) 学士 (看護学)	1.05	平成14	
理工学部 生命科学科 物質科学科 数理・電気電子 情報学科 システムデザイン 工学科 各学科共通	4	45	—	180	学士 (理学)	0.99	平成26	秋田市手形学園町1番1号
	4	110	—	440	学士 (理工学)	1.02	平成26	
	4	120	—	480	学士 (理学)	1.07	平成26	
	4	120	—	480	学士 (工学)	1.09	平成26	
	4	—	3年次 12	12	—	—	—	
	4	—	—	—	—	—	—	
工学資源学部 地球資源学科 環境応用化学科 生命化学科 材料工学科 情報工学科 機械工学科 電気電子工学科 土木環境工学科 各学科共通	4	—	—	—	学士 (資源学)	—	平成10	秋田市手形学園町1番1号
	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成20	
	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成20	
	4	—	—	—	学士 (理学)	—	平成10	
	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成10	
	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成10	
	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成10	
	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成10	
	4	—	—	—	—	—	—	
	4	—	3年次 12	—	—	—	—	

平成26年度入学定員増(10人)

平成26年度より
学生募集停止

平成27年度入学定員増(2人)

平成26年度より
学生募集停止

平成28年度より
学生募集停止

大学院国際資源学研究所 (博士前期課程)								秋田市手形学園町1番1号	
資源地球科学専攻	2	17	—	34	修士 (資源学)	0.82	平成28		
資源開発環境学専攻	2	23	—	46	修士 (資源学) 修士 (工学)	0.71	平成28		
(博士後期課程)									
資源学専攻	3	10	—	20	博士 (資源学) 博士 (工学) 博士 (理学)	0.65	平成28		
大学院教育学研究所 (修士課程)								秋田市手形学園町1番1号	
心理教育実践専攻	2	6	—	12	修士 (教育学)	1.08	平成28		平成28年度より 学生募集停止
学校教育専攻	2	—	—	—	修士 (教育学)	—	平成元		
教科教育専攻	2	—	—	—	修士 (教育学)	—	平成元		
(専門職学位課程)									
教職実践専攻	2	20	—	40	教職修士 (専門職)	1.12	平成28		
大学院医学系研究所 (修士課程)								秋田市本道一丁目1の1	
医科学専攻	2	5	—	10	修士 (医科学)	0.30	平成19		
(博士前期課程)									
保健学専攻	2	12	—	24	修士 (看護学) 修士 (リハビリテー ション科学)	1.04	平成19		
(博士後期課程)									
保健学専攻	3	3	—	9	博士 (保健学)	1.11	平成21		
(博士課程)									
医学専攻	4	30	—	120	博士 (医学)	0.97	平成19		
大学院理工学研究所 (博士前期課程)								秋田市手形学園町1番1号	
生命科学専攻	2	15	—	30	修士 (理学)	0.76	平成28		
物質科学専攻	2	42	—	84	修士 (理工学)	0.79	平成28		
数理・電気電子 情報学専攻	2	45	—	90	修士 (理学) 修士 (工学)	1.07	平成28		
システムデザイン 工学専攻	2	36	—	72	修士 (工学)	0.97	平成28		
共同ライフサイクル デザイン工学専攻	2	12	—	24	修士 (工学)	1.00	平成28		

(博士後期課程)												
総合理工学専攻	3	10	—	20	博士 (理学) 博士 (理工学) 博士 (工学)	1.05	平成28					
大学院工学資源学研究所 (博士前期課程)								秋田市手形学園町1番1号				
地球資源学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成14					
環境応用化学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成24					
生命科学専攻	2	—	—	—	修士 (理学)	—	平成24					
材料工学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成14					
情報工学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成14					
機械工学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成14					
電気電子工学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成14					
土木環境工学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成14					
共同ライフサイクル デザイン工学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成24					
(博士後期課程)												
資源学専攻	3	—	—	—	博士 (工学) 博士 (資源学)	—	平成14					
生命科学専攻	3	—	—	—	博士 (理学)	—	平成26					
機能物質工学専攻	3	—	—	—	博士 (工学)	—	平成14					
生産・建設工学専攻	3	—	—	—	博士 (工学)	—	平成14					
電気電子情報 システム工学専攻	3	—	—	—	博士 (工学)	—	平成14					

平成28年度より
学生募集停止

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(A・C対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・A・C対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<理工学研究科 総合理工学専攻（博士後期課程）>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	伊藤 英晃 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 分子生物化学Ⅰ (Molecular Biological Chemistry I) 分子生物化学Ⅱ (Molecular Biological Chemistry II) 先端生命科学Ⅰ (Trends in Life Sciences I) 先端生命科学Ⅱ (Trends in Life Sciences II)						
専	教授	涌井 秀樹 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 疾患分子生物学Ⅰ (Molecular Biology of Diseases I) 疾患分子生物学Ⅱ (Molecular Biology of Diseases II) 先端生命科学Ⅰ (Trends in Life Sciences I) 先端生命科学Ⅱ (Trends in Life Sciences II)						
専	教授	久保田 広志 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 細胞分子機能学Ⅰ (Molecular Cell Biology I) 細胞分子機能学Ⅱ (Molecular Cell Biology II) 先端生命科学Ⅰ (Trends in Life Sciences I) 先端生命科学Ⅱ (Trends in Life Sciences II)						
専	教授	尾高 雅文 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) グラントプロポーザル論 (Grant Proposal) 長期インターンシップ (Long Internship) 短期インターンシップ (Short Internship) 生体分子分析科学Ⅰ (Bioanalytical Science I) 生体分子分析科学Ⅱ (Bioanalytical Science II) 先端生命科学Ⅰ (Trends in Life Sciences I) 先端生命科学Ⅱ (Trends in Life Sciences II)						

専	教授	藤原 憲秀 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) グラントプロポーザル論 (Grant Proposal) 天然物合成化学Ⅰ (Synthetic Natural Products Chemistry I) 天然物合成化学Ⅱ (Synthetic Natural Products Chemistry II) 先端生命科学Ⅰ (Trends in Life Sciences I) 先端生命科学Ⅱ (Trends in Life Sciences II)						
専	教授	疋田 正喜 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 先端生命科学Ⅰ (Trends in Life Sciences I) 先端生命科学Ⅱ (Trends in Life Sciences II)	専	教授	疋田 正喜 ()	平成29年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 先端生命科学Ⅰ (Trends in Life Sciences I) 先端生命科学Ⅱ (Trends in Life Sciences II) 分子細胞制御学Ⅰ (Molecular Cell Regulation Science I) 分子細胞制御学Ⅱ (Molecular Cell Regulation Science II)	(教員審査省略) 平成29年4月から 教育課程の充実を図るため科目を追加(29)
専	准教授	秋葉 宇一 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 生命機能電気学Ⅰ (Biofunctional Electrochemistry I) 生命機能電気学Ⅱ (Biofunctional Electrochemistry II) 先端生命科学Ⅰ (Trends in Life Sciences I) 先端生命科学Ⅱ (Trends in Life Sciences II)						
専	准教授	天辰 禎晃 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 計算分子設計学Ⅰ (Computational Chemistry for Molecular Design I) 計算分子設計学Ⅱ (Computational Chemistry for Molecular Design II) 先端生命科学Ⅰ (Trends in Life Sciences I) 先端生命科学Ⅱ (Trends in Life Sciences II)						

専	准教授	布村 渉 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 分子適応生命科学 I (Evolutional Biology in Medicine I) 分子適応生命科学 II (Evolutional Biology in Medicine II) 先端生命科学 I (Trends in Life Sciences I) 先端生命科学 II (Trends in Life Sciences II)						
専	講師	松村 洋寿 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 分光分析化学 I (Spectroscopy and Analytical Chemistry I) 分光分析化学 II (Spectroscopy and Analytical Chemistry II) 先端生命科学 I (Trends in Life Sciences I) 先端生命科学 II (Trends in Life Sciences II)						
専	講師	近藤 良彦 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 生命超分子化学 I (Supramolecular Chemistry for Biology I) 生命超分子化学 II (Supramolecular Chemistry for Biology II) 先端生命科学 I (Trends in Life Sciences I) 先端生命科学 II (Trends in Life Sciences II)						
専	教授	寺境 光俊 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 有機機能材料学 I (Organic Functional Materials I) 有機機能材料学 II (Organic Functional Materials II)						
専	教授	村上 賢治 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 長期インターンシップ (Long Internship) 短期インターンシップ (Short Internship) 炭素資源変換工学 I (Carbon Resource Processing I) 炭素資源変換工学 II (Carbon Resource Processing II)						

専	教授	進藤 隆世志 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 触媒プロセス工学 I (Catalytic Process Engineering I) 触媒プロセス工学 II (Catalytic Process Engineering II)						
専	教授	菅原 勝康 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) エネルギープロセス工学 I (Energy Process Engineering I) エネルギープロセス工学 II (Energy Process Engineering II)						
専	教授	後藤 猛 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 生物プロセス工学 I (Bioprocess Engineering I) 生物プロセス工学 I (Bioprocess Engineering I)						
専	教授	宗像 健三 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis)						平成27年9月退職 担当教員減員(28)
				化学プロセス設計工学 I (Chemical Process Design I) 化学プロセス設計工学 II (Chemical Process Design II)			後任未定		平成27年9月退職 後任選考中(28)	
専	教授	齋藤 嘉一 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 回折結晶学 I (Diffraction Crystallography I) 回折結晶学 II (Diffraction Crystallography II)						
専	教授	小玉 展宏 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 固体分光学 I (Solid-State Spectroscopy I) 固体分光学 II (Solid-State Spectroscopy II)						

専	教授	齊藤 準 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) グラントプロポーザル論 (Grant Proposal) 磁性材料工学 I (Magnetic Materials I) 磁性材料工学 II (Magnetic Materials II)						
専	教授	原 基 ()	平成28年4月	長期インターンシップ (Long Internship) 短期インターンシップ (Short Internship) 学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 表面物性化学 I (Physical Chemistry of Surface I) 表面物性化学 II (Physical Chemistry of Surface II)	専	教授	麻生 節夫 ()	平成29年4月	長期インターンシップ (Long Internship) 短期インターンシップ (Short Internship)	(教員審査省略) 平成29年4月 担当者の変更 (29)
専	教授	田口 正美 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 電極反応工学 I (Electrochemical Engineering for Electrode Reaction I) 電極反応工学 II (Electrochemical Engineering for Electrode Reaction II)						
専	教授	麻生 節夫 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 凝固プロセス工学 I (Solidification Process Engineering I) 凝固プロセス工学 II (Solidification Process Engineering II)						
専	教授	林 滋生 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 先端無機材料設計学 I (Advanced design of Inorganic Materials I) 先端無機材料設計学 II (Advanced design of Inorganic Materials II)						
専	教授	大口 健一 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 応用弾塑性力学 I (Applied Mechanics of Elasto-Plastic Materials I) 応用弾塑性力学 II (Applied Mechanics of Elasto-Plastic Materials II)						

専	准教授	布田 深 ()	平成28年4月	総合工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合工学論文研究 (Research Thesis) 資源応用物理化学Ⅰ (Physical Chemistry for Resources I) 資源応用物理化学Ⅱ (Physical Chemistry for Resources II)						
専	准教授	加藤 純雄 ()	平成28年4月	総合工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合工学論文研究 (Research Thesis) 無機機能材料学Ⅰ (Functional Inorganic Materials I) 無機機能材料学Ⅱ (Functional Inorganic Materials II)						
専	准教授	高橋 博 ()	平成28年4月	総合工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合工学論文研究 (Research Thesis) 分離プロセス設計学Ⅰ (Advanced Chemical Process Design I) 分離プロセス設計学Ⅱ (Advanced Chemical Process Design II)						
専	准教授	吉村 哲 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合工学論文研究 (Research Thesis) 磁性薄膜工学Ⅰ (Advanced Magnetic Thin Film I) 磁性薄膜工学Ⅱ (Advanced Magnetic Thin Film II)						
専	准教授	佐藤 芳幸 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合工学論文研究 (Research Thesis) 高温反応設計学Ⅰ (Electrochemical Engineering for Electrode Reaction I) 高温反応設計学Ⅱ (Electrochemical Engineering for Electrode Reaction II)						
専	准教授	仁野 章弘 ()	平成28年4月	総合工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合工学論文研究 (Research Thesis) 無機構造材料学Ⅰ (Inorganics Structural Materials I) 無機構造材料学Ⅱ (Inorganics Structural Materials II)						
専	准教授	福本 倫久 ()	平成28年4月	総合工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合工学論文研究 (Research Thesis) 界面制御工学Ⅰ (Interface Controlling Technology I) 界面制御工学Ⅱ (Interface Controlling Technology II)						

専	准教授	森 千修 ()	平成28年4月	総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 構造材料物性学Ⅰ (Physical Properties of Structural Materials I) 構造材料物性学Ⅱ (Physical Properties of Structural Materials II)						
専	准教授	魯 小葉 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 超伝導材料プロセス学Ⅰ (Superconducting Materials Processing Technology I) 超伝導材料プロセス学Ⅱ (Superconducting Materials Processing Technology II)						
専	准教授	大川 浩一 ()	平成28年4月	総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis)	専	准教授	大川 浩一 ()	平成29年4月	総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 電気化学プロセスⅠ (Electrochemical Process I) 電気化学プロセスⅡ (Electrochemical Process II)	(教員審査省略) 平成29年4月から 教育課程の充実を図るため科目を追加(29)
専	教授	山村 明弘 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 代数学特論Ⅶ (Advanced Algebra VII) 代数学特論Ⅷ (Advanced Algebra VIII)						
専	教授	河上 肇 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 長期インターンシップ (Long Internship) 短期インターンシップ (Short Internship) 解析学特論Ⅶ (Advanced Geometry VII) 解析学特論Ⅷ (Advanced Geometry VIII)						
専	教授	小野田 勝 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 量子輸送論Ⅰ (Quantum Transport Theory I) 量子輸送論Ⅱ (Quantum Transport Theory II)						

専	教授	鈴木 雅史 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis)						平成28年8月退職 担当教員減員 (29)
				シミュレーション工学 I (Computer Simulation Engineering I) シミュレーション工学 II (Computer Simulation Engineering II)				後任未定		平成28年8月退職 後任公募予定 (29)
専	教授	田島 克文 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 電磁エネルギー変換機器工 学特論 I (Advanced Machinery Engineering for Electromagnetic Energy Conversion I) 電磁エネルギー変換機器工 学特論 II (Advanced Machinery Engineering for Electromagnetic Energy Conversion II)						
専	教授	倉林 徹 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 電磁波・デバイス工学 I (Terahertz Wave Technologies and Their Devices I) 電磁波・デバイス工学 II (Terahertz Wave Technologies and Their Devices II)						
専	教授	今野 和彦 ()	平成28年4月	長期インターンシップ (Long Internship) 短期インターンシップ (Short Internship)	専	教授	倉林 徹 ()	平成29年4月	長期インターンシップ (Long Internship) 短期インターンシップ (Short Internship)	(教員審査省略) 平成29年4月 担当者の変更 (29)
				学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 超音波エレクトロニクス I (Ultrasonic Electronic I) 超音波エレクトロニクス II (Ultrasonic Electronic II)						
専	教授	小原 仁 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 光ネットワーク工学 I (Optical Network Engineering I) 光ネットワーク工学 II (Optical Network Engineering II)						

専	教授	水戸部 一孝 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) グラントプロポーザル論 (Grant Proposal) 感覚情報工学特論 I (Advanced Sensory Information Engineering I) 感覚情報工学特論 II (Advanced Sensory Information Engineering II)						
専	教授	景山 陽一 ()	平成28年4月	長期インターンシップ (Long Internship) 短期インターンシップ (Short Internship)	専	教授	水戸部 一孝 ()	平成29年4月	長期インターンシップ (Long Internship) 短期インターンシップ (Short Internship)	(教員審査省略) 平成29年4月 担当者の変更 (29)
専	教授	小林 真人 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) リモートセンシング工学特 論 I (Advanced Remote Sensing Engineering I) リモートセンシング工学特 論 II (Advanced Remote Sensing Engineering II)						
専	准教授	山口 邦彦 ()	平成28年4月	総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 幾何学特論 V (Advanced Geometry V) 幾何学特論 VI (Advanced Geometry VI)						
専	准教授	田沼 慶忠 ()	平成28年4月	総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 応用物性学特論 I (Applied Condensed Matter Physics I) 応用物性学特論 II (Applied Condensed Matter Physics II)						
専	准教授	熊谷 誠治 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 超伝導物理学特論 I (Advanced Physics of Superconductors I) 超伝導物理学特論 II (Advanced Physics of Superconductors II)						
専	准教授	熊谷 誠治 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 電力デバイス・材料工学 I (Power Device and Materials Engineering I) 電力デバイス・材料工学 II (Power Device and Materials Engineering II)						

専	准教授	三浦 武 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合工学論文研究 (Research Thesis) 知的電子制御システム工学 I (Intelligent Electronic Control System Engineering I) 知的電子制御システム工学 II (Intelligent Electronic Control System Engineering II)						
専	准教授	佐藤 祐一 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合工学論文研究 (Research Thesis) 半導体材料・デバイス工学 I (Semiconductor Material and Device Engineering I) 半導体材料・デバイス工学 II (Semiconductor Material and Device Engineering II)						
専	准教授	山口 留美子 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合工学論文研究 (Research Thesis) 有機光機能材料・デバイス 工学 I (Organic Photo-functional Material and Device I) 有機光機能材料・デバイス 工学 II (Organic Photo-functional Material and Device II)						
専	准教授	河村 希典 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合工学論文研究 (Research Thesis) 光・電子デバイス工学 I (Photonic and Electronic Device Engineering I) 光・電子デバイス工学 II (Photonic and Electronic Device Engineering II)						
専	准教授	田中 元志 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合工学論文研究 (Research Thesis) 信号処理システム工学特論 I (Advanced Signal Processing System Engineering I) 信号処理システム工学特論 II (Advanced Signal Processing System Engineering II)						

専	准教授	橋本 仁 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 情報通信ネットワーク学特 論 I (Advanced Information and Communication Network Engineering I) 情報通信ネットワーク学特 論 II (Advanced Information and Communication Network Engineering II)						
専	教授	渋谷 嗣 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) システム材料評価学 (Mechanics of Materials for Systems)						
専	教授	村岡 幹夫 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) グラントプロポーザル論 (Grant Proposal) 機械微小材料学特論 (Advanced Engineering of Micro/Nano Materials)						
専	教授	奥山 栄樹 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 長期インターンシップ (Long Internship) 短期インターンシップ (Short Internship) 超精密計測工学 (Ultraprecision of Measurement System)						
専	教授	中村 雅英 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 長期インターンシップ (Long Internship) 短期インターンシップ (Short Internship) 生物・医用流体工学 (Biomedical Fluid Engineering)						
専	教授	田子 真 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 熱エネルギー変換工学 (Thermal Energy Conversion Engineering)						
専	教授	長谷川 裕晃 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 応用流体力学特論 (Advanced Applied Fluid Mechanics)			後任未定			平成27年8月退職 担当教員減員(28) 平成27年8月退職 後任選考中(28)

専	教授	長縄 明大 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 機械システム制御論 (Advanced Control of Mechanical Systems)						
専	教授	巖見 武裕 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 生体工学特論 (Biomedical Engineering)						
専	教授	神谷 修 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 機械材料接合工学 (Joining of Engineering Materials)						
専	教授	三島 望 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) システムエコデザイン工学 特論 (Special Theory on Systems Ecodesign)						
専	教授	足立 高弘 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 長期インターンシップ (Long Internship) 短期インターンシップ (Short Internship) 熱移動促進工学 (Heat Transfer Enhancement)	専	教授	足立 高弘 ()	平成29年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 長期インターンシップ (Long Internship) 短期インターンシップ (Short Internship) 熱移動促進工学 (Heat Transfer Enhancement) バイオ流体工学特論 (Biological fluid Engineering)	(教員審査省略) 平成29年4月から 教育課程の充実を図るため科目を追加(29)
専	教授	後藤 文彦 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) グラントプロポーザル論 (Grant Proposal) 数値解析学 (Numerical Analysis)						
専	教授	松富 英夫 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 環境水理学特論 (Advanced Environmental Hydraulics)						

専	教授	濱岡 秀勝 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 長期インターンシップ (Long Internship) 短期インターンシップ (Short Internship) 地域交通工学 (Regional Transport Engineering)						
専	教授	徳重 英信 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 建設材料学特論 (Advanced Construction Materials)						
専	准教授	山本 良之 ()	平成28年4月	総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) ナノ磁性材料工学 (Nano Magnetic Materials and Devices)						
専	准教授	宮野 泰征 ()	平成28年4月	総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 機能性材料学特論 (Advanced Functional Materials Science)						
専	准教授	山口 誠 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 表面構造評価特論 (Characterization of Subsurface Structure)						
専	准教授	野老山 貴行 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) トライボロジー特論 (Advanced Tribology)						平成29年3月退職 担当教員減員 (29)
							後任未定			平成29年3月退職 後任公募予定 (29)
専	准教授	小松 喜美 ()	平成28年4月	総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 低温蓄熱工学 (Low Temperature Thermal Energy Storage Engineering)						
専	准教授	高橋 護 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 表面加工工学特論 (Advanced Surface Processing Engineering)						
専	准教授	荻野 俊寛 ()	平成28年4月	総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 地盤システム工学 (Systematical Geotechnical Engineering)						

専	准教授	日野 智 ()	平成28年4月	総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 地域・社会資本計画学 (Regional and Infrastructure Planning)						
専	准教授	高橋 良輔 ()	平成28年4月	総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) コンクリート構造工学特論 (Advanced Concrete Structural Engineering)						
兼任	教授	堀口 誠二 ()	平成28年4月	ナノデバイス工学 I (Nanodevice Engineering I) ナノデバイス工学 II (Nanodevice Engineering II)						
兼任	教授	佐藤 正志 ()	平成28年4月	電力エネルギー工学 I (Electric Energy Engineering I) 電力エネルギー工学 II (Electric Energy Engineering II)						
兼任	教授	土岐 仁 ()	平成28年4月	生体運動制御工学 (Bioengineering for Sports)						
兼任	准教授	GRAVE EWA MALGORZATA ()	平成28年4月	英語スキルアップセミナー (English Academic Writing and Presentation Development Seminar)						
兼任	准教授	ABADZHIEVA EMILIYA ()	平成28年4月	英語スキルアップセミナー (English Academic Writing and Presentation Development Seminar)						
兼任	講師	SELIN PAVEL ()	平成28年4月	英語スキルアップセミナー (English Academic Writing and Presentation Development Seminar)						
					兼任	准教授	WATERS EAMON PATRICK JOHN ()	平成28年10月	英語スキルアップセミナー (English Academic Writing and Presentation Development Seminar)	平成28年10月 担当者の追加 (29)

- (注) ・ 設置時の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
4	3	3
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
43	29	1	0	73	42	31	2	0	75	42	31	2	0	75
(43)	(32)	(2)	(0)	(77)						[Δ1]	[+2]	[+1]	[±0]	[+2]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
58	15	0			60	15	0			60	15	0		
(62)	(15)	(0)								[+2]	[±0]	[±0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
1	教授	宗像 健三	必修	学際領域セミナー (interdisciplinary Seminar)	①	平成27年9月21日付けで退職（死亡）したため（28）	
			必修	総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course)	①		
			必修	総合理工学論文研究 (Research Thesis)	①		
			選択	化学プロセス設計工学 I (Chemical Process Design I)	③		
			選択	化学プロセス設計工学 II (Chemical Process Design II)	③		
2	教授	長谷川 裕晃	必修	学際領域セミナー (interdisciplinary Seminar)	①	平成27年8月31日付けで退職（一身上）したため（28）	
			必修	総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course)	①		
			必修	総合理工学論文研究 (Research Thesis)	①		
			選択	応用流体力学特論 (Advanced Applied Fluid Mechanics)	③		
合計 (A)				後任補充状況の集計 (B)			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
2	人	必修	6 科目	必修	6 科目	必修	0 科目
		選択	3 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	9 科目	計	6 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	教授	鈴木 雅史	必修	学際領域セミナー (interdisciplinary Seminar)	①	平成28年8月15日付けで退職（死亡）したため（29）
			必修	総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course)	①	
			必修	総合理工学論文研究 (Research Thesis)	①	
			選択	シミュレーション工学 I (Computer Simulation Engineering I)	③	
			選択	シミュレーション工学 II (Computer Simulation Engineering II)	③	
2	准教授	野老山 貴行	必修	学際領域セミナー (interdisciplinary Seminar)	①	平成29年3月31日付けで退職（一身上）したため（29）
			必修	総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course)	①	
			必修	総合理工学論文研究 (Research Thesis)	①	
			選択	トライボロジー特論 (Advanced Tribology)	③	

合計 (C)				後任補充状況の集計 (D)					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
2	人	必修	6 科目	必修	6 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	3 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	3 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	9 科目	計	6 科目	計	0 科目	計	3 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (A) + (C)				後任補充状況の集計 (B) + (D)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
4	人	必修	12 科目	必修	12 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	6 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	6 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	18 科目	計	12 科目	計	0 科目	計	6 科目

- (注) ・ 就任辞退(未就任)及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>宗像健三教授の辞任について、担当科目である「学際領域セミナー (interdisciplinary Seminar)」「総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course)」「総合理工学論文研究 (Research Thesis)」については、分担科目で他の教員で担当可能であるため、履修等への影響はない。また、選択科目の「化学プロセス設計工学 I (Chemical Process Design I)」「化学プロセス設計工学 II (Chemical Process Design II)」については、後任選考中である。</p> <p>長谷川裕晃教授の辞任について、担当科目である「学際領域セミナー (interdisciplinary Seminar)」「総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course)」「総合理工学論文研究 (Research Thesis)」については、分担科目で他の教員で担当可能であるため、履修等への影響はない。また、選択科目の「応用流体力学特論 (Advanced Applied Fluid Mechanics)」については、後任選考中である。</p> <p>学生に対しては、履修案内への記載や、web機能を活用した本学独自の総合学務支援システム「a-net」へ掲載することにより、十分な周知を行った。</p> <p>鈴木雅史教授の辞任について、担当科目である「学際領域セミナー (interdisciplinary Seminar)」「総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course)」「総合理工学論文研究 (Research Thesis)」については、分担科目で他の教員で担当可能であるため、履修等への影響はない。また、選択科目の「シミュレーション工学 I (Computer Simulation Engineering I)」「シミュレーション工学 I (Computer Simulation Engineering I)」については、後任公募を予定している。</p> <p>野老山貴行准教授の辞任について、担当科目である「学際領域セミナー (interdisciplinary Seminar)」「総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course)」「総合理工学論文研究 (Research Thesis)」については、分担科目で他の教員で担当可能であるため、履修等への影響はない。また、選択科目の「トライボロジー特論 (Advanced Tribology)」については、後任公募を予定している。</p> <p>学生に対しては、履修案内への記載や、web機能を活用した本学独自の総合学務支援システム「a-net」へ掲載することにより、十分な周知を行った。</p>

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (28年4月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (29年2月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年2月)		改善意見	
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年2月)	・同一設置者が設置する 既設学部等(○○学科、 ●●学科)の～すること。	○○意見	

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時(認可時又は届出時)に付された留意事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の(年月)には、調査結果を公表した月(通常2月)を記入してください。(実地調査や面接調査を実施した日ではありません。)

7 その他全般的事項

<理工学研究科 総合理工学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
 - ・ 構成大学ごとに記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>理工学研究科教育改善委員会</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: right;">《関係規程等》</p> <p style="text-align: center;">秋田大学大学院理工学研究科教育改善委員会規程</p> <p>(趣旨)</p> <p>第1条 秋田大学大学院理工学研究科及び理工学部における教育及び教員の教育に関する資質の向上に関する事項並びに理工学研究科評価委員会及び企画運営会議の付託事項を検討・実施するため、理工学研究科に教育改善委員会(以下「委員会」という。)を置き、委員会に関し必要な事項は、この規程の定めるところによる。</p> <p>(審議事項)</p> <p>第2条 委員会は、次の各号に掲げる事項について審議する。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 学生及び教員による授業評価の実施等に関すること。 (2) JABEE認証の受審・更新の実施等に関すること。 (3) 教育に関する外部評価の実施に関すること。 (4) 教育改善に関わる調査・研究に関すること。 (5) FD活動の実施等に関すること。 (6) その他教育改善に関すること。 <p>(組織)</p> <p>第3条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 博士前期課程の各コース及び共同ライフサイクルデザイン工学専攻の教授または准教授各1名 (2) その他研究科長が必要と認めた者 <p>(任期)</p> <p>第4条 任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。</p> <p>(委員長及び副委員長)</p> <p>第5条 委員会に委員長を置き、学務副委員長をもって充てる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 2 委員長は、委員会を主宰する。 3 委員会に副委員長を置き、委員長が指名する。 4 委員長に事故等があるときは、副委員長がその職務を代行する。 <p>(議事)</p> <p>第6条 委員会は、委員の3分の2以上の出席がなければ開くことができない。</p> <ol style="list-style-type: none"> 2 委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。 <p>(委員以外の出席)</p> <p>第7条 委員長が必要と認めるときは、委員以外のものを委員会に出席させ、意見を聴くことができる。</p> <p>(庶務)</p> <p>第8条 委員会の庶務は、理工学研究科事務部の協力を得て、総合学務課において処理する。</p> <p>(補則)</p> <p>第9条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が定める。</p> <p>附 則</p> <p>この規程は、平成22年6月10日から施行し、平成22年4月1日から適用する。</p> <p>附 則</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 この規程は、平成26年4月1日から施行する。 2 第2条の規定は、工学資源学部が存続する間、当該学部にも適用する。 <p>附 則</p> <p>この規程は、平成26年11月1日から施行する。</p> <p>附 則</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 この規程は、平成28年4月1日から施行する。 2 第2条の規定は、工学資源学研究科が存続する間、当該研究科にも適用する。 </div>

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

4回開催（平成26年度実績）。8回開催（平成27年度実績）。6回開催（平成28年度実績）。
構成委員全員が参加。

c 委員会の審議事項等

上記の委員会規程第2条に定めるところによる。

② 実施状況

a 実施内容

- (1) FD・SDシンポジウムの開催
- (2) FDワークショップの開催
- (3) 教員による授業評価

b 実施方法

- (1) FDシンポジウム：発達障がいを持つ学生へのサポートをテーマに、学内の学生支援を担当している保健管理センター所長等3名の講師によるレクチャーおよび総合討論を行った。（平成26年度実績）
FD・SDシンポジウム：ルーブリック評価とeラーニングの活用をテーマに、学外の教員1名による基調講演およびeラーニングの事例紹介を行った。（平成28年度実績）
・大学教育におけるハラスメントについてをテーマに、保健管理センター所長による基調講演を行った。（平成28年度実績）
- (2) FDワークショップ：学生参加型等の授業改善をテーマに、学内外の教員3名による基調講演およびパネルディスカッション、参加者全員による授業改善計画案の作成を行った。（平成26年度実績）
・ルーブリック評価の活用と設定方法をテーマに、学外の教員1名による基調講演および参加者全員によるルーブリック課題作成を行った。（平成27年度実績）
- (3) 各学科・専攻単位に授業評価の対象科目を選定し、その科目について2名以上の教員で評価を行う。（各教員は、5年に1科目を目処に評価を受けることとしている。）

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- (1) FDシンポジウム：平成26年9月18日（木） 参加者：36名
FD・SDシンポジウム：平成28年12月6日（火） 参加者：40名
平成29年3月13日（月） 参加者：52名
- (2) FDワークショップ：平成26年12月12日（金） 参加者：33名
平成27年12月11日（金） 参加者：36名
- (3) 平成26年10月から平成27年1月までの期間で、計17科目の評価を実施した。（平成26年度実績）
平成27年6月から平成28年1月までの期間で、計16科目の評価を実施した。（平成27年度実績）
平成28年6月から平成29年1月までの期間で、計23科目の評価を実施した。（平成28年度実績）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

実施結果を踏まえ、各学科・専攻ごとに検討を行い次年度以降の授業改善に向けて取り組んでいる。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

有 前期と後期の2回、大学院及び学部の全学生を対象に実施した。（平成26, 27, 28年度実績）

b 教員や学生への公開状況、方法等

実施結果及び分析結果の総評は冊子体としてまとめ、各教員に配付している。各科目ごとの結果については当該教員に個別に通知している。学生への公開については、その方法等も含め各学科・専攻の判断に委ねている。

- （注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）
・ 構成大学ごとに記入してください。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

開設後2年目の状況は、順調に進んでいる。
引き続き、設置の趣旨・目的の達成に向けて取り組んでいきたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成29年度以降

b 公表方法

- ・理工学研究科のホームページから各種の情報を発信することとしている。
- ・大学で実施する自己点検・評価に基づく評価の結果については、各事業年度及び目標期間内における業務実績に係る「評価書」を作成しホームページ上等で公表している。

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成25年度に独立行政法人大学評価・学位授与機構による大学機関別認証評価及び大学機関別選択評価を受けた。現在は次回（平成31年度予定）の認証評価を受けるべく、学内で検討中である。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

- ・ 構成大学ごとに記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(平成29年7月1日公表予定)